

ユーザーマニュアル

デジタルビデオレコーダー

DVR



目次

安全指導	6
第1章 製品概要	8
1.1 リアパネル	8
1.2 リモコン（参考用）	9
第2章 DVRのインストールと接続	10
2.1 HDDの搭載	10
2.2 接続図	11
2.3 電源の接続	11
第3章 DVRの共通操作	12
3.1 付属のマウスを使う	12
3.2 仮想キーボードを使う	12
3.3 パスワード	13
第4章 DVRの起動	14
4.1 スタートウィザード	14
4.1.1 スタートウィザード	14
4.1.2 ネットワーク構成	14
4.1.3 日付/時間	16
4.1.4 IPカメラ	17
4.1.5 ディスク	19
4.1.6 解像度	19
4.1.7 モバイル	20
4.1.8 概要	20
4.2 ライブビュー画面の概要	21
4.2.1 カメラクイックツールバー	22

4.2.2	タスクバー	22
4.2.3	スタートメニュー	23
4.2.3.1	ロック解除とロック画面	23
4.2.3.2	シャットダウン	24
第 5 章	DVR システムのセットアップ	25
5.1	チャンネル	25
5.1.1	チャンネル	26
5.1.1.1	アナログチャンネル	26
5.1.1.2	IPチャンネル	26
5.1.1.3	プロトコル管理	28
5.1.2	ライブ	29
5.1.3	画像制御	30
5.1.4	PTZ	31
5.1.4.1	PTZ制御	31
5.1.5	モーション	33
5.1.6	PIR	35
5.1.7	動画カバー	36
5.1.8	インテリジェント	37
5.1.8.1	PID (周辺侵入検知システム)	38
5.1.8.2	LCD (ラインクロッシング検出)	40
5.1.8.3	SOD (静止物検出)	42
5.1.8.4	PD (歩行者検知)	44
5.1.8.5	FD(顔検出)	46
5.1.8.6	CC (クロスカウンティング)	47
5.1.8.7	インテリジェント・アナリシス	50
5.1.8.8	インテリジェント・スケジュール	50
5.2	記録	51
5.2.1	エンコード	51

5.2.2 記録	52
5.2.2.1 記録	52
5.2.2.2 レコードスケジュール	53
5.2.3 キャプチャー	54
5.2.3.1 キャプチャー	54
5.2.3.2 キャプチャーのスケジュール	54
5.3 アラーム	55
5.3.1 モーション	55
5.3.2 I/O	55
5.3.3 PIR	56
5.3.4 PTZリンクージ	56
5.3.5 例外	57
5.4 ネットワーク	58
5.4.1 一般	58
5.4.1.1 PPPoE	59
5.4.1.2 3G	60
5.4.1.3 ポートコンフィグレーション	60
5.4.2 DDNS	61
5.4.3 電子メール	62
5.4.3.1 電子メール設定	62
5.4.3.2 メールスケジュール	63
5.4.4 FTP	64
5.5 デバイス	65
5.5.1 ディスク	65
5.5.1.1 ディスクグループ	66
5.5.1.2 s.m.a.r.t.	67
5.5.2 クラウド	68
5.6 システム	69
5.6.1 一般	69

5.6.1.1 日付と時刻.....	70
5.6.1.2 NTPの設定.....	71
5.6.1.3 DSTの設定.....	71
5.6.2 出力構成.....	72
5.6.2.1 ライブアウト.....	73
5.6.3 マルチユーザー.....	74
5.6.3.1 パスワードの変更.....	74
5.6.3.2 新規ユーザーの追加.....	75
5.6.3.3 ユーザー権限の設定.....	75
5.6.4 メンテナンス.....	77
5.6.4.1 ログ.....	77
5.6.4.2 負荷 初期値.....	78
5.6.4.3 アップグレード.....	79
5.6.4.4 パラメータ管理.....	79
5.6.4.4 自動リブート.....	80
5.6.5 IPカメラ メンテナンス.....	80
5.6.5.1 IPカメラのアップグレード.....	81
5.6.5.2 IPカメラの初期設定値を読み込む.....	81
5.6.6 システム情報.....	82
5.6.6.1 インフォメーション.....	82
5.6.6.2 チャンネル情報.....	82
5.6.6.3 記録情報.....	83
5.6.6.4 ネットワーク状態.....	83
第6章 検索・再生・バックアップ.....	84
6.1 検索機能を使う.....	84
6.1.1 動画検索・再生全般.....	86
6.1.1.1 ビデオクリップバックアップ.....	86
6.1.2 イベント検索・再生・バックアップ.....	88

6.1.2.1 イベント再生コントロール	89
6.1.3 サブピリオド再生	90
6.1.4 スマートサーチ&プレイバック	91
6.1.4.1 スマートサーチエリア	92
6.1.5 画像検索・閲覧	93
6.1.5.1 ピクチャーレビューコントロール	94
第7章 Webクライアントによるリモートアクセス	95
7.1 基本システム環境要件	95
7.2 Webプラグインのダウンロードとインストール	95
7.3 ウェブクライアントマネージャー	98
7.3.1 ライブインターフェース	98
7.3.2 再生	100
7.3.2.1 再生操作ボタン	101
7.3.3 リモート設定	103
7.3.4 ローカル設定	103
第8章 バックアップした映像をPC/Macで見る	104
第9章 モバイル端末を使ったリモートアクセス	107
第10章 付録	110
10.1 トラブルシューティング	110
10.2 使用状況メンテナンス	111
10.3 付属品（参考出品）	112

安全指導

人身事故を防ぐため、また機器や他の接続機器の破損を防ぐために、以下の安全上の注意事項をよくお読みください。

1. 電源（注：付属またはメーカー指定の電源をご使用ください。）

指定外の電源で装置を運転しないでください。

2. DVRの開口部には、絶対に物を押し込まないでください。

感電やその他の事故を防ぐため、DVRの開口部には絶対に物を押し込まないでください。

3. 埃の多い場所に機器を置かないでください

埃の多い場所に機器を置かないでください。

4. 雨や湿気の多い場所に機器を置かないでください。

地下室などの湿気の多い場所には置かないでください。万一、水につかった場合は、電源プラグを抜いて、すぐにお買い求めの販売店にご連絡ください。

5. 機器の表面を清潔に保ち、乾燥させる

柔らかい湿らせた布でDVRの外装を清掃してください（液体のエアゾールクリーナーは使用しないでください）。

6. 異常が見つかった場合は操作しないでください

DVRから異臭や異音がする場合は、電源ケーブルを抜き、正規販売店またはサービスセンターにご連絡ください。

7. 上部カバーを取り外さないでください

警告感電を避けるため、DVRのキャップを取り外さないでください。

8. 取り扱い注意

硬いものにぶついたりしてDVRが正常に動作しない場合は、正規販売店に修理または交換をご依頼ください。

9. 標準リチウム電池を使用する（注：付属またはメーカー指定の電池を使用すること）

電源遮断後、システムクロックが継続して動作しない場合は、メインボード上の標準3Vリチウム電池を交換してください。

警告電池を交換する前にDVRの電源を切ってください、さもなければ、深刻な感電に見舞われる可能性があります。使用済みの電池は適切に廃棄してください。

10. 風通しのよい場所に設置する

DVRシステムにはHDDが搭載されており、動作時に大きな熱を発生します。そのため、動作中にシステムを冷却するための換気口（上面、底面、両側面、裏面）を塞がないようにしてください。風通しの良い場所に設置・配置してください。

11. 付属の電源アダプタは、DVR1セットのみに使用できます。それ以上の機器を接続すると、電力不足でDVRが何度も再起動する可能性があります。

12. 水滴や飛沫が機器にかからないようにする。花瓶などの水を含んだものを機器の上に置かないでください。

13. この製品には、コイン／ボタン電池が含まれています。

コイン/ボタン電池を飲み込むと、わずか2時間で体内に重度の火傷を負い、死に至る可能性があります。

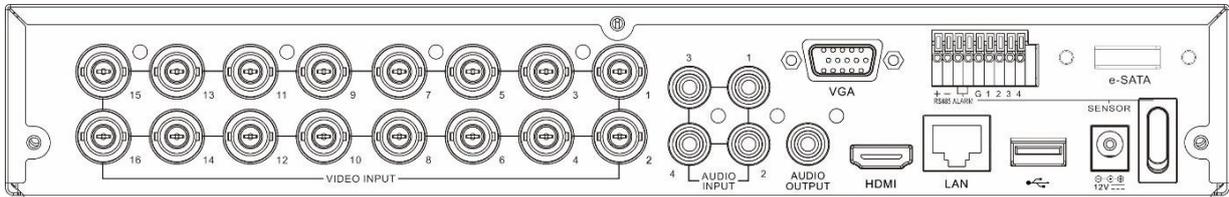
新しい電池や使用済みの電池は、子供の手の届かないところに保管してください。

電池ボックスが確実に閉まらない場合は、使用を中止し、子供の手の届かないところに保管してください。

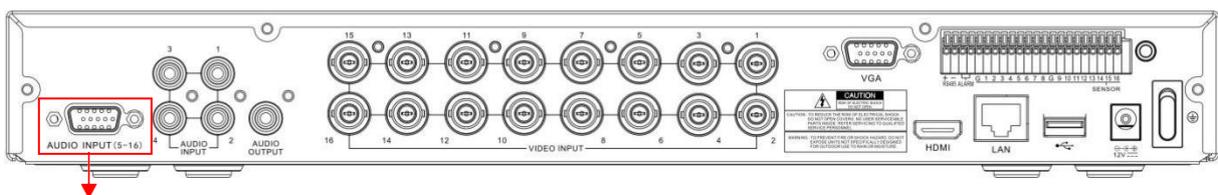
電池を飲み込んだり、体の中に入れたりした可能性がある場合は、直ちに医師の診断を受けてください。

第1章 製品概要

1.1 背面パネル

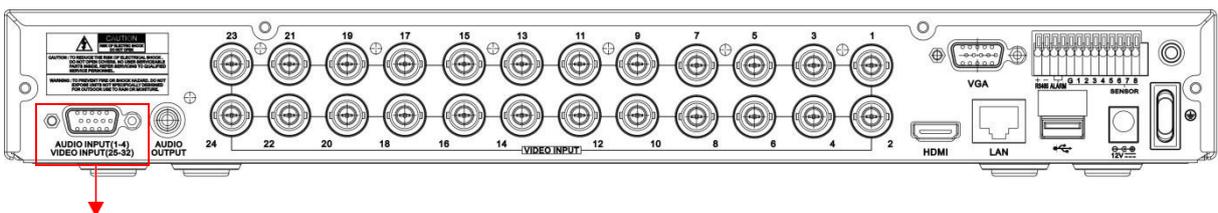


項目	商品説明
ビデオ入力	ビデオ入力機器と接続、標準BNC端子。
AUDIO INPUT	オーディオ入力信号と接続する、RCA端子
AUDIO OUTPUT	オーディオ信号出力、RCA端子
USBポート	付属のマウスまたはUSBフラッシュメモリーを接続する
ブイジーエー	VGA入力のあるテレビ、モニターに接続します。
HDMI	HDMI入力でデジタルTVやモニターに接続可能
LAN	ホームネットワークに接続する
e-SATA	オプションでe-SATA HDDに接続し、録画&バックアップが可能
RS-485	PTZ機器との接続
センサー&アラーム	オプションで外部センサー&アラーム機器との接続
パワー	付属の電源アダプターに接続する
電源スイッチ	電源のオン/オフ



オーディオ入力 (5-16)

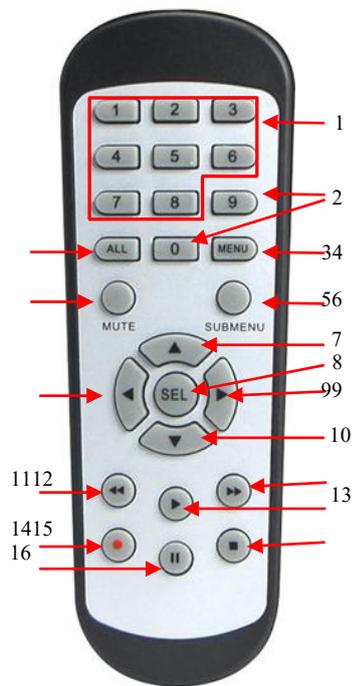
一部の機種では、付属のコネクターでオーディオ入力に接続する場合



オーディオ入力(1-4)とビデオ入力(25-32)

一部の32CH DVRで、音声入力とビデオ入力 (25CH～32CH) を付属のコネクタで接続する場合。

1.2 リモコン (参考用)



いいえ。	アイコン	商品説明
1	1-8	数字キー を押して、チャンネル1~8を表示する
2		数字キー
3	すべて	を押して全チャンネルを表示する マルチディスプレイモード
4	メニュー	を押して、メインメニューに入る、またはメ インメニューを終了する
5	ミュート	ミュートのオン/オフ
6	サブメニ ュー	サブメニューへ移動
7		上矢印キー：音量増加
8	セル	を押して、選択したメニュー項目に入り 設定を編集する
9		左/右キー：パラメータを減少/増加させる コントロールバーの値。
10		下矢印キー；音量減少
11		動画再生中に押すと、巻き戻し
12		動画再生中に押すと、早送りされます
13		を押して、録画したビデオを再生したり、入 力したりします。 レコーディングサーチメニュー
14		を押して、手動録音を開始します。
15		を押して、手動録画を停止するか ビデオ再生
16		を押すと、ビデオの再生を一時停止したり、 入力したりすることができます。 フレームプレイバックモード

第2章 DVRのインストールと接続

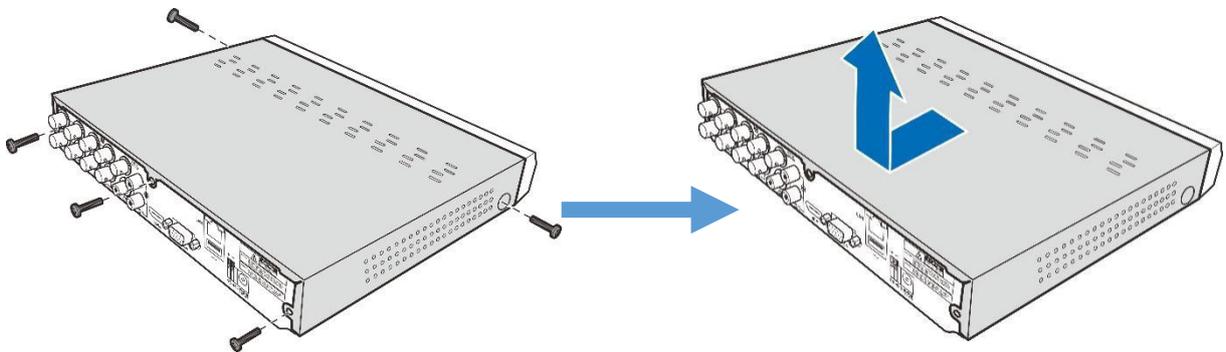
2.1 HDDの取り付け

購入されたパッケージによっては、ハードディスクドライブがフルパッケージに含まれている場合があります。プレインストールされていない場合は、このユーザーマニュアルのインストール方法に従ってください。

注意 機器の電源を入れたままハードディスクドライブの取り付け、取り外しを行わないでくだ

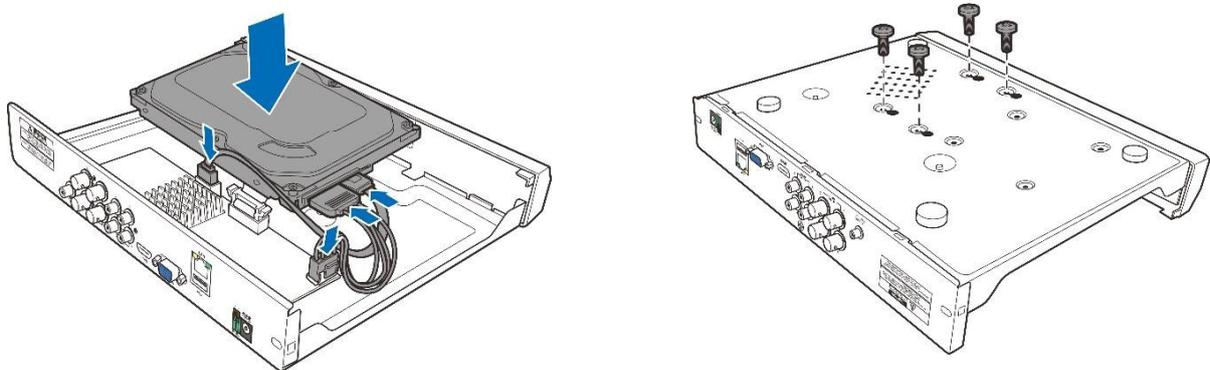
さい。HDDの取り付け

(1) まず電源を切り、両サイドと背面のネジを外し、DVRの上部カバーを開けてください。

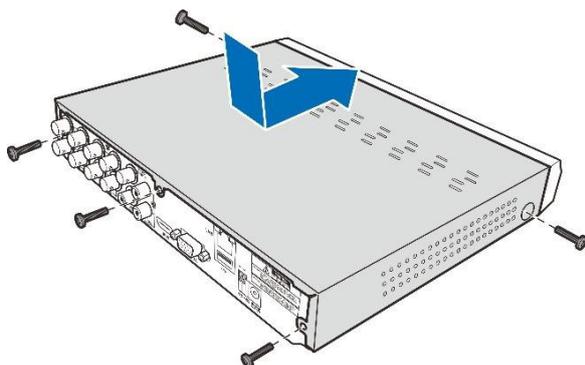


(2) HDDにデータケーブルと電源ケーブルを接続し、HDDをDVRのケースに乗せます。

DVRケースを慎重に反転させ、HDDをDVRにネジで固定します。

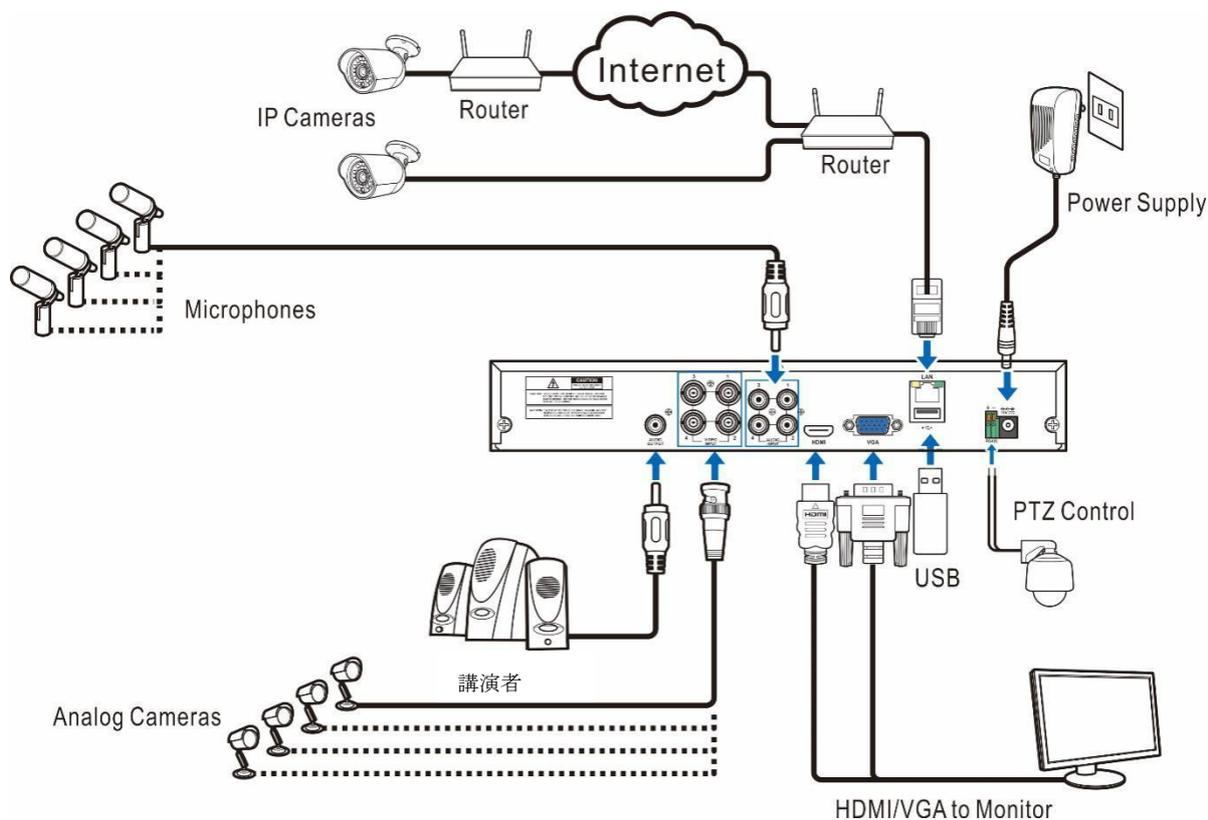


(3) 上部カバーを慎重に戻し、ネジで固定します。



注: 上記の手順はあくまで参考です。購入されたDVRによって、実際の動作が異なる場合があります。

2.2 接続図

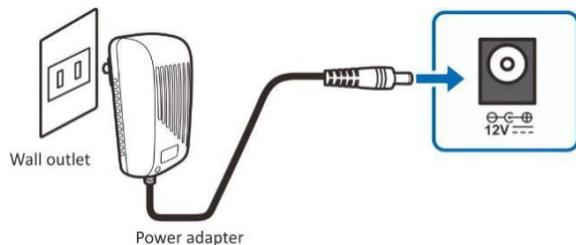


注：上記の図は参考用です。実際の接続は、購入されたDVRによって異なる場合があります。

2.3 電源接続

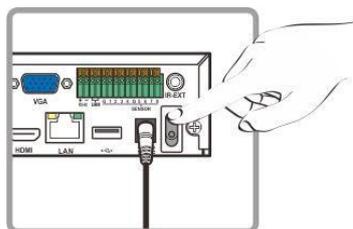
注意DVRに付属している電源アダプターのみを使用すること

電源アダプターの一端をDVR背面の電源コネクタに接続します。電源アダプターのもう一方の端



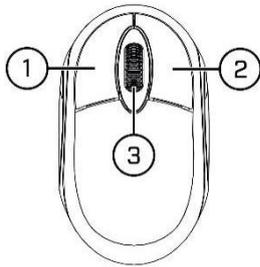
を壁のコンセントに差し込みます。

特定の機種では、電源スイッチを押して電源を入れる必要がある場合があります。



第3章 DVRの共通操作

3.1 付属のマウスを使用する



1. 左ボタン。

- クリックすると、メニューが選択できます。
- 分割表示でライブ視聴中に、チャンネルをダブルクリックすると全画面表示されます。もう一度ダブルクリックすると、分割画面に戻ります。
- ライブビュー画面上のチャンネルをクリックすると、カメラクイックツールバーが表示されます。
- メニューモードでのクリック&ホールドによるスライダーやスケールのドラッグ操作

2. 右ボタン。

- 1回クリックすると、ライブビューイング画面にタスクバーが表示されます。[4.2.2タスクバー](#)でタスクバーを見る
- メニューの中で、クリックするとメニューに戻る／閉じることができます。

3. スクロールホイール

- メニューでは、スクロールしてメニューの内容を上下に移動することができます。
- 音量調節のホイールにカーソルを合わせてスクロールすると、システムの音量を上げ下げすることができます。

3.2 バーチャルキーボードを使う

データ入力が必要なときは、画面に自動的にバーチャルキーボードが表示されます

クリックすると、キーボードが大文字に切り替わり、句読点が多く表示されます



カーソルを左へ移動

3.3 パスワード

DVRを起動した初回は、プライバシー保護のため、すぐにご自身のパスワードを設定していただく必要があります。ユーザー名とパスワードは必ず記録し、安全な場所に保存してください。

言語 OSDの言語を選択する

デバイスID : () 内にデバイスIDを入力します。デフォルトのIDは000000です。デバイスIDの詳細は、[5.6.1 一般](#)をご覧ください。

新しい管理者名 : 自分で管理者名を設定する場合。

New Admin Password : 自分でパスワードを設定する場合。パスワードは8文字の組み合わせが必要です。

Confirm Password : 自分のパスワードをもう一度入力します。

Apply をクリックして設定を確認し、ログインインターフェイスに進みます。ユーザー名

とパスワードを入力し、DVRシステムに**ログイン**します。

注 : パスワードを忘れた場合、システムにログインすることができませんので、パスワードの再設定は販売店にお問い合わせください。

さい。

第4章 DVRの起動

4.1 スタートウィザード

スタートアップ・ウィザードは、システムを構成し、DVRを迅速に動作させるのに役立ちます。

4.1.1 スタートウィザード

[ウィザードの開始](#)をクリックして次のステップに進みます。



4.1.2 ネットワーク構成

DHCPを使用できるルーターに接続する場合は、DHCPにチェックを入れてください。ルーターは、DVRのすべてのネットワーク・パラメータを自動的に割り当てます。ネットワークが手動で以下のパラメータに対応している場合を除きます。

IPアドレス。 IPアドレスは、ネットワーク内のDVRを識別します。0から255までの4つの数字のグループとピリオドで区切られています。例えば、「192.168.001.100」です。

サブネットマスク：サブネットマスクは、ネットワークで使用できるIPアドレスの範囲を定義するネットワークパラメータです。IPアドレスが住んでいる通りのようなものなら、サブネットマスクは近所のようなものです。サブネットマスクは、ピリオドで区切られた4つの数字で構成されています。例えば、「255.255.000.000」のようになります。

ゲートウェイ。このアドレスにより、DVRはインターネットにアクセスすることができます。ゲートウェイの形式は

のアドレスは、**IPアドレス**と同じです。例えば、「192.168.001.001」のように。

DNS1/DNS2：DNS1はプライマリDNSサーバ、DNS2はバックアップDNSサーバです。通常はDNS1サーバのアドレスを入力するだけで十分です。

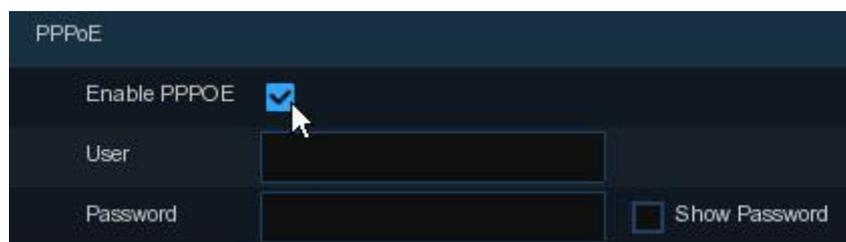
ポート

Webポート：DVRにリモートでログインする際に使用するポートです(Webクライアントを使用するなど)。デフォルトのポート80がすでに他のアプリケーションによって使用されている場合は、変更してください。

クライアントポート：これは、DVRが情報を送信するために使用するポートです(例：モバイルアプリの使用)。デフォルトのポート9000がすでに他のアプリケーションによって使用されている場合は、変更してください。**RTSPポート**：これは、DVRが他のデバイスにリアルタイム・ストリーミングを送信するために許可されるポートです(例：ストリーミング・メディア・プレーヤーを使用する場合など)。

UPnP：Web Clientを使用してDVRにリモートでログインする場合、ルーターでポート転送を完了する必要があります。お使いのルーターがUPnPをサポートしている場合、このオプションを有効にします。この場合、ルーターでポート転送を手動で設定する必要はありません。ルーターがUPnPをサポートしていない場合、ルーターでポート転送を手動で完了することを確認してください。

ピーピーオーイー



これは、DVRがDSLモデム経由でより直接的にネットワークに接続できるようにする高度なプロトコルです。

PPPOEを有効にする」にチェックを入れ、PPPoEのUser nameとPasswordを入力します。

3G

これは、モバイルネットワークを使用する前に、DVRに3G Dongleを接続する必要があります。3Gオプションを有効にし、3G Dongleデバイスの説明に従って、APN、ダイヤルコ

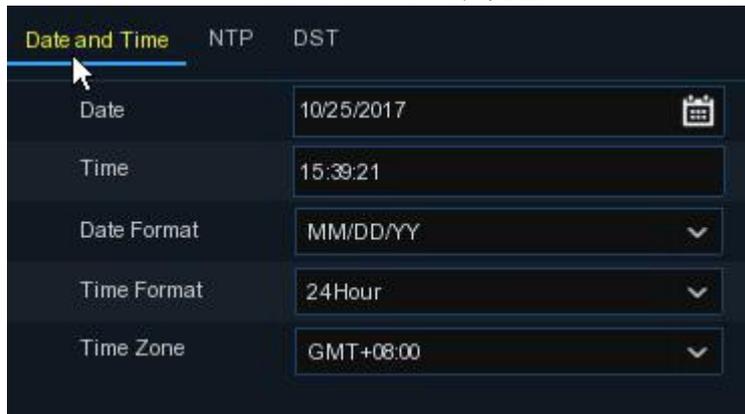
ード、ユーザー名とパスワードを入力します。

4.1.3 日付/時間

このメニューでは、日付、時刻、日付形式、時刻形式、タイムゾーン、NTP、サマータイムを設定します。

日付と時間

カレンダーアイコンをクリックして、現在のシステム日付を設定します。



日付です。 カレンダーのアイコンをクリックして、システムの日付を設定します。

時刻： クリックすると、システム時刻を設定できます。

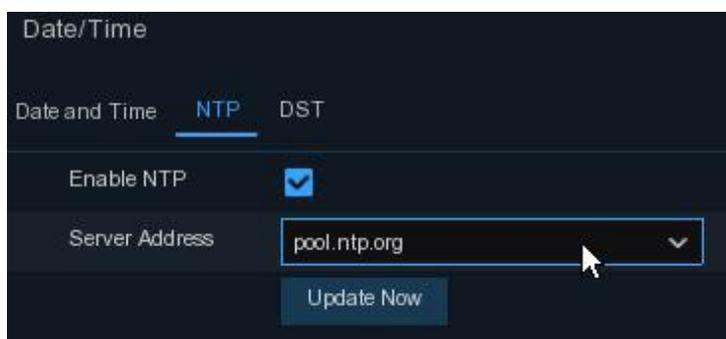
日付の形式。 ドロップダウンメニューから、お好みの日付形式をお選びください。

時刻の表示形式。 24時間表示と12時間表示から選択できます。

タイムゾーン： 正しいタイムゾーンを設定します。

エヌティーピー

NTPとは、Network Time Protocolの略で、ネットワークタイムプロトコルのことです。この機能により、インターネット経由でDVRの日付と時刻を自動的に同期させることができます。そのため、DVRはインターネットに接続されている必要があります。



NTP」にチェックを入れ、NTPサーバーを選択します。

ダウンロードコンテンツ

DSTとは、Daylight Savings Time（夏時間）の略です。

DST：お住まいの地域でサマータイムが実施されている場合、有効にします。

タイムオフセット。夏時間をオフセットする時間を選択します。

タイムモード。サマータイムを週単位で設定するか、日単位で設定するかを選択します

開始時刻/終了時刻：サマータイムの開始時刻と終了時刻を設定します。

4.1.4 IPカメラ

このメニューでは、DVR に IP カメラを追加することができます。

検索 をクリックすると、同じネットワーク内の IP カメラが検索されます。追加する IP カメラを選択し、 アイコンをクリックして DVR に追加します。

Position: Left-Top

Port: 9988 Auto

Protocol: Private Auto

User Name: admin

Password: Show Password

Add Cancel

カメラのユーザー名とパスワードを入力して、カメラを追加します

。また、**+** ボタンをクリックすると、個々の IP カメラを 1 台のカ

メラに追加できます。

No.	IP Address/Domain	Port	Manufacturer	Device Type	MAC Address	Software Version
1	192.168.1.151	9988		IP Camera	B7-91-06-21-D9-1F	
2	192.168.1.152	9988		IP Camera	02-18-09-3B-A7-BB	
3	192.168.1.153	9988		IP Camera	E1-A1-66-94-46-B9	
4	192.168.1.154	9988		IP Camera	CF-C1-11-5A-CA-7A	
5	192.168.1.155	9988		IP Camera	B3-5B-52-54-0B-1D	
6	192.168.1.156	9988		IP Camera	6B-EC-57-ED-06-19	
7	192.168.1.157	9988		IP Camera	74-E4-95-CE-40-D3	
8	192.168.1.158	9988		IP Camera	E0-56-51-B3-8E-58	
9	192.168.1.159	9988		IP Camera	63-7A-76-1A-58-95	
10	192.168.1.160	9988		IP Camera	05-DA-0A-16-EA-CA	

IP Address/Domain: 192.168.1.151

Alias: CH17

Position: Left-Top

Port: 9988

Protocol: Private

User Name: admin

Password: Show Password

Bind channel: CH17

Search Add Cancel

チャンネルになります。

検索 ボタンをクリックして IP カメラを検索し、デバイスリストで IP カメラをクリックします。

IP Address/Domain: IPカメラのIPアドレスまたはドメイン名

エイリアス IPカメラの名前

位置を指定します。画面上にカメラ名を表示する位置。
ポートIPカメラのポート

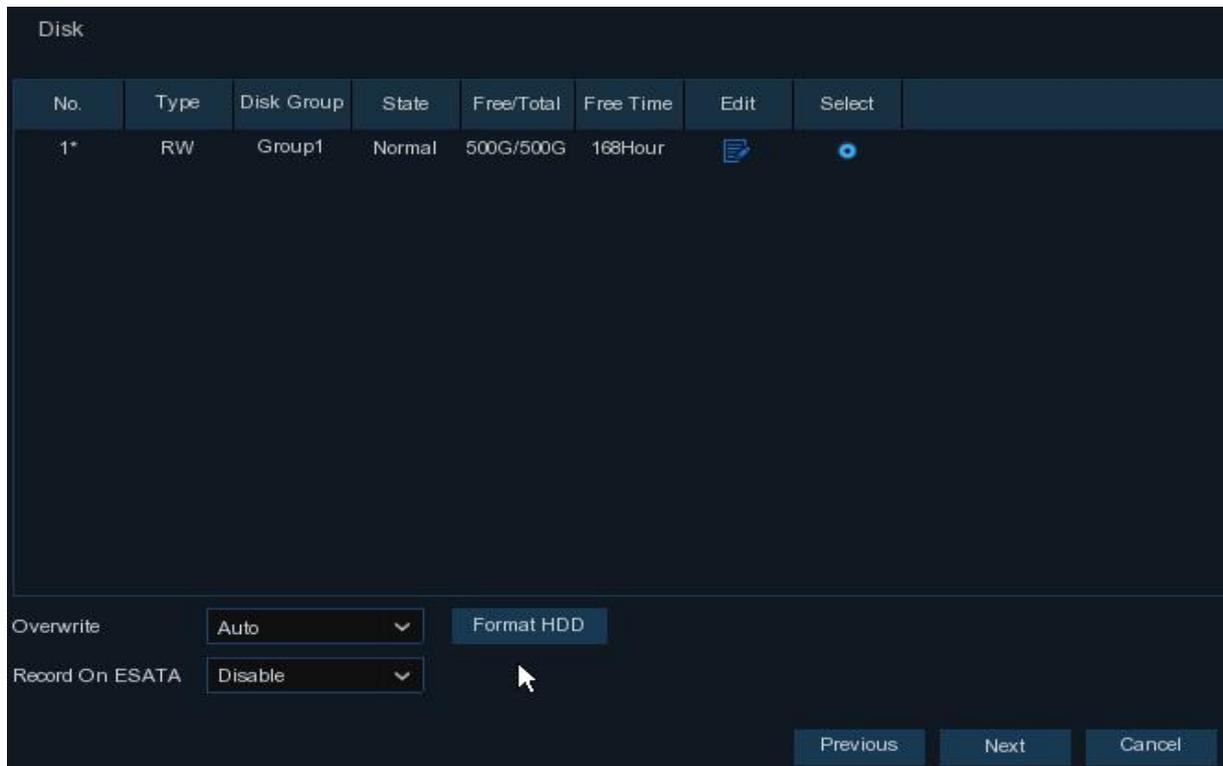
アル
プロトコル IP カメラのプロトコルをドロップダウンメニューから選択します。

ユーザー名 IPカメラのユーザー名

パスワード : IP カメラのパスワード

バインドチャンネルです。接続するDVRのチャンネルを選択します。

4.1.5 ディスク



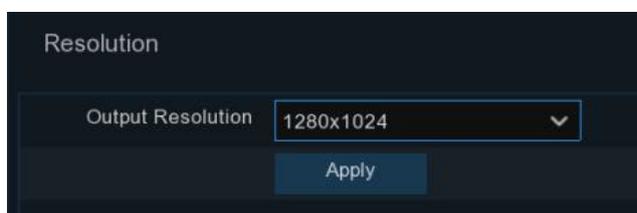
DVR に初めて HDD を取り付ける場合、フォーマットする必要があります。HDDを選択し、**[HDDのフォーマット]**ボタンをクリックして、HDDをフォーマットします。

上書きする このオプションは、HDDが一杯になったときに、HDD上の古い録画に上書きするために使用します。例えば、7日というオプションを選択した場合、過去7日間の録画だけがHDDに保存されます。古い録画を上書きしないようにするには、[無効]を選択します。この機能を無効にした場合は、定期的にHDDの状態を確認し、HDDが満杯になっていないことを確認してください。

ESATAで録画: DVRがリアパネルにe-SATAポートを搭載している場合、e-SATA HDDにビデオを録画することが可能です。

4.1.6 解像度

お使いのモニターに合った出力解像度をお選びください。DVRは、システムの起動時にモニターの最適な解像度に一致するように出力解像度を自動的に調整することをサポートします。



4.1.7 モバイル

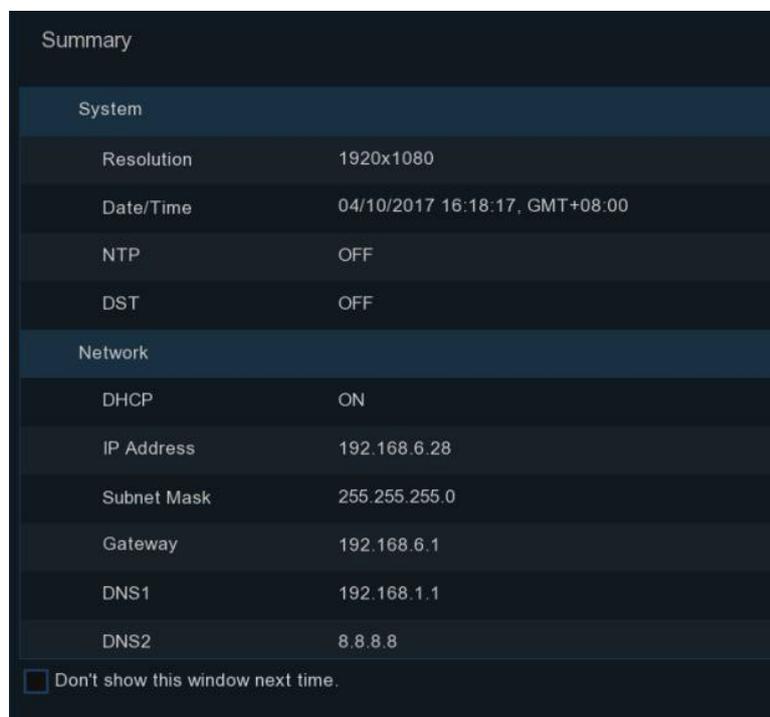
DVRにP2P IDが付属している場合、モバイルアプリでQRコードをスキャンしてDVRをリモートで表示することができます。



4.1.8 概要

スタートウィザードで設定したシステム概要情報を確認し、ウィザードを終了することができます。

次のシステム再起動時にスタートウィザードを表示しない場合は、「[次回からこのウィンドウ](#)



ウを表示しない」にチェックを入れてください。完了」ボタンをクリックして、保存して終了します。

4.2 ライブビュー画面概要

カメラのタイトルステータスアイコン



カメラタイトル

カメラのタイトルを表示する場合

- A-** : 接続されているカメラがAHDカメラであることを示します。
- T-** : 接続されているカメラが TVI カメラであることを示す
- C-** : 接続されているカメラが CVI カメラであることを示す
- IP** : 接続されているカメラが IP カメラであることを示す

ステータスアイコン

-  DVR が現在録画中であることを示します。
-  このアイコンは、カメラが動きを検知したときに表示されます。
-  このアイコンは、外部I/Oアラーム装置が作動したことを示します。
-  このアイコンは、HDDの動作に異常があることを示します。
-  このアイコンは、HDDが未フォーマット
- 

トであることを示します。このアイコンは、HDDがいっぱいであることを示します。



このアイコンは、HDDが読み取り専用であることを示しています。

VIDEO LOSS : アナログカメラが断線している。

カメラがない。IP カメラが切断されています。

デコードに失敗しました。DVRはこの種のIPカメラ圧縮規格をサポートしていませんので、

H.264圧縮規格に変更してください。

+ クリックすると、IP カメラを追加するための

Quick Add メニューが表示されます  クリック

すると、現在のIP カメラを編集できます。

4.2.1 カメラクイックツールバー

ライブビュー時に、接続されているカメラ上でマウスの左ボタンをクリックすると、カメラク



イックツールバーが表示されます。

 クリックすると、そのチャンネルをすぐに手動で録画します。手動録画中の場合、アイコンは赤色で表示されます。もう1回クリックすると手動録画を停止します。

 クリックすると、現在のカメラ画像のスナップショットが保存されます。この機能を使用するには、手動キャプチャが有効になっている必要があります。マニュアルキャプチャーの有効化については、「[5.2.3.1 キャプチャー](#)」を参照してください。

 このチャンネルの最新 5 分間の録画を再生する  PTZ コ

ントロールパネルに入るにはクリックします。

 クリックするとチャンネルが拡大されます。  のアイコンが表示されたら、マウスの左ボタンを押したまま、ズームインしたい範囲をドラッグします。

 クリックすると、そのチャンネルの画像色を調整できます。画像のHUE、BRIGHT、CONTRAST、SATURATIONを調整することができます。

4.2.2 タスクバー



 クリックすると、スタートメニューが表示されます

 クリックするとライブビューのレイアウトを変更できます  クリックするとライブビューのレイアウトをさらに選択できます。

 クリックすると、チャンネルを順番に表示します

 クイックプレイバック。全チャンネルの最新録画を最初から再生することができます。最新のものを選択するか、最新の5秒、10秒、30秒、1分、5分の中から再生することができます。  クリックで音量調整

 クリックすると、すべてのIPチャンネルがメインストリームとサブストリームに切り替わります（ライブビューの解像度の場合）。

 クリックすると、リアルタイムビュー、バランスビュー、スムーズビューが切り替わります。ビューエフェクトモードは、ビットレートとフレームレートによるライブビューのビデオ品質のみに影響し、録画品質には影響しません。

 手動記録および手動アラームを開始または停止する。

 システム情報、チャンネル情報、記録情報、ネットワークの状態を表示します。  ネットワークが切断されている場合、このアイコンが表示されます。

4.2.3 スタートメニュー

スタートメニューでは、ユーザー切り替え、検索・再生、システム設定メニューへの移行、画面のロック・アンロック、システムのシャットダウン、再起動、ログアウトが可能です。

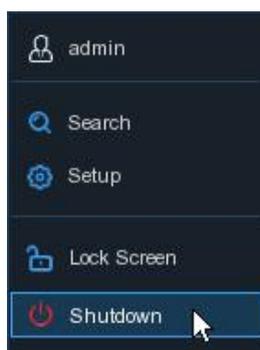
 admin		ユーザー切り替えのため。マルチユーザーを有効にするには、 「5.6.3 マルチユーザー」 を参照してください。
 Search		サーチ&プレイバック詳しくは 「第6章 検索・再生・バックアップ DVR システムセットアップ」 をご覧ください。 第5章 DVRシステム で見る
 Setup		
 Lock Screen		画面のロック&ロック解除 4.2.3.1ロック解除とロック画面 について見る。システムのシャットダウン、再起動、ログアウト。 4.2.3.2シャットダウンについて見る。
 Shutdown		

4.2.3.1 ロック解除とロック画面

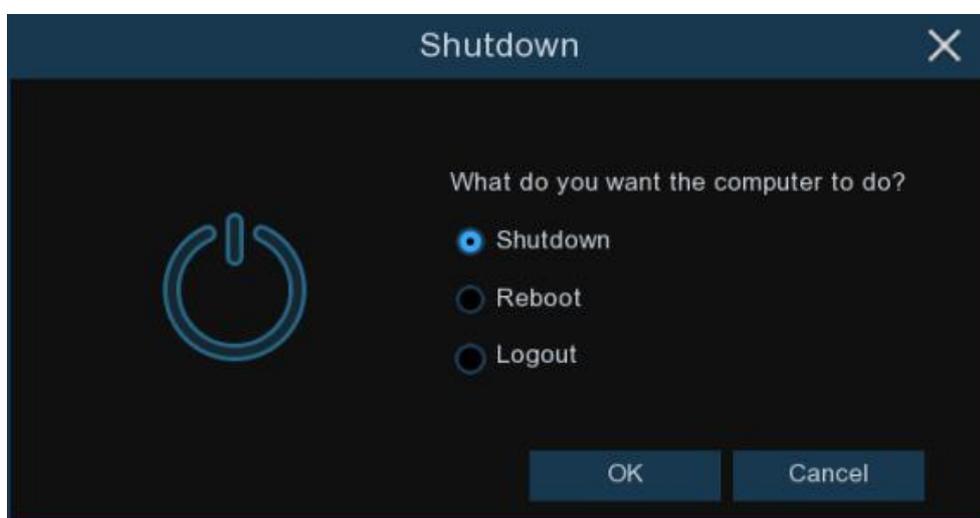
 admin	DVR がメニュー操作中でない間、不正な OSD 操作を保護するために画面がロックされます 1 分。 必要であれば、手動で画面操作をロックすることもできます。これを行うには、スタートメニューに移動し、ロックスクリーンアイコン  をクリックすると、システムがすぐにロックされます。
 Search	
 Setup	
 Unlock	
 Shutdown	

システムがロックされている場合は、ロック解除アイコンをクリックすることで、システムのロックを解除し、操作を行うことができます。

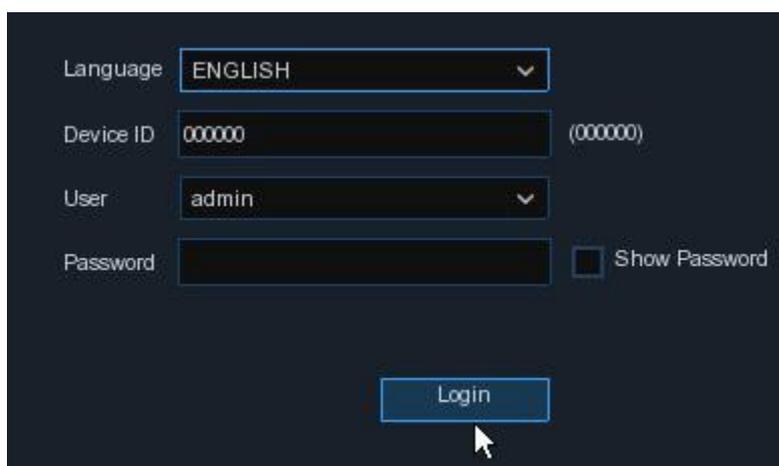
4.2.3.2 シャットダウン



スターメニューのシャットダウンボタンをクリックし、さらに動かしたい動作をチェックします。**OK**ボタンをクリックすると、認証のために管理者パスワードの入力が要求されます。

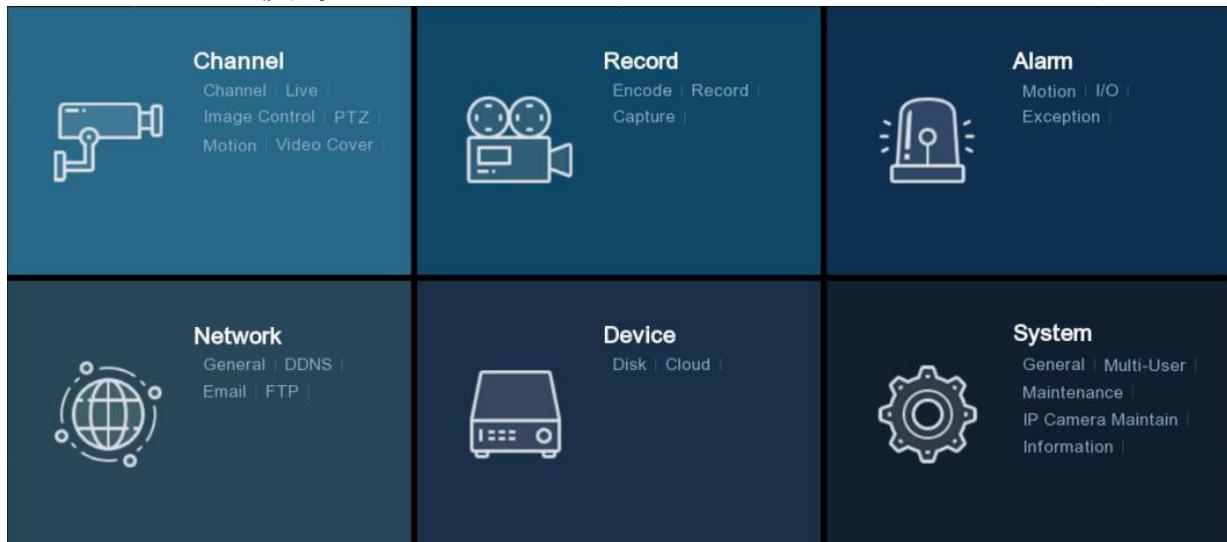


ログアウトを選択した場合、ライブビューイング画面は消えます。操作を続けるには、システムにログインする必要があります。



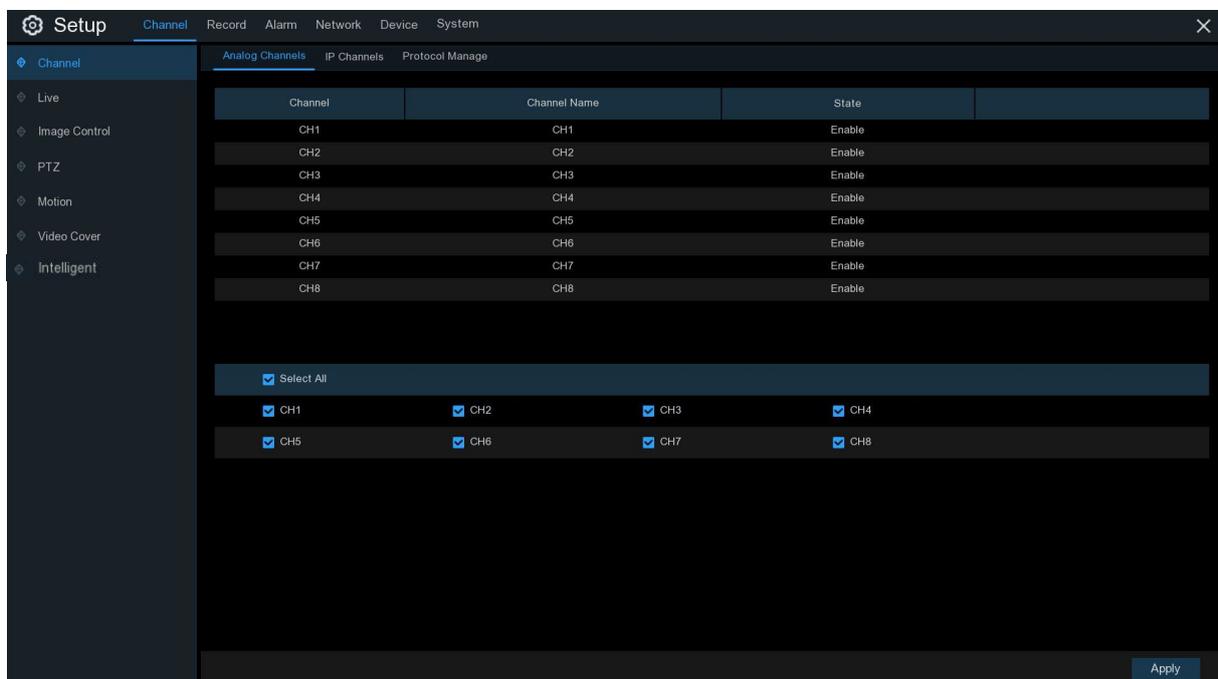
第 5 章 DVR システムのセットアップ

DVRのチャンネル、録画、アラーム、ネットワーク、デバイス、システムなどの設定は、以下から行えます。
スタートメニューの設定。



5.1 チャンネル

このセクションでは、カメラの設定、ライブビュー表示、IP カメラの管理、IP カメラの画像調整、PTZ 設定、モーション設定、変換モードなどを行うことが許可されています。



検索] をクリックしてローカルネットワークからIPカメラを検索し、 **[追加]** をクリックして個々のIPカメラを追加し、 **[OK]** をクリックします。

Add All ですべての IP カメラを追加します。

IP Address/Domain	192.168.1.151
Alias	CH17
Position	Left-Top
Port	9988
Protocol	Private
User Name	admin
Password	<input type="password"/>
Bind channel	CH17

Buttons: Search, Add, Cancel

検索 ボタンをクリックして IP カメラを検索し、デバイスリストで IP カメラをクリックします。

IP Address/Domain: IPカメラのIPアドレスまたはドメイン名

エイリアス IPカメラの名前

位置を指定します。 画面上にカメラ名を表示する位置。

ポート IPカメラのポート

プロトコル IP カメラのプロトコルをドロップダウンメニューから選択します。

ユーザー名 IPカメラのユーザー名

パスワード : IP カメラのパスワード

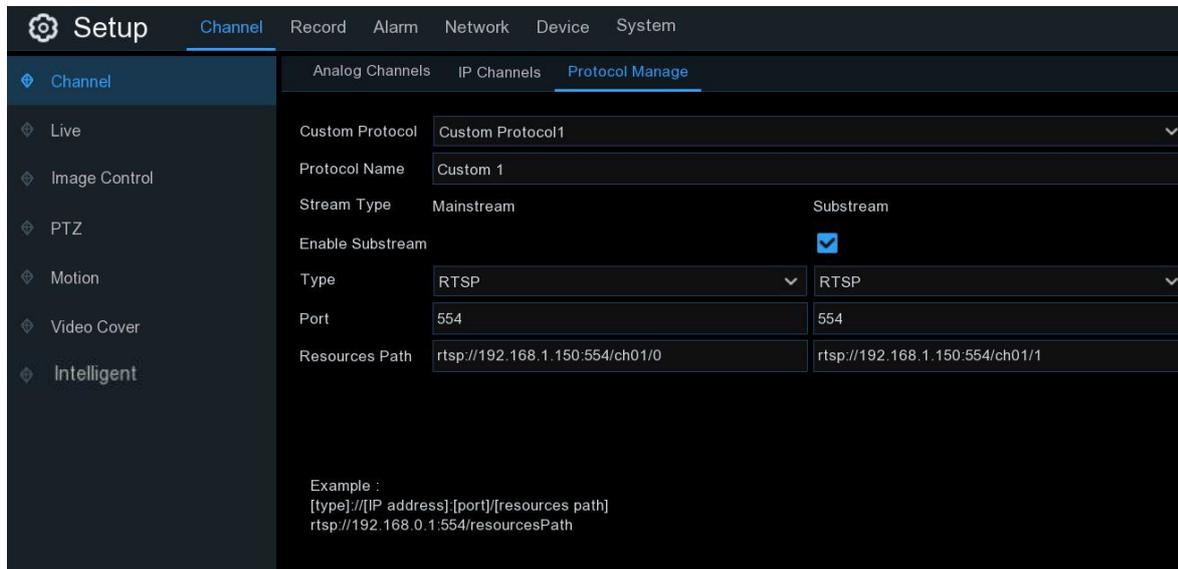
バインドチャンネルです。 接続するDVRのチャンネルを選択します。

カメラに自動でIPを割り当てる。 追加されたIPカメラは、そのIPアドレスがDVRと同じネットワークセグメントにない場合、接続することができません。この機能を使用して、追加されたすべてのIPカメラにIPアドレスを再割り当てします。

チャンネルの削除。 追加したIPカメラを1台以上選択し、このボタンをクリックすると削除されます。

5.1.1.3 プロトコル管理

プロトコル管理では、IPカメラ接続用のRTSPプロトコルを独自に編集することができます。



カスタムプロトコル。 システムサポート最大。10種類のカスタムプロトコルオプションに対応。

プロトコル名。 カスタムプロトコルに名前を付けます。

サブストレイルを有効にする。 サブストリームを有効にする場合は、チェックを入れてください。

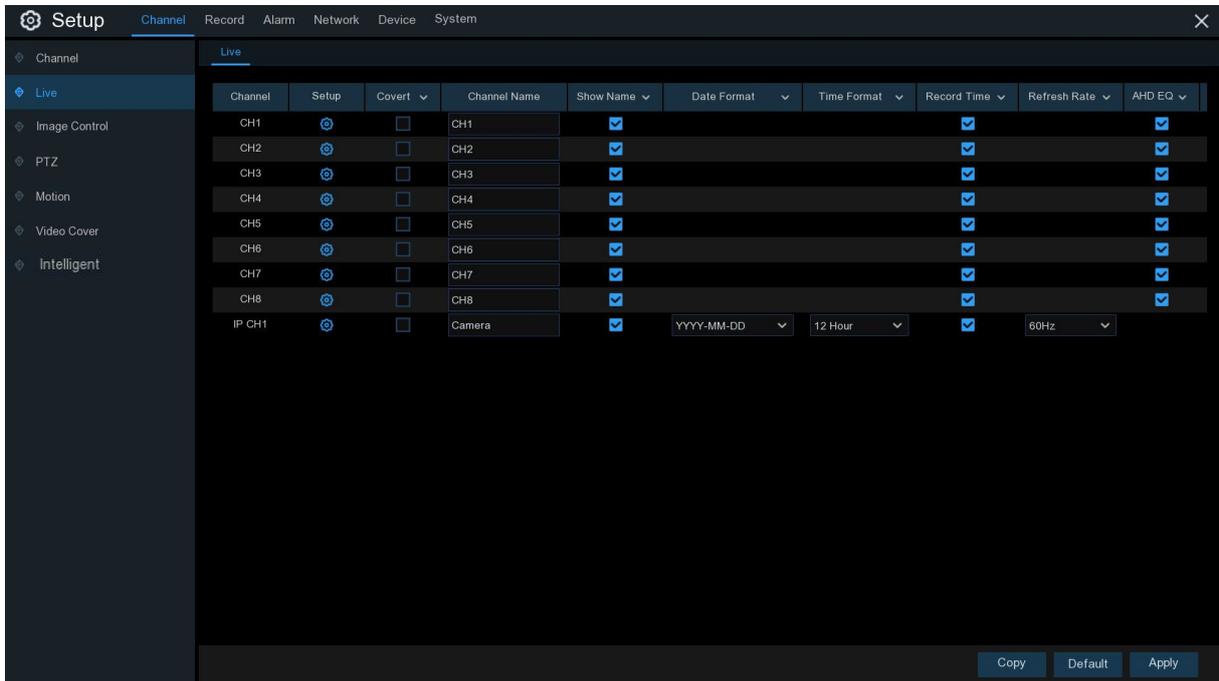
タイプです。 現在、RTSPのみ利用可能です。

ポート : IP カメラの RTSP ポートを入力します。

リソースのパスです。 IP カメラの RTSP アドレスを入力します。

5.1.2 ライブ

カメラのパラメータを設定する。



チャンネルです。チャンネル名を表示します。

セットアップ アイコンをセットアップページに挿入します。

Channel: CH17

Channel Name: IP CH17

Date Format: MM/DD/YYYY

Time Format: 24 Hour

Refresh Rate: 50Hz

Camera Type: AUTO

EQ Level: AUTO

Convert

Show Name

Show Time

HUE: 32

BRIGHT: 23

CONTRAST: 27

SATURATION: 20

Default

設定するチャンネルを選択します。

カメラに表示するデー・フォーマット (IPカメラのみ)

カメラに表示するeフォーマット (IPカメラの場合のみ) カメラのフレッシュレート (IPカメラの場合のみ)

アナログカメラのカメラタイプ (Auto、AHD、TVI、CVI) を選択します。

AHD EQ (Enhanced Quality) レベルは、お使いのカメラケーブルに依存します。

チェックボックス このチャンネルのライブ画像を非表示にする場合、ライブビュー画面にカメラ名を表示します。

ライブビュー画面にシステム時刻を表示する

イメージカラーの色相値のみ

イメージカラーのBright値のみ

イメージカラーのContrast値だけ

イメージカラーのSaturation値だけ

Oh 37

ca

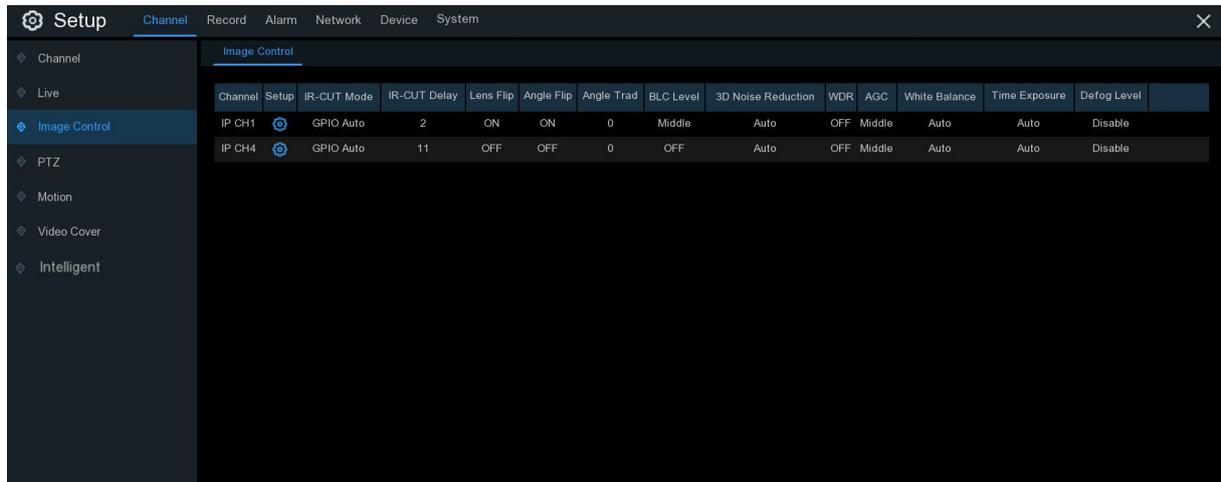
Ch

To

Defaultをクリックすると初期設定が読み込まれ、**Apply**をクリックすると設定が保存され、マウスの右ボタンをクリックすると終了します。

5.1.3 画像制御

このメニューでは、対応する IP カメラの画像設定を制御することができます。



チャンネルです。チャンネル名です。

セットアップを行います。
 アイコンをセットアップページに挿入します

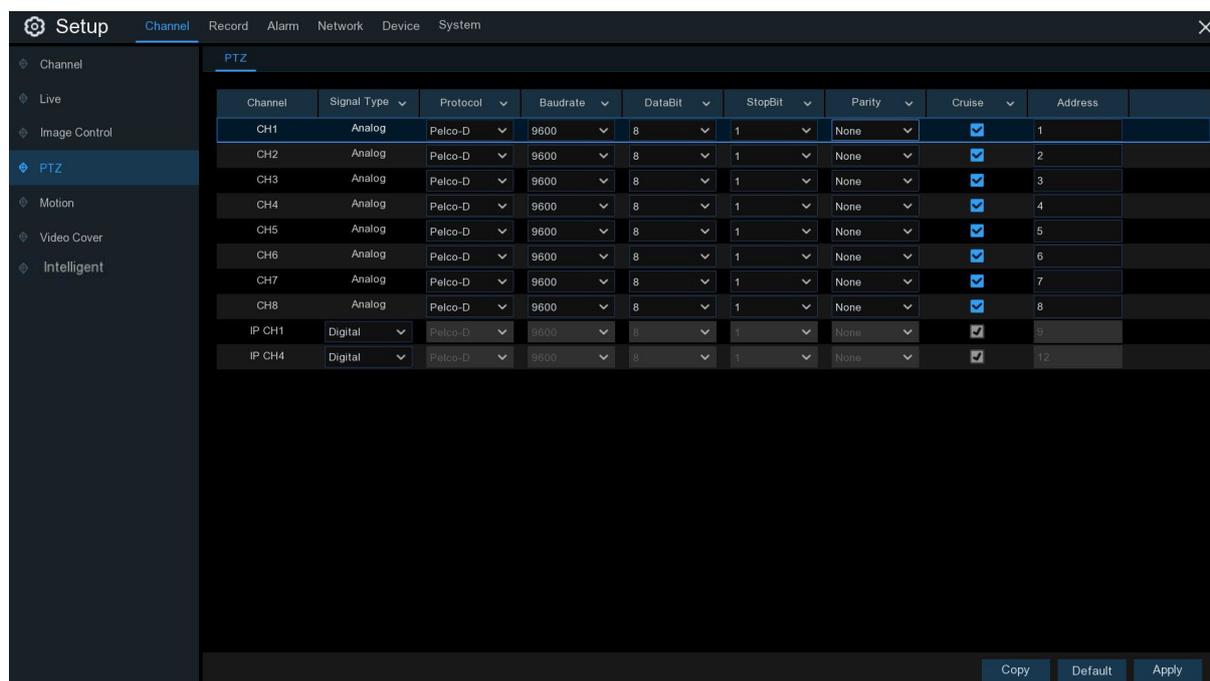


- 設定するチャンネルを選択する
- 内蔵のIRカットフィルターのモードを選択することで、昼夜を問わずカメラを正常に動作させることができます。
- IR-CUT切り替えのディレイタイムを設定する
- レンズフリップとアングルフリップを有効にするためのチェック
- フリップ角の設定
- バックライト補正の有効/無効を設定する
- バックライト補正レベルを選択
- 3Dノイズリダクション機能の有効/無効を設定する
- 3Dノイズリダクションレベルの設定
- 暗い場所で明るい光源で撮影するときに、映像の明るさとコントラストを自動的に調整できるようにします。
- WDRレベルを設定する
- 自動ゲインコントロール
- ホワイトバランスを設定する
- シャッターモードを設定する
- カメラの露出時間を選ぶ

霧の中で使用すると、映像の品質が向上する

5.1.4 PTZ

このメニューでは、ドームカメラの PTZ（パン-チルト-ズーム）設定を行います



チャンネルチャンネル名

信号の種類アナログチャンネルはアナログ、IPチャンネルはアナログ&デジタル

プロトコルPTZ対応カメラとDVRの間の通信プロトコルを選択します。カメラが UTC (Up the Coax) 機能をサポートしている場合、COAX1 または COAX2 を選択して、カメラの OSD メニューを表示したり、UTC PTZ 機能を制御したりすることが可能です。

ボーレート。DVRからPTZ対応カメラに送信される情報の速度です。PTZ対応カメラの互換性レベルと一致していることを確認してください。

DataBit / StopBit : DVRとPTZ対応カメラ間の情報は、個別のパッケージで送信されます。

DataBitは送信されたビット数を示し、**EndBit**はパッケージの終了と次の（情報）パッケージの開始を示します。**DataBit** で使用可能なパラメータは以下の通りです。**StopBit**のパラメータは1または2です。

パリティ。エラーチェック用。この設定を行うには、PTZ対応カメラのマニュアルを参照してください。

Cruise (クルーズ) 。クルーズモードを使用できるようにします。クルーズモードを使用するには、いくつかのプリセットポイントを設定する必要があります。

アドレスです。PTZ システムのコマンドアドレスを設定します。PTZ対応カメラが正しく機能するためには、それぞれ固有のアドレスが必要であることに注意してください。

5.1.4.1 PTZ制御

PTZの設定が終了すると、PTZ機能を使ってPTZカメラを制御することができます。

1) ライブビュー画面上でマウスを左クリックすると、[カメラクイックツールバー](#)が表示されま



すので、PTZコントロールの アイコンを選択して ください アル

2) PTZコントロールパネルが表示されます。

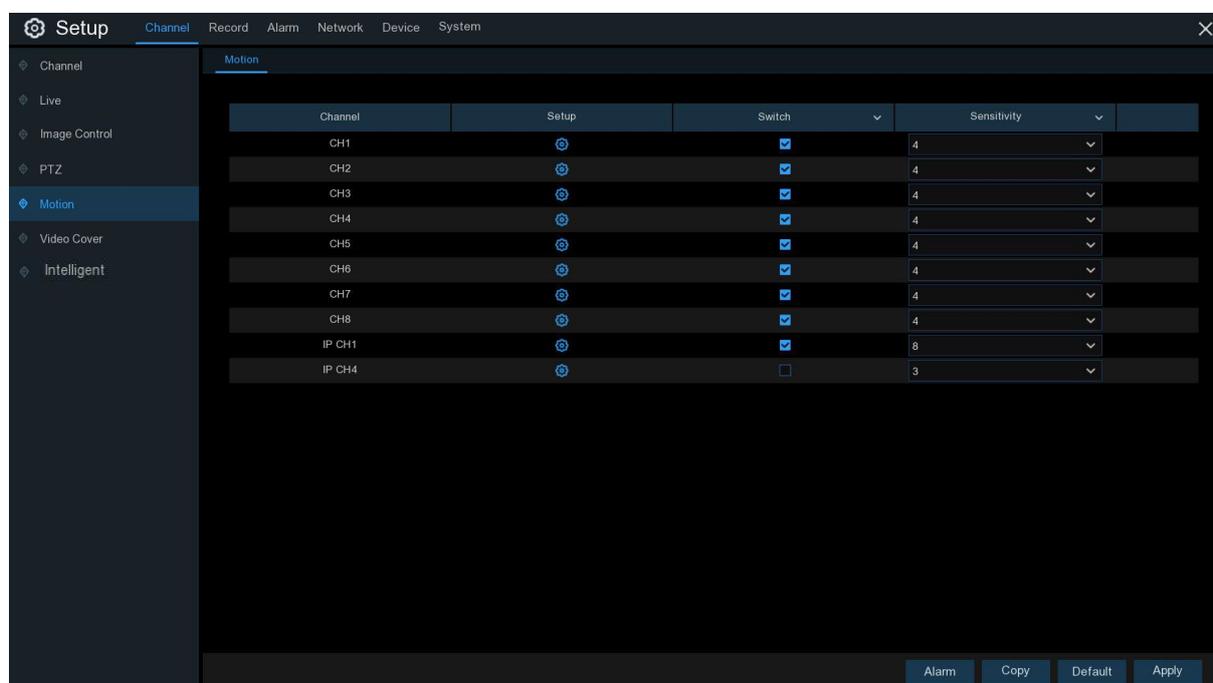


いいえ。	アイコン	項目	商品説明
1		チャンネル	PTZ カメラのチャンネルをクリックで選択します。
2		クルーズ	プリセットポイントによるPTZクルーズの開始/停止。プリセットポイントを確認する 5.1.4 PTZ 」において、このチャンネルのクルーズ機能を有効にします。
3		協定世界時メニュー	このチャンネルのプロトコルを COAX1 または COAX2 に設定した場合、 UTC メニューボタンが表示されます。このアイコンをクリックすると、 UTC OSD メニューに入ることができます。また、このボタンで UTC OSD メニューで選択します。
4	スピード	スピード	PTZスピードの調整
5		ポインターパネル	A) 方向矢印をクリックすると、PTZカメラの方向を選択できます B) 上/下/左/右矢印をクリックすると、UTC OSDメニューでカーソルが移動します。 C) をクリックすると、オートパンモードに切り替わります。
6	- ZOOM + (ズームプラス)	ズーム	クリックすると拡大・縮小します。
	- FOCUS + (フォーカスプラス)	フォーカス	クリックでフォーカス調整
	- アイリスプラス	アイリス	クリックすると、アイリス設定が調整されます
7		プリセット	プリセットポイントパネルを表示/非表示にするには
8	合計	合計	プリセットポイントの総数を表示する

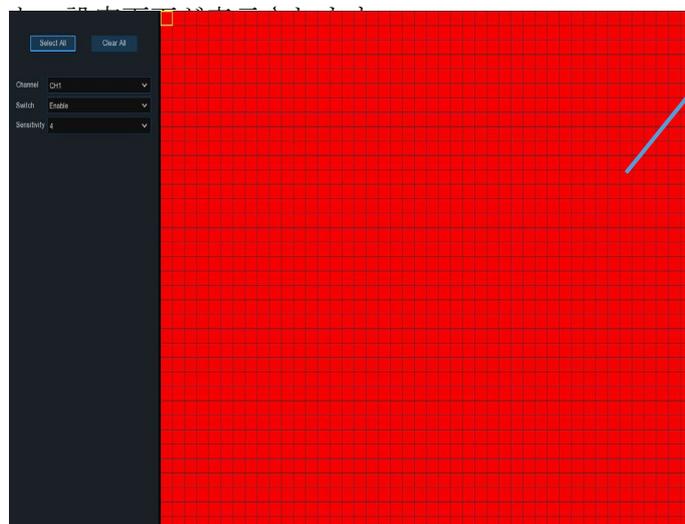
9	いいえ。	いいえ。	プリセットポイント数
10	時間	時間	プリセットポイントにカメラが滞在する時間を設定します。
11	セーブ	セーブ	クリックすると、設定とプリセットポイントが保存されます
12		鏤める	特定のプリセットポイントの番号を入力し、このボタンをクリックすると PTZ カメラをプリセットポイントに移動させる
13		削除	クリックすると、選択したプリセットポイントが削除されます
14		次のページへ	クリックすると、 PTZ カメラの特定のプリセットポイントを設定することができます。 DVR のプリセットポイントは最大 255 個まで追加できます。

5.1.5 モーション

このメニューでは、モーションのパラメータを設定することができます。モーション検出時は、1台または複数のカメラによって、ご自宅の潜在的な脅威を警告します。これは、参照用として使用するカメラの画像を添付した電子メールアラートを送信したり（このオプションが有効な場合）、モバイルアプリを介してプッシュ通知を送信することによって行われます。



セットアップを行います。クリックする



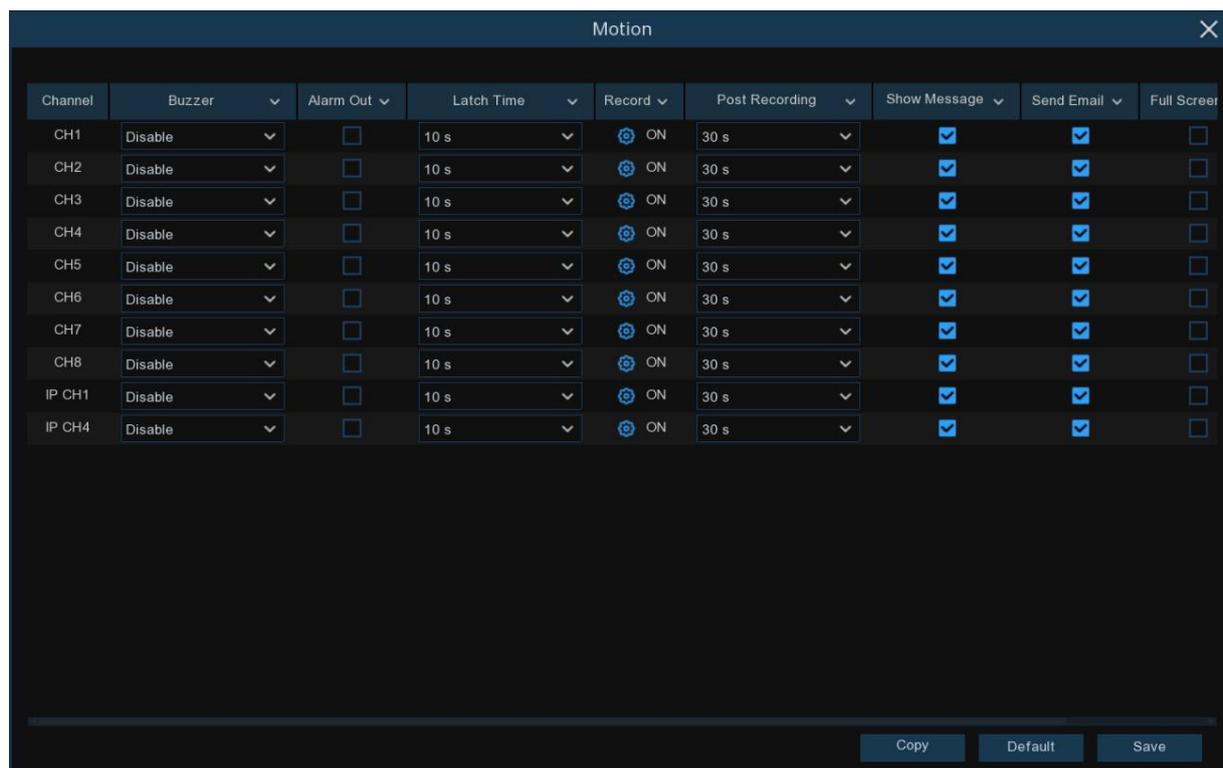
モーションディテクトエリア。

初期設定では、画面全体に動体検知のマーク（赤いブロック）が表示されます。特定の領域の動き検出を無効にしたい場合は、グリッドカーソルをクリックし、マウスをドラッグして範囲をハイライトすると、透明なブロックにマークが解除されます。設定完了後、マウスの右ボタンで戻り、**[保存]** をクリックすると、領域設定が有効になります。

スイッチ モーション検知の有効/無効を設定します。

感度を設定します。 感度のレベルを設定します。レベル1は最も低い感度レベル、レベル8は最も高い感度レベルです。

アラームボタンをクリックして、動体検知アラーム機能を設定します。



ブザーDVRは内蔵ブザーを使用してアラーム音を発することができます。動きが検出されたときのブザーの継続時間を秒単位で設定することができます。

アラーム出力。オプション機能。外部アラームデバイスに接続するDVRサポートがあれば、アラーム音を発するように設定することができます。

ラッチタイム：動体検知時の外部アラーム時間を設定します。

記録する  アイコンをクリックし、動き検出がトリガーされたときに録画したいチャンネルを選択します。



ポストレコーディング。イベント発生後、DVRが録画を継続する時間を設定することができます。推奨される録画時間は30秒ですが、最大で5分まで設定することができます。

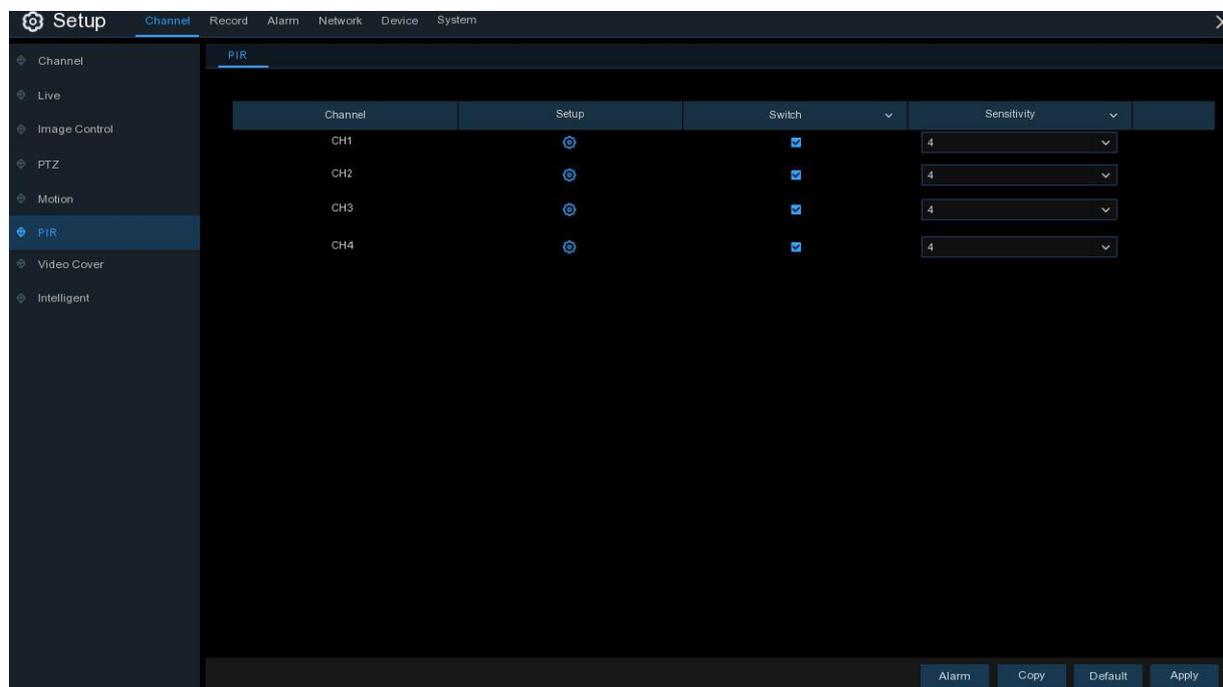
メッセージを表示する モーションが発生したとき、ライブビュー画面に  のアイコンを表示する場合は、チェックを入れます。
が検出されました。

メール送信。モーションが検出されたときに、DVRがあなたに自動メールを送信するようにすることができます。**フルスクリーン**。この機能が有効で、モーションがチャンネルで検出された場合、フルスクリーンでそのチャンネルが表示されます。

FTPアップロード。モーション検出時にアラーム画像を FTP サーバーにアップロードします。**FTP** を有効にするには、[5.4.4 FTP](#) を参照してください。

5.1.6 PIR

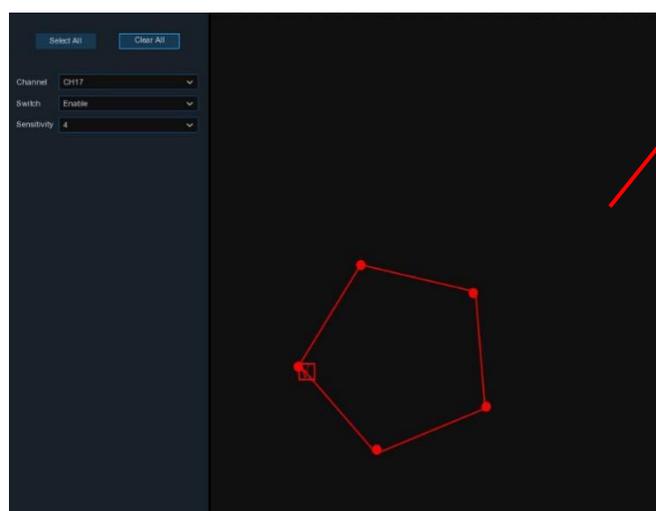
これはオプション機能です。カメラにPIR機能がある場合、ここでPIR録画を設定することができます。



スイッチです。PIR録画の有効／無効を設定します。

感度を設定します。感度のレベルを設定します。レベル1は最も低い感度レベル、レベル8は最も高い感度レベルです。

セットアップを行います。 ⚙️ アイコンをクリックし、設定画面に入ります。



PIRの検出エリア。

すべて選択 をクリックすると、カメラの画面全体がPIR検出エリアとして設定されます。**すべて削除** をクリックすると、領域が消去されます。

また、画面内に五角形を描くことで、画面内に領域を設定することができます。

領域の大きさを編集したい場合は、チェックを入れて位置を変更してください。

設定が完了したら、マウスの右ボタンで戻り、**保存** をクリックすると、領域設定が有効になります。

Alarm ボタンをクリックすると、PIR 検出アラーム機能が設定されます。

Channel	Buzzer	Alarm Out	Latch Time	Record	Post Recording	Show Message	Send Email	Full Screen
CH1	Disable	<input type="checkbox"/>	10 s	ON	30 s	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
CH2	Disable	<input type="checkbox"/>	10 s	ON	30 s	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
CH3	Disable	<input type="checkbox"/>	10 s	ON	30 s	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
CH4	Disable	<input type="checkbox"/>	10 s	ON	30 s	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
CH5	Disable	<input type="checkbox"/>	10 s	ON	30 s	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
CH6	Disable	<input type="checkbox"/>	10 s	ON	30 s	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
CH7	Disable	<input type="checkbox"/>	10 s	ON	30 s	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
CH8	Disable	<input type="checkbox"/>	10 s	ON	30 s	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
IP CH1	Disable	<input type="checkbox"/>	10 s	ON	30 s	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
IP CH4	Disable	<input type="checkbox"/>	10 s	ON	30 s	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

ブザーDVRは内蔵ブザーを使用してアラーム音を発することができます。PIR を検出したときのブザーの継続時間を秒単位で設定できます。

アラーム出力。オプション機能。外部アラームデバイスに接続するDVRサポートがあれば、アラーム音を発するように設定することができます。

ラッチタイム : PIR 検出時の外部アラーム時間を設定します。

記録する。 アイコンをクリックし、PIR 検出時に録画したいチャンネルを選択します。



ポストレコーディング。イベント発生後、DVRが録画を継続する時間を設定することができます。推奨される録画時間は30秒ですが、最大で5分まで設定することができます。

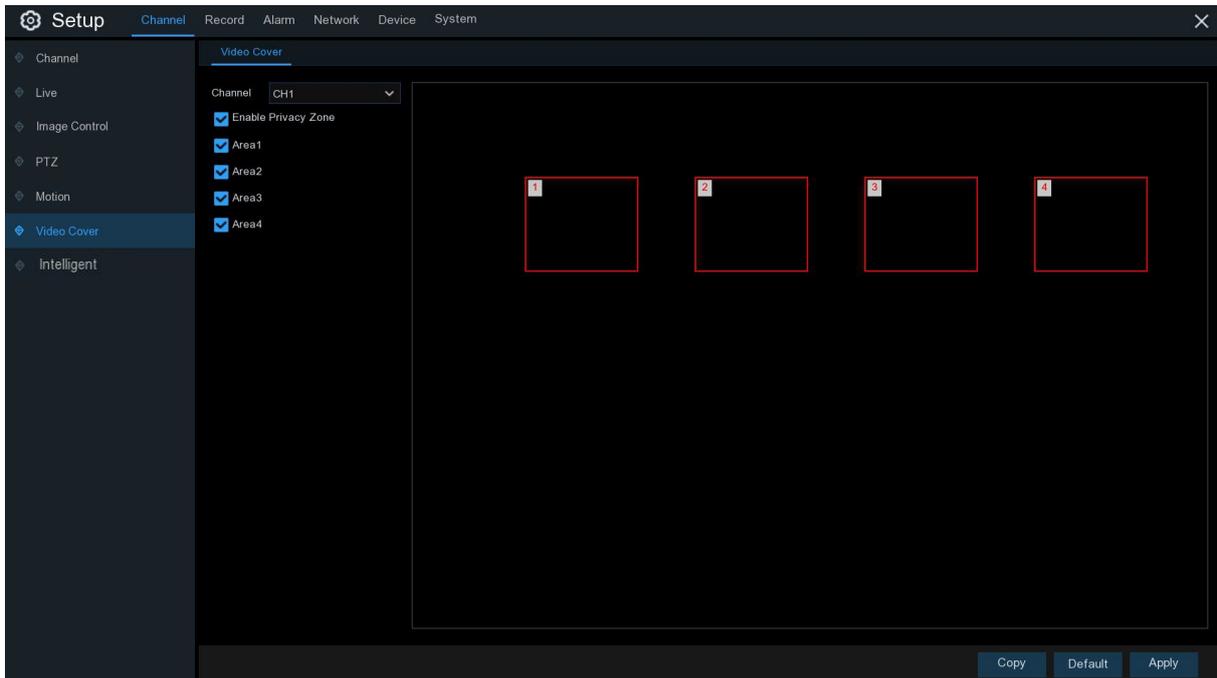
メッセージを表示するPIRアラームを検知した際に、ライブビュー画面にPIRを表示する場合はチェックを入れてください。

メール送信。PIR検出がトリガーされたときに、DVRに自動電子メールを送信させることができます。 **フルスクリーン**。この機能が有効で、PIRがチャンネルで検出された場合、そのチャンネルがフルスクリーンで表示されます。

5.1.7 動画カバー

画像の一部を覆い隠したい場合に、プライバシーゾーンを作成するメニューです。プライバシーゾーンは最大4つまで作成でき、カメラ画像上の任意のサイズと位置に設定できます。

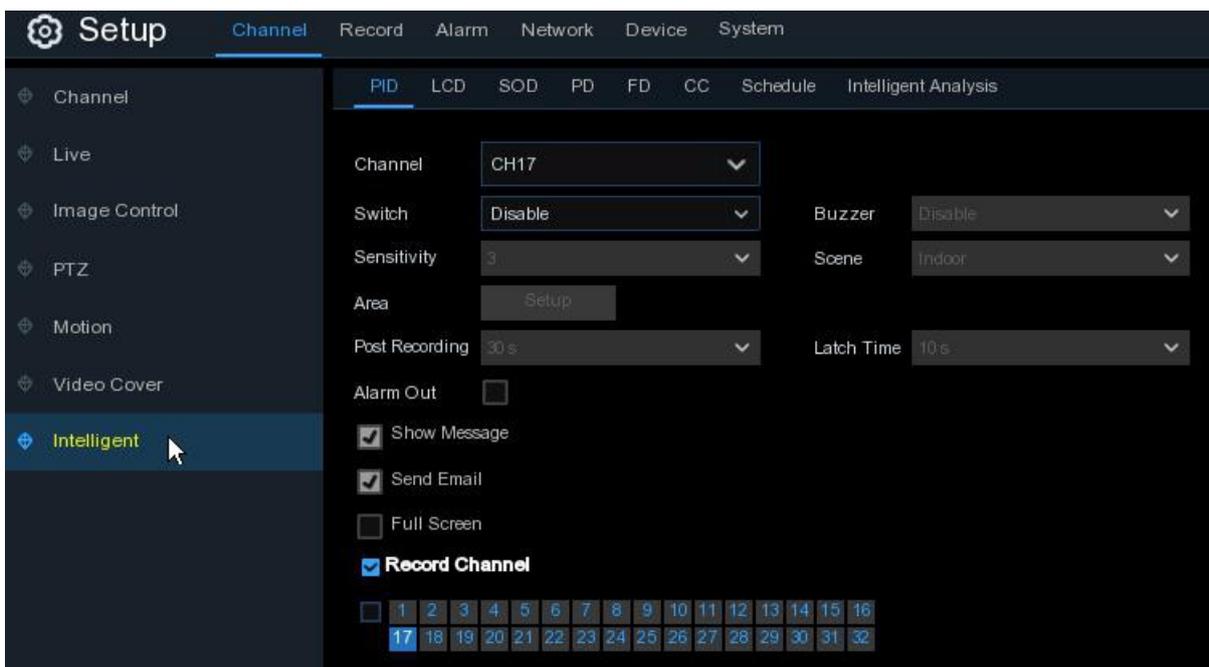
プライバシーゾーンを有効にし、必要なゾーンの数を選択します。ゾーンは「赤い箱」^アとして表示されます。赤いボックスの端をクリックし、任意のサイズにドラッグしてプライバシーゾーンを作成します。



注：設定したプライバシーゾーンの領域は、ライブビューと録画映像の両方で見えなくなります。

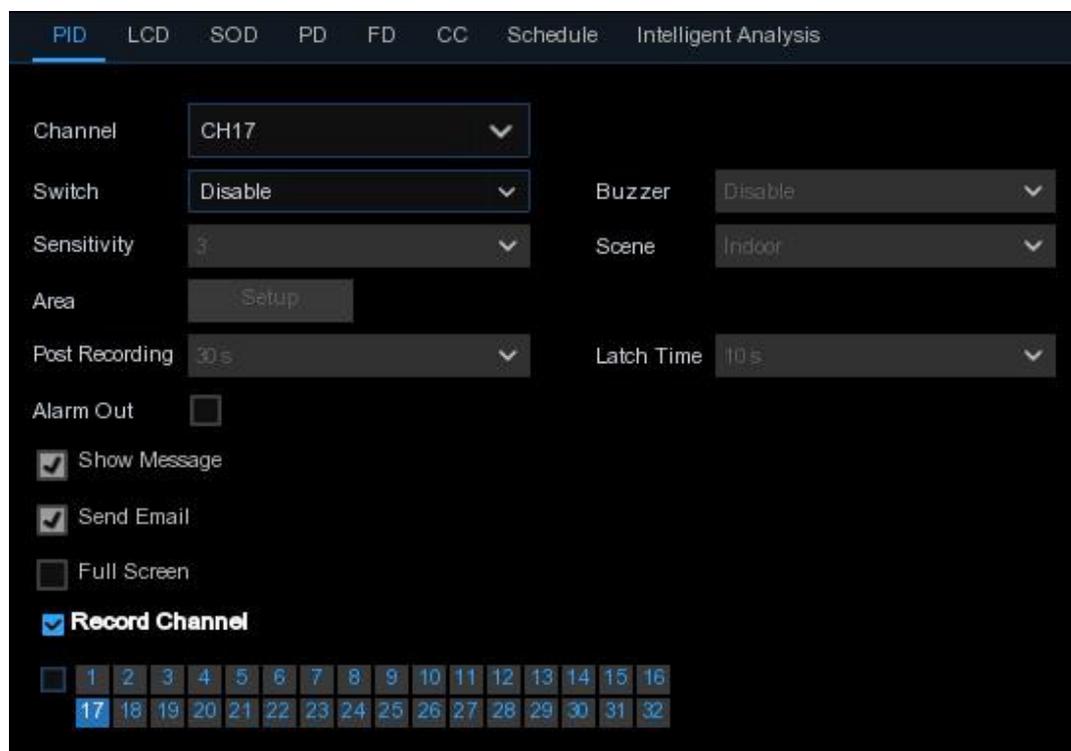
5.1.8 インテリジェント

オプションのインテリジェント機能として、周辺侵入検知、ライン横断検知、静止物検知、歩行者検知、顔検知、交差点計数などがあります。



5.1.8.1 PID (周辺侵入検知)

周辺侵入検知機能は、あらかじめ定義された仮想領域に侵入し、うろつく人、車、その他の物体を検知し、アラームが作動したときに特定のアクションを実行することができます。



スイッチです。PID機能の有効化／無効化

ブザーを鳴らします。検知した際に10秒、20秒、40秒、60秒のいずれかのタイミングでブザー音を鳴らすか、鳴らさないかを選択できます。

センシティブ (Sensitive)。感度レベルは1～4で、感度が高いほどトリガーしやすくなります。検出されます。

シーンシーン設定には、屋内と屋外があります。カメラを設置した場所に合わせてシーンを選択してください。

ポストレコーディング。イベント発生後、DVRが録画を継続する時間を設定できます。

ラッチ時間：検出がトリガーされたときの外部アラーム時間を設定します。**アラーム**

出力: DVRが外部アラーム装置に接続することをサポートする場合、アラーム音を発するように設定することができます。

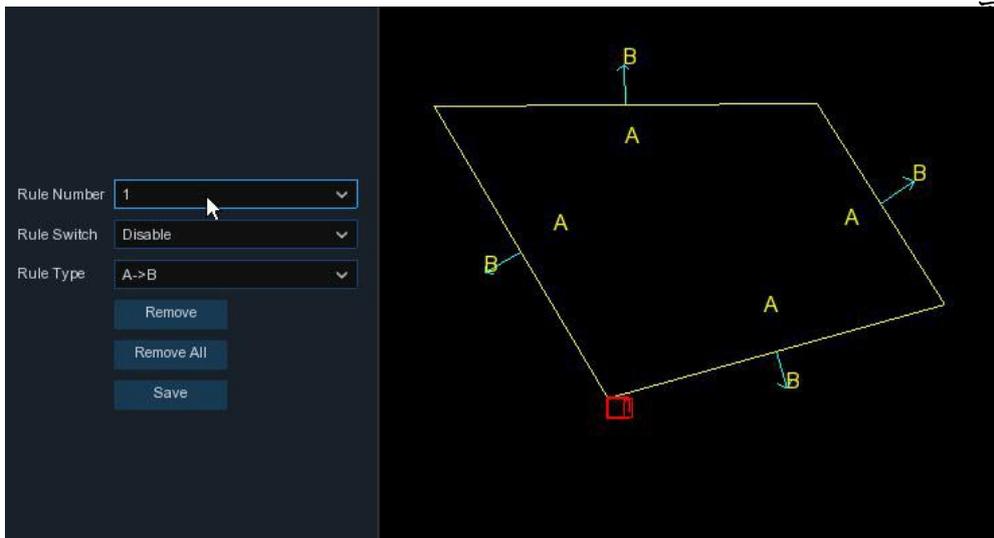
メッセージを表示する。PID機能がトリガーされると、画面に "S "の文字が表示されます。

メールを送信します。アラームが発生した場合、設定したメールアカウントにメールが送信されます。

フルスクリーン検出された場合、チャンネルをフルスクリーンに拡大します。**チ**

ャンネルを録画: 検出がトリガーされたときに録画したいチャンネルを選択します。

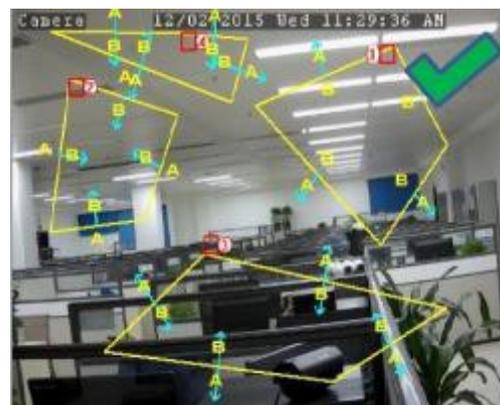
[エリア設定](#) をクリックすると、カメラ画像に仮想領域を描画します。



1. ルール番号のいずれかを選択します。PIDエリアの番号です。PID機能で設定できるエリアは最大4つです。
2. **Rule Switch**で検出を有効にする場合。
3. **ルールの種類**を選択します。
 AB : DVRはA側からB側への動作のみを検出、 : DVRはB側からA側への動作のみを検出します。
 AB : DVRは、B側からA側、またはA側からB側へのいずれかのアクションを検出します。
4. マウスを使ってカメラ画像内の4点をクリックし、仮想領域を描画します。領域の形状は凸多角形である必要があります。凹型のポリゴンは保存できません。
5. **保存**] をクリックすると、設定が保存されます。
6. 領域の位置や形状を変更したい場合は、領域内の赤枠をクリックすると、領域の境界線が赤色に変更されます。マウスの左ボタンを長く押し続けると、領域の位置が移動し、角をドラッグすると領域のサイズが変更されます。
7. カメラ画像からいずれかの領域を削除したい場合は、領域内の赤枠をクリックし、**削除**ボタンをクリックします。**すべて削除**をクリックすると、すべての領域が削除されます。

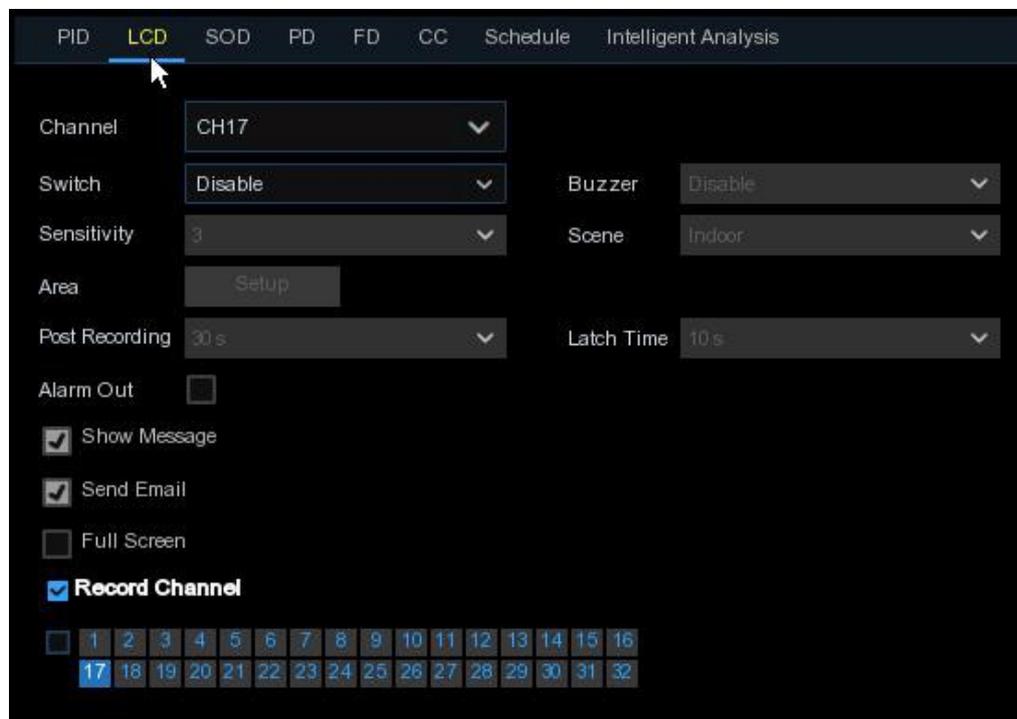
お知らせ

- 1) ターゲットがエッジ/コーナーを通過する際に検出をトリガできない可能性があるため、周囲はカメラ画像のエッジ/コーナーに近すぎてもならない。
- 2) 領域の形状は、ターゲットが外周を通過する際に検出できない可能性があるため、狭すぎず、小さすぎずとすること。



5.1.8.2 LCD（ラインクロッシング検出）

ラインクロス検出機能は、あらかじめ設定された仮想ラインを横切る人、車、その他の物体を検出し、アラームが発生したときに特定のアクションを実行することができます。



チャンネル 設定するチャンネルを選択します

スイッチ です。LCD機能の有効化／無効化

ブザーを鳴らします。検知した際に10秒、20秒、40秒、60秒のいずれかのタイミングでブザー音を鳴らすか、鳴らさないかを選択できます。

センシティブ (Sensitive)。感度レベルは1～4で、感度が高いほど検出が容易になります。

シーン シーン設定には、屋内と屋外があります。カメラを設置した場所に合わせてシーンを選択してください。

ポストレコーディング。イベント発生後、DVRが録画を継続する時間を設定できます。

ラッチタイム：検知した際の外部アラーム時間を設定します。

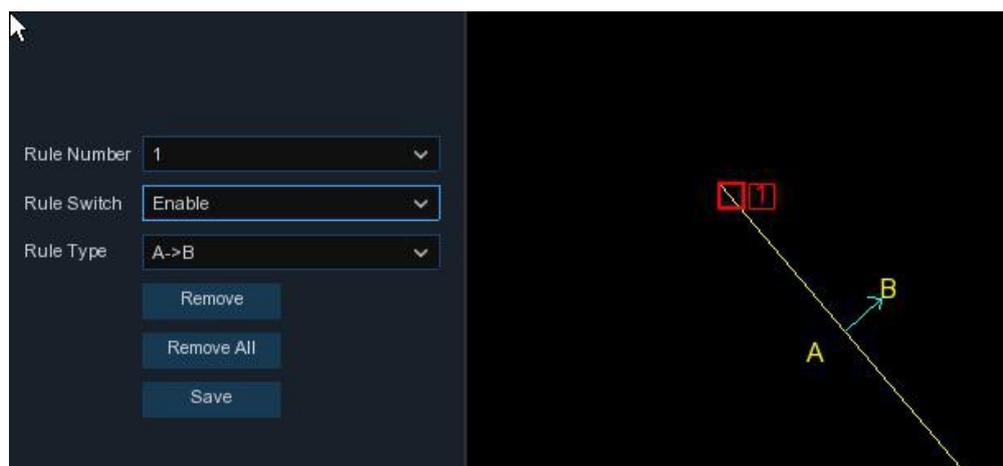
アラームアウト：外部アラームデバイスに接続するDVRサポートの場合、アラーム音を発するよう設定することができます。

メッセージを表示する。LCD機能が作動すると、画面に "S" の文字が表示されます。

メールを送信します。アラームが発生した場合、設定したメールアカウントにメールが送信されます。**フルスクリーン** 検出された場合、チャンネルをフルスクリーンに拡大します。**チャンネルを録画**：

検出がトリガーされたときに録画したいチャンネルを選択します。

「**エリア設定**」をクリックすると、カメラ画像に仮想の線が描かれます。



1. ルール番号のいずれかを選択します。液晶の線の数です。最大4ラインまで描画可能です。
2. **Rule Switch**で検出を有効にする場合。
3. ルールの**種類**を選択します。
 AB : DVRはA側からB側への動作のみを検出、 : DVRはB側からA側への動作のみを検出します。
 AB : DVRは、B側からA側、またはA側からB側へのいずれかのアクションを検出します。
4. マウスでカメラ映像の2点をクリックすると、仮想の線が描かれます。
5. **保存**をクリックすると、設定が保存されます。
6. 線の位置や長さを変更したい場合は、線の中の赤枠をクリックすると、線の色が赤色に変更されます。マウスの左ボタンを長押しすると線が移動し、端末をドラッグすると線の長さや位置が変更できます。
7. カメラ画像から線を1本だけ削除したい場合は、線の赤枠をクリックし、**削除**ボタンをクリックします。**すべて削除**をクリックすると、すべての線が削除されます。

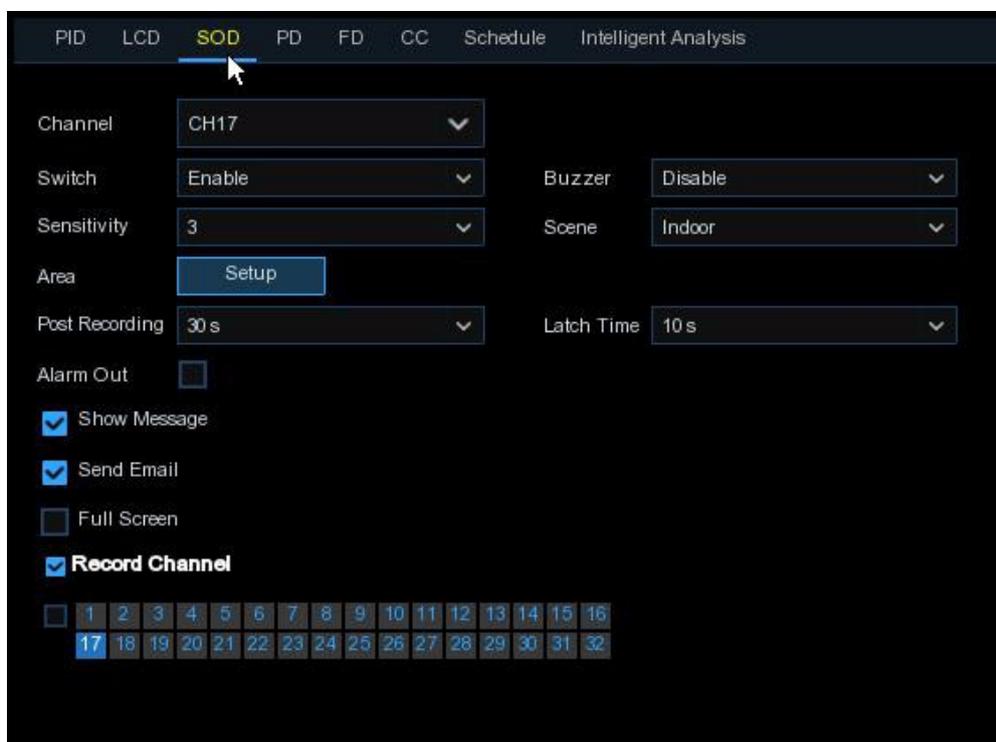
お知らせ

- 1) 線はカメラ画像の端に近すぎてもならず、ターゲットがそれを横切ったときにアラームが作動しないことを避けるためである。
- 2) ターゲットがその外側を通過したときにアラームが作動しないことを避けるため、線は短く設定してはならない。



5.1.8.3 SOD（静止物検出）

置き忘れ防止機能では、手荷物、財布、危険物など、あらかじめ設定された領域内の置き忘れを検知し、アラーム発生時に一連のアクションを実行することができます。



チャンネル：設定するチャンネルを選択します。

スイッチ：SOD機能の有効/無効を切り替える

ブザー：検知時に10秒、20秒、40秒、60秒のいずれかのタイミングでブザーを鳴らすか鳴らさないかを設定

センシティブ (Sensitive)。感度レベルは1～4で、初期値は2です。感度を高くすると、検出のトリガーがかかりやすくなります。

シーンシーン設定には、インドアとアウトドアがあります。に合わせてシーンをお選びください。は、カメラを設置する場所です。

ポストレコーディング。イベント発生後、DVRが録画を継続する時間を設定できます。

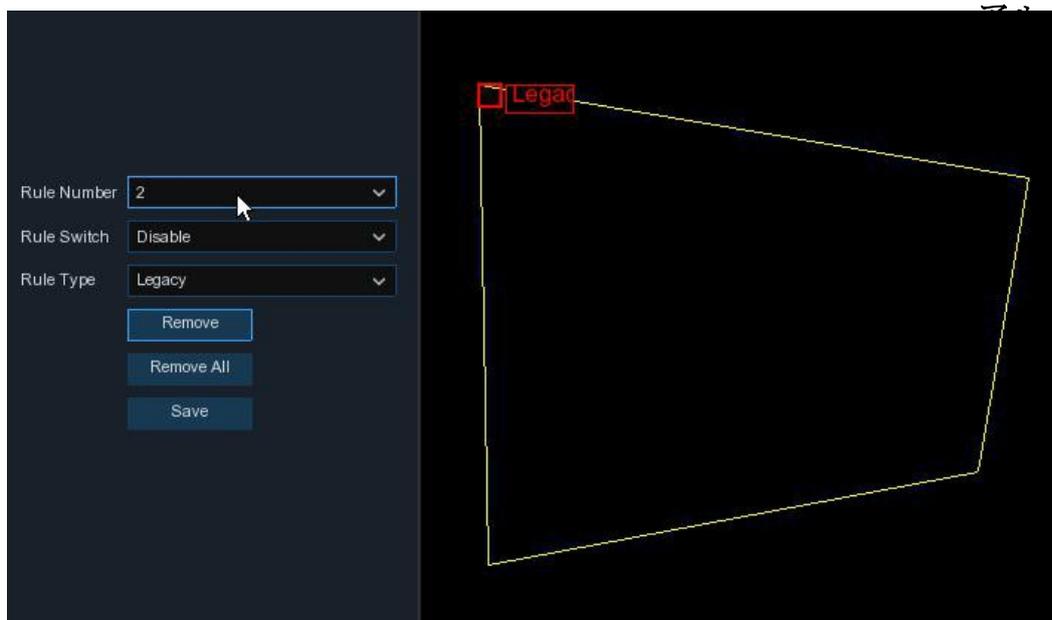
ラッチタイム：検知した際の外部アラーム時間を設定します。

アラームアウト：外部アラームデバイスに接続するDVRサポートの場合、アラーム音を発するよう設定することができます。

メッセージを表示する。インテリジェント検出が作動すると、画面に "S" の文字が表示されます。

メールを送信します。アラームが発生した場合、設定したメールアドレスにメールが送信されます。**フルスクリーン**検出された場合、チャンネルをフルスクリーンに拡大します。**チャンネルを録画**：検出がトリガーされたときに録画したいチャンネルを選択します。

「[エリア設定](#)」をクリックすると、カメラ画像に仮想領域を描画します。



1. ルール番号のいずれかを選択します。SODエリアの番号です。SOD機能で設定できるエリアは最大4つです。
2. **Rule Switch**で検出を有効にする場合。
3. ルールの種類を選択します。
レガシーDVRは、残されたオブジェクトのみを検出します; Lost。DVRは紛失したオブジェクトを検出するだけです。
レガシー&ロスト。DVRは、レガシー&ロストの両方を検出します。
4. マウスを使ってカメラ画像内の4点をクリックし、仮想領域を描画します。領域の形状は凸多角形である必要があります。凹型のポリゴンは保存できません。
5. **保存]** をクリックすると、設定が保存されます。
6. 領域の大きさを調整したい場合は、領域内の赤枠をクリックすると、領域の境界線が赤色に変更されます。マウスの左ボタンを長押しすると領域全体が移動し、角をドラッグすると領域の大きさが変更されます。
7. カメラ画像からいずれかの領域を削除したい場合は、領域内の赤枠をクリックし、**削除**ボタンをクリックします。**すべて削除**をクリックすると、すべての領域が削除されます。

お知らせ

- 1) など、検出対象物の大きさ以上の面積が必要である。

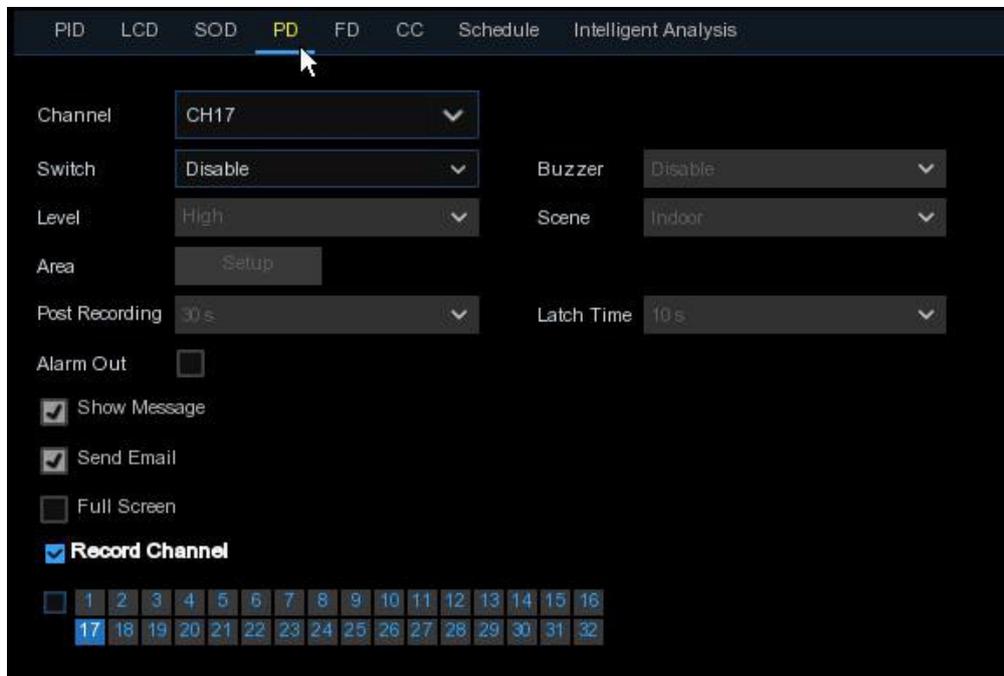
白いボトルの検出

- 2) 検出された物体を覆うことができない。



5.1.8.4 PD（歩行者検知）

歩行者検知機能は、あらかじめ設定された領域で移動する人を検知し、アラームが作動した際に一連のアクションを起こすことができます。



チャンネル：設定するチャンネルを選択します。

スイッチ：PD機能の有効/無効を切り替える

ブザー：検知時に10秒、20秒、40秒、60秒のいずれかのタイミングでブザーを鳴らすか鳴らさないかを設定

レベルスモール、ミドル、ビッグ小レベルは、遠距離の物体を検出するのに適しています。近距離の物体を検出する場合は、大レベルを推奨します。

シーンシーン設定には、インドアとアウトドアがあります。シーンは以下の中からお選びください。

は、カメラを設置した場所に合わせてください。

ポストレコーディング。イベント発生後、DVRが録画を継続する時間を設定できます。

ラッチ時間：検出がトリガーされたときの外部アラーム時間を設定します。**アラーム**

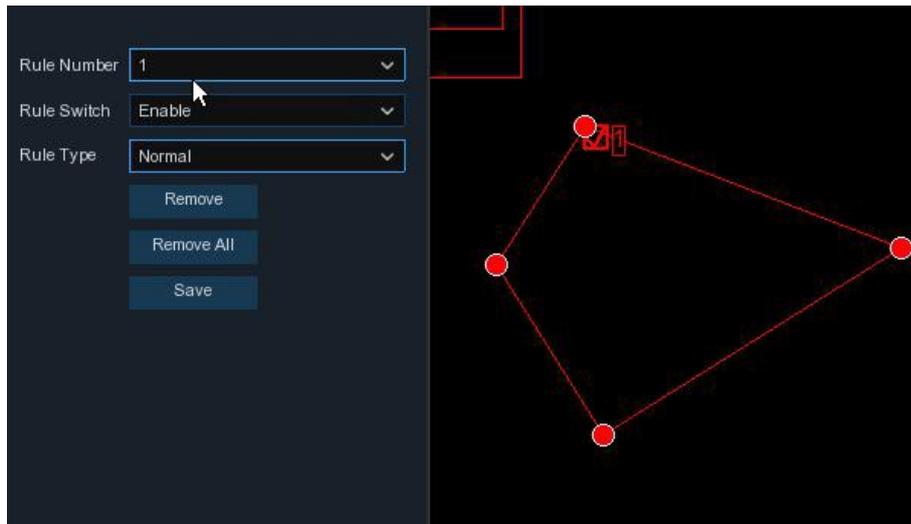
出力: DVRが外部アラーム装置に接続することをサポートする場合、アラーム音を発するように設定することができます。

メッセージを表示する。インテリジェント検出の場合、画面に "S" の文字が表示されます。をトリガーにした。

メールを送信します。アラームが発生した場合、設定したメールアドレスにメールが送信されます。**フルスクリーン**検出された場合、チャンネルをフルスクリーンに拡大します。**チ**

チャンネルを録画する: 検出がトリガーされたときに録画したいチャンネルを選択します。

エリア設定]をクリックして、カメラ画像に仮想領域を描画します。



1. ルール番号のいずれかを選択します。PDエリアの数です。PD機能で設定できるエリアは最大4つです。
2. **Rule Switch**で検出を有効にする場合。
3. **ルールの種類**を選択します。この検出ではノーマルのみ利用可能です。
4. マウスを使ってカメラ画像内の4点をクリックし、仮想領域を描画します。領域の形状は凸多角形である必要があります。凹型のポリゴンは保存できません。
5. **保存**] をクリックすると、設定が保存されます。
6. 領域の大きさを調整したい場合は、領域内の赤枠をクリックすると、領域の境界線が赤色に変更されます。マウスの左ボタンを長押しすると領域全体が移動し、角をドラッグすると領域の大きさが変更されます。
7. カメラ画像からいずれかの領域を削除したい場合は、領域内の赤枠をクリックし、**削除**ボタンをクリックします。**すべて削除**をクリックすると、すべての領域が削除されます。

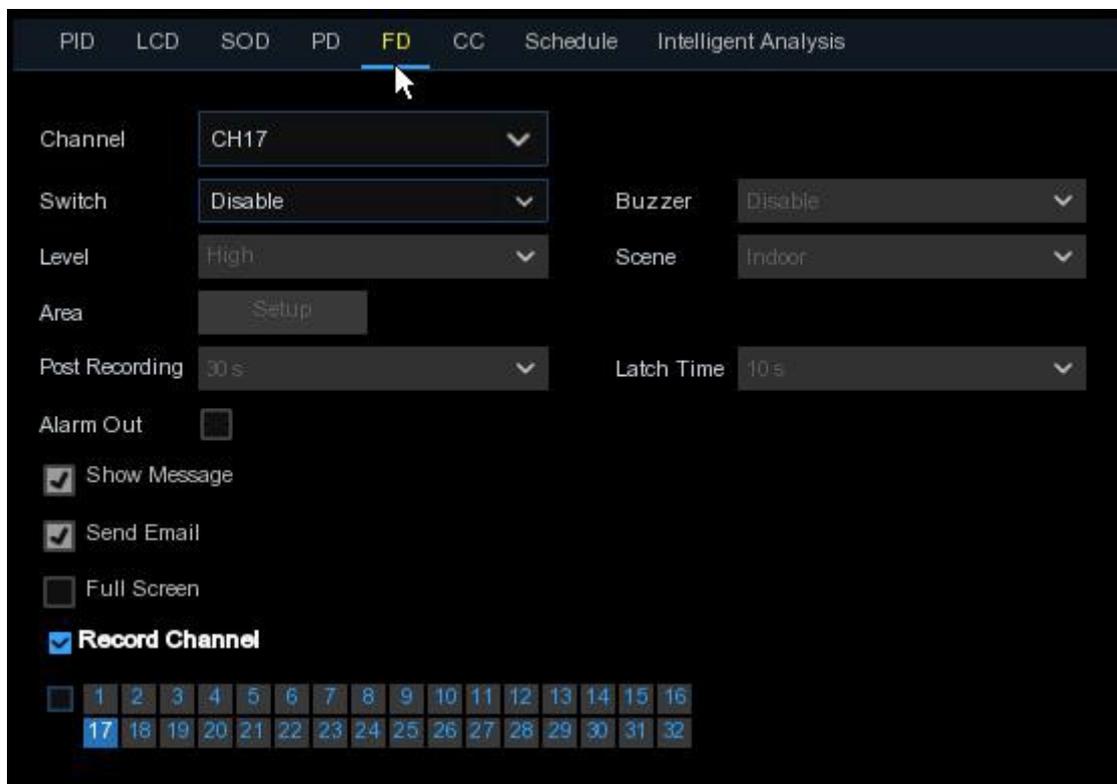
お知らせ

- 1) 検出のための領域は、人が到達できない領域であってはならない。
- 2) 検出された人たちは、その地域を完全に包囲する必要があります。



5.1.8.5 FD(顔検出)

顔検出機能は、あらかじめ設定された領域に現れる動く人の顔を検出し、アラームが作動したときに一連のアクションを実行することができます。



チャンネル：設定するチャンネルを選択します。

Enable：FD機能の有効/無効を設定します。

ブザー：検知時に10秒、20秒、40秒、60秒のいずれかのタイミングでブザーを鳴らすか鳴らさないかを設定

レベルスモール、ミドル、ビッグ小レベルは、遠距離の物体を検出するのに適しています。近距離の物体を検出する場合は、大レベルを推奨します。

シーンシーン設定には、インドアとアウトドアがあります。シーンは以下の中からお選びください。

は、カメラを設置した場所に合わせてください。

ポストレコーディング。イベント発生後、DVRが録画を継続する時間を設定できます。

ラッチ時間：検出がトリガーされたときの外部アラーム時間を設定します。**アラーム**

出力: DVRが外部アラーム装置に接続することをサポートする場合、アラーム音を発するように設定することができます。

メッセージを表示する。インテリジェント検出の場合、画面に "S" の文字が表示されます。をトリガーにした。

メールを送信します。アラームが発生した場合、設定したメールアカウントにメールが送信されます。**フルスクリーン**検出された場合、チャンネルをフルスクリーンに拡大します。**チ**

チャンネルを録画する: 検出がトリガーされたときに録画したいチャンネルを選択します。
エリア設定]をクリックして、カメラ画像に仮想領域を描画します。

1. ルール番号のいずれかを選択します。FDエリアの番号です。FD機能で設定できるエリアは最大4つです。
2. **Rule Switch**で検出を有効にする場合。
3. ルールの種類を選択します。この検出ではノーマルのみ利用可能です。
4. マウスを使ってカメラ画像内の4点をクリックし、仮想領域を描画します。領域の形状は凸多角形である必要があります。凹型のポリゴンは保存できません。
5. **保存]** をクリックすると、設定が保存されます。
6. 領域の大きさを調整したい場合は、領域内の赤枠をクリックすると、領域の境界線が赤色に変更されます。マウスの左ボタンを長押しすると領域全体が移動し、角をドラッグすると領域の大きさが変更されます。
7. カメラ画像からいずれかの領域を削除したい場合は、領域内の赤枠をクリックし、**削除**ボタンをクリックします。**すべて削除**をクリックすると、すべての領域が削除されます。

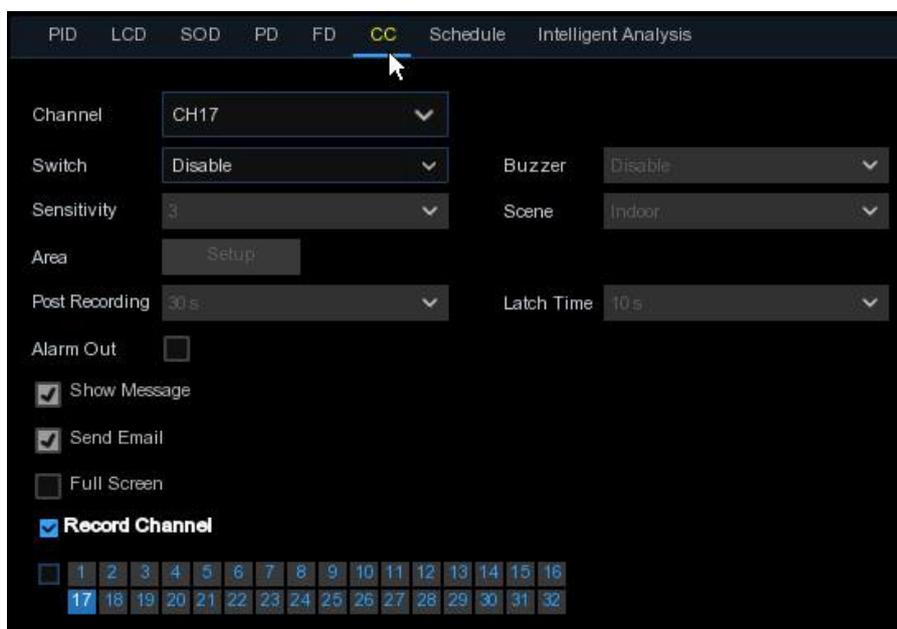
お知らせ

- 1) 検出のための領域は、人が到達できない領域であってはならない。
- 2) この領域は、前面全体を含む必要があります。



5.1.8.6 CC (クロスカウンティング)

クロスカウント機能とは、仮想の線をまたいで物や人を移動させた時間をカウントする機能です。



チャンネル：設定するチャンネルを選択します。

スイッチ：CC機能の有効/無効を切り替えます。

ブザー：検知時に10秒、20秒、40秒、60秒のいずれかのタイミングでブザーを鳴らすか鳴らさないかを設定

センシティブ (Sensitive)。感度レベルは1～4で、初期値は2です。感度を高くすると、検出のトリガーがかかりやすくなります。

シーンシーン設定には、インドアとアウトドアがあります。に合わせてシーンをお選びください。は、カメラを設置する場所です。

ポストレコーディング。イベント発生後、DVRが録画を継続する時間を設定できます。

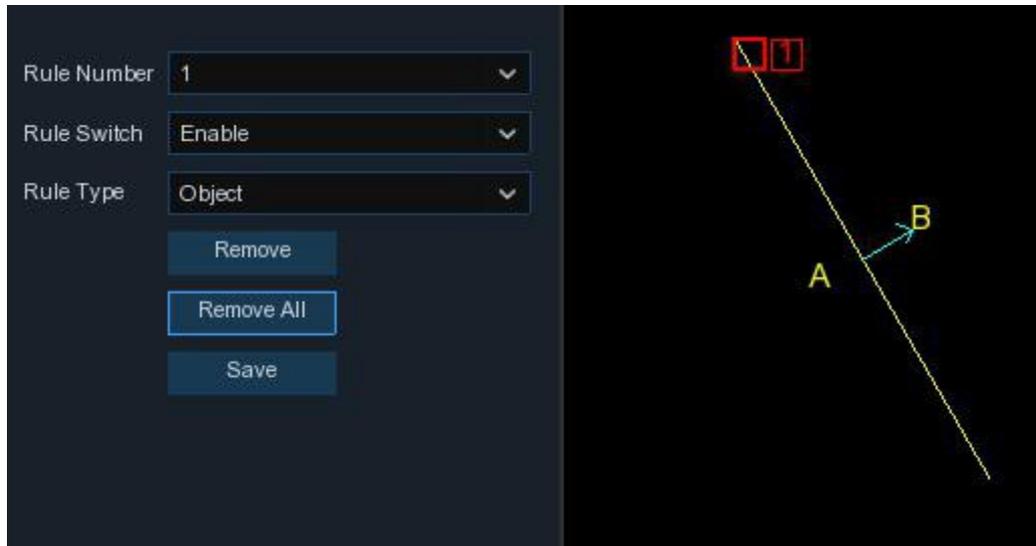
ラッチタイム：検知した際の外部アラーム時間を設定します。

アラームアウト：外部アラームデバイスに接続するDVRサポートの場合、アラーム音を発するように設定することができます。

メッセージを表示する。インテリジェント検出が作動すると、画面に "S" の文字が表示されます。

メールを送信します。アラームが発生した場合、設定したメールアカウントにメールが送信されます。**フルスクリーン**検出された場合、チャンネルをフルスクリーンに拡大します。**チャンネルを録画する: 検出がトリガーされた**ときに録画したいチャンネルを選択します。

エリア設定]をクリックして、カメラ画像に仮想領域を描画します。



1. ルール番号のいずれかを選択します。描画できる仮想線の本数です。最大4本です。
2. **Rule Switch**で検出を有効にする場合。
3. ルールの種類を選択する
オブジェクトです。移動する物体のみカウントされます。
歩行者：動いている人だけをカウントします。
4. マウスでカメラ映像の2点をクリックすると、仮想の線が描かれます。A面からB面までがEnter、B面からA面までがExitです。
5. **保存]** をクリックすると、設定が保存されます。

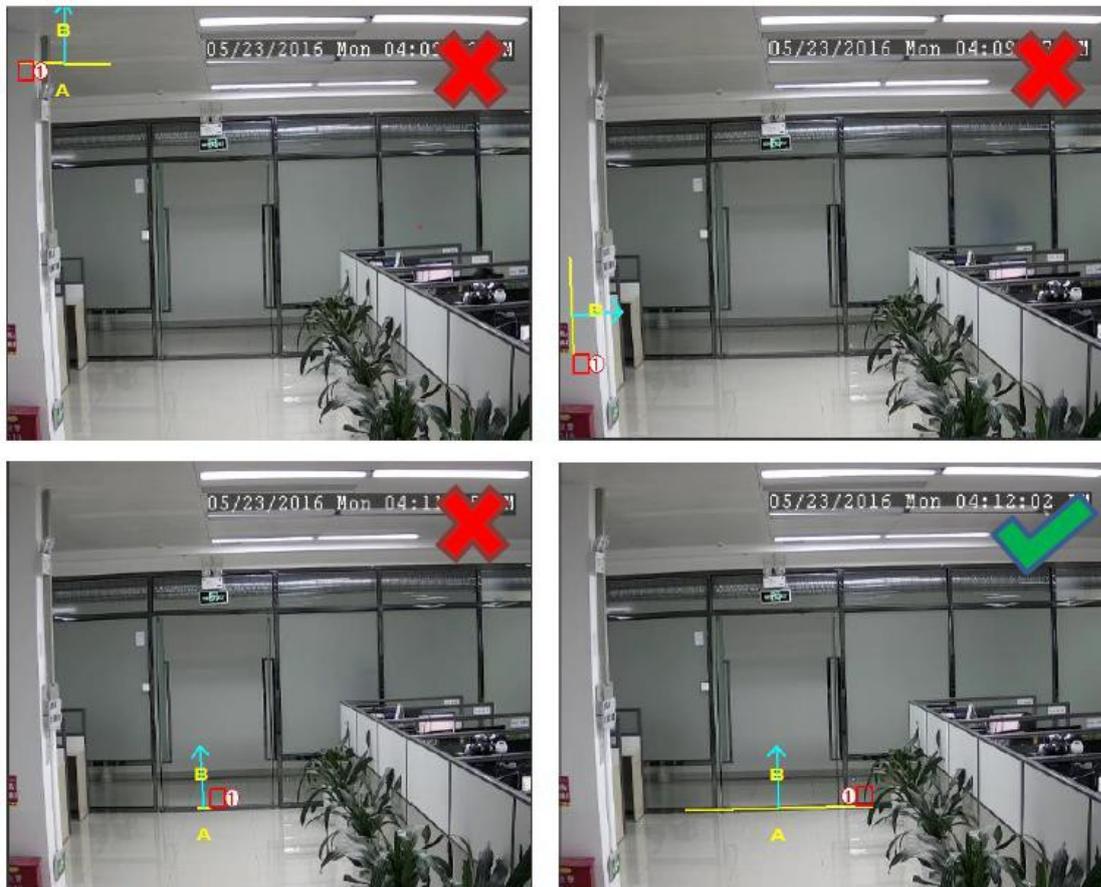
6. 線の位置や長さを修正したい場合は、線の中の赤枠の色をクリックしますアル

をクリックすると、線が赤色に変わります。マウスの左ボタンを長押しすると線が移動し、^{アル}端末をドラッグすると線の長さや位置が変更されます。

7. カメラ画像から線を1本だけ削除したい場合は、線の赤枠をクリックし、**削除**ボタンをクリックします。**すべて削除**をクリックすると、すべての線が削除されます。

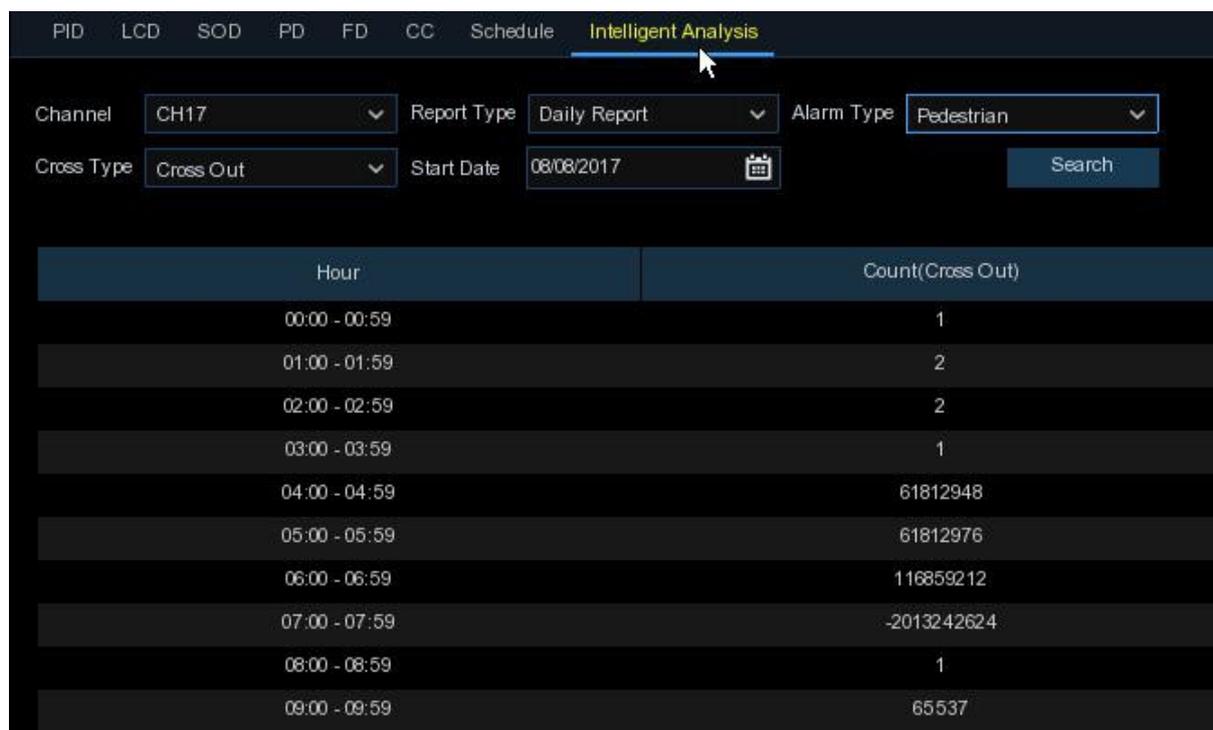
お知らせ

- 1) 線はカメラ画像の端に近すぎたはならず、ターゲットがそれを横切ったときにアラームが作動しないことを避けるためである。
- 2) 線は、検出された物体が届く範囲にあることが望ましい。
- 3) ターゲットがその外側を通過したときにアラームが作動しないことを避けるため、線は短く設定してはならない。



5.1.8.7 Intelligent Analysisでクロスカウンタの統計結果を検索・表示することができます。

5.1.8.7 インテリジェント・アナリシス



統計結果は、日次／週次／月次／年次でクロスイン・クロスアウトの照会が可能です。

5.1.8.8 インテリジェント・スケジュール



インテリジェント機能を有効にするには、スケジュールを設定する必要があります。スケジュールは、24時間×7日間で有効になります。

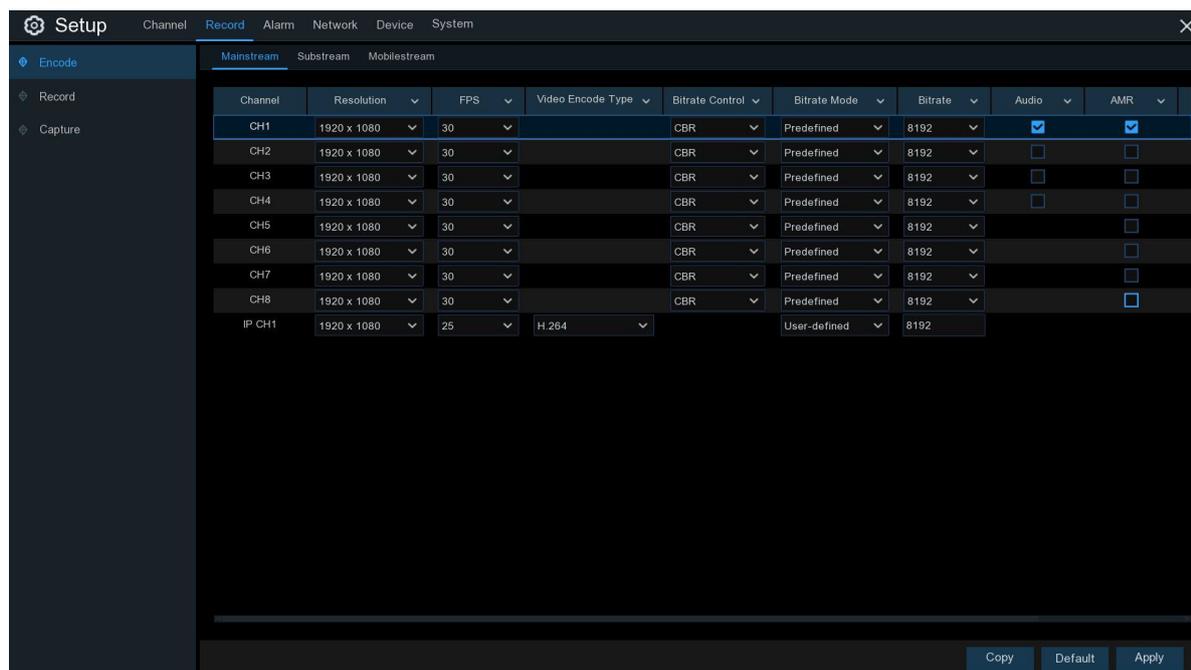
スケジュールを設定するには、1つのチャンネルを選択し、カーソルをドラッグしてスロットをマークします。タイムスロット内の空色のブロックは、Intelligent検出のためにアクティブになります。スケジュールは、設定したときに選択されたチャンネルに対してのみ有効です。他のチャンネルにも同じスケジュールを使用したい場合は、コピー機能を使用してください。[保存] をクリックすると、設定が保存されます。

5.2 記録

このメニューでは、録画のパラメータを設定することができます

5.2.1 エンコード

このメニューでは、録画映像やネットワーク伝送の画質を設定することができます。一般的に、メインストリームは **HDD** に保存される録画映像の画質、サブストリームは **Web** クライアントや **CMS** などのリモートアクセスで表示される映像の画質、モバイルストリームはモバイルデバイスからのリモートアクセスで表示される映像の画質をそれぞれ定義します。



解像度。 このパラメーターは、記録される画像の大きさを定義します。

FPS: このパラメーターは、**DVR** が記録する 1 秒あたりのフレーム数を定義します。

ビデオエンコードタイプ。 IPカメラのみ。**DVR** は **H.264 IP** カメラのみをサポートします。**H.26 5** を選択した場合、**IP** チャンネルのライブビュー画面には「[デコードに失敗しました](#)」と表示されます。

ビットレート・コントロール。 ビットレートレベルを選択します。グレーの壁のようなシンプルなシーンでは、**CBR** が適しています。より複雑なシーン、例えば賑やかな通りは**CBR** が適しています。

ビットレートモード。 ビットレートを自分で設定したい場合は、**ユーザー定義** モードを選択します。あらかじめ定義されたビットレートを選択したい場合は、**Predefined** モードを選択します。

ビットレート。 このパラメーターは、**DVR** がビデオの録画に使用するデータ転送の速度に対応します。より高いビットレートでエンコードされた録画は、より高品質になります。

オーディオ ビデオと一緒に音声を記録したい場合、マイクを**DVR** に接続しているか、音声機能付きのカメラを使用している場合は、このオプションを選択します。

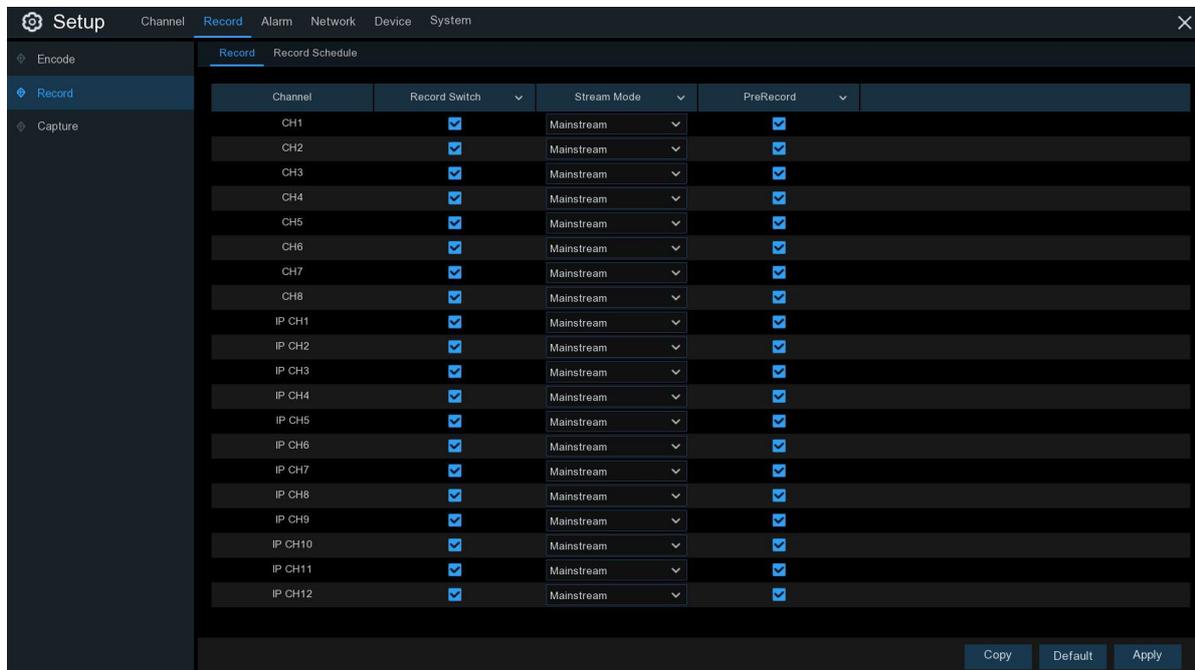
AMR: **AMR** オプションをチェックすると、このチャンネルにアラーム（モーションまたは I/O

アラーム)が発生した場合、最大フレームレートとビットレートで記録されます。

5.2.2 記録

このメニューでは、チャンネル録画のパラメータを設定することができます。

5.2.2.1 記録



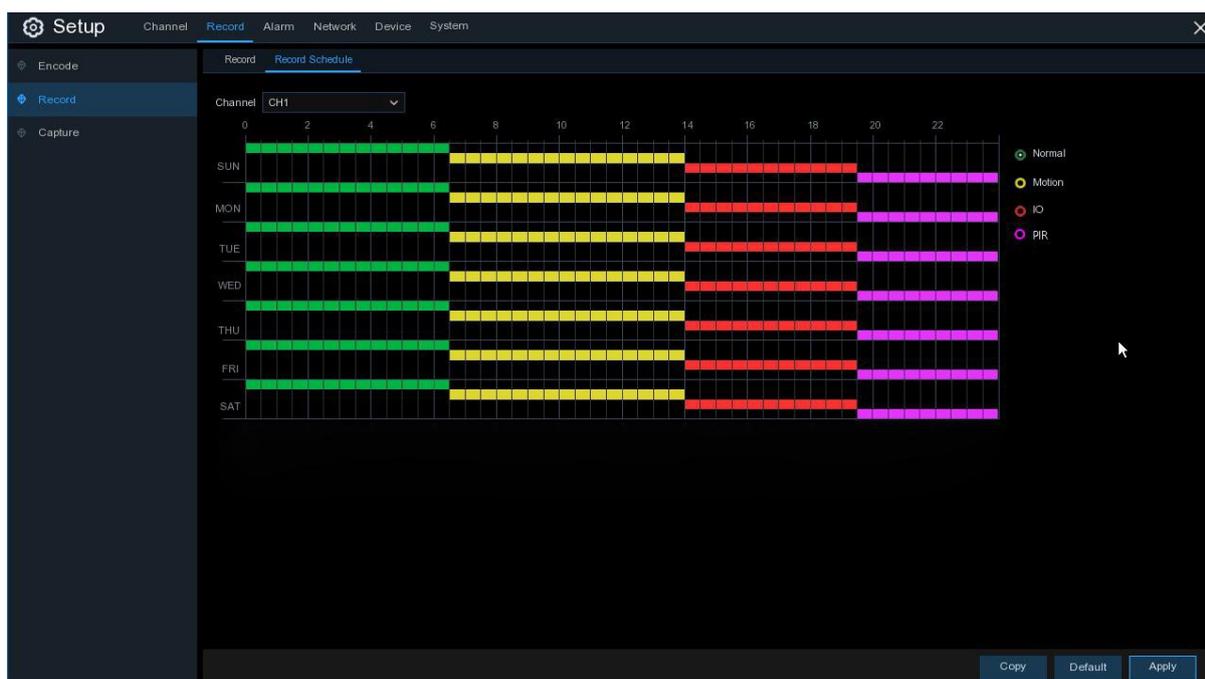
録画スイッチ。 このチャンネルでの録音を有効にする場合はチェックを入れます。

ストリームモード。 録画画質を選択します。Dualstreamを選択した場合、MainstreamとSubstreamの両方で録画されます。

プリレコード このオプションを有効にすると、DVRはアラームイベントが発生する数秒前に録画を開始します。主な録画タイプがモーションまたはI/Oアラームベースの場合、このオプションを使用します。

5.2.2.2 記録スケジュール

このメニューでは、DVR がビデオを録画するタイミングを指定し、各チャンネルの録画モードを定義することができます。録画スケジュールでは、通常（連続）録画、モーション録画、I/Oアラーム録画&PIR録画（DVRが対応している場合）により、毎日、毎時のようなスケジュールを設定することができます。録画モードを設定するには、まずモードのラジオボタン（通常、モーション、IO、PIR）をクリックし、次にスロットをマークするためにカーソルをドラッグします。録画スケジュールは、1つのチャンネルに対してのみ有効です。他のチャンネルで同じ録画スケジュールを



使用したい場合は、**コピー**機能を使用します。**適用** をクリックして、設定を保存します。

チャンネルです。チャンネルを選択して、その録画パラメーターを設定します。

通常です。タイムスロットが緑色に表示されている場合、そのチャンネルがそのタイムスロットで通常の録画を行うことを示します。

モーションタイムスロットが黄色で表示されている場合、そのタイムスロット中にモーションが検出された場合にのみ、チャンネルが記録されることを示します。

IO: タイムスロットが赤でマークされている場合、そのタイムスロット中にセンサーがトリガーされたときのみ、チャンネルが記録されることを示します。

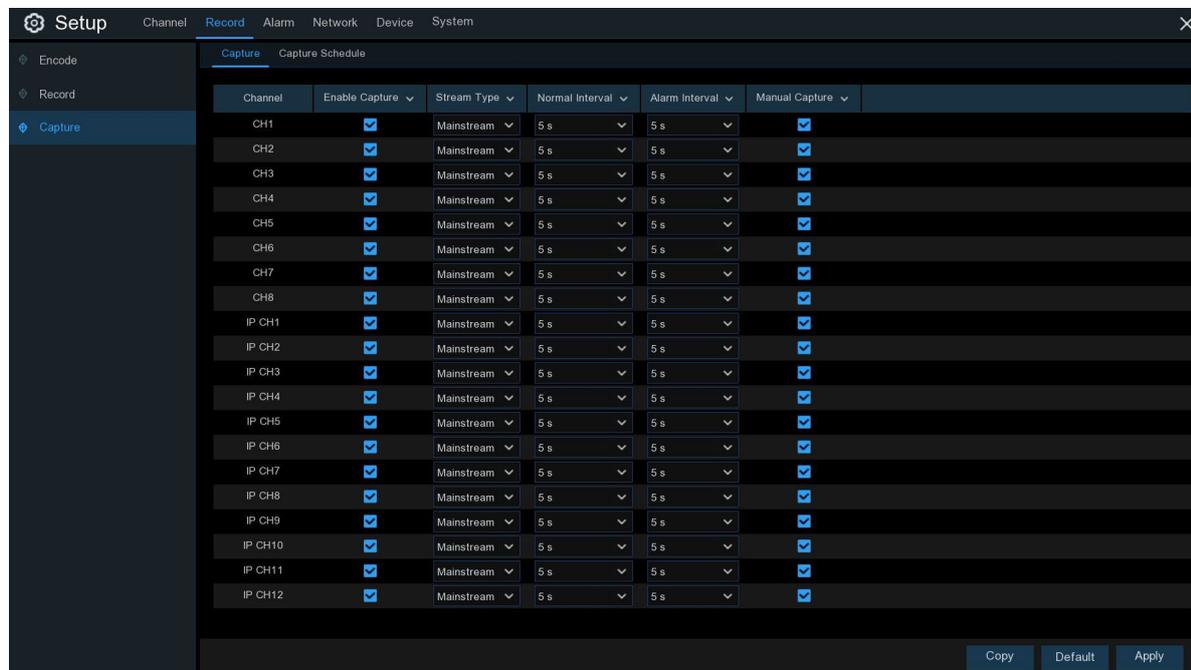
PIR: タイムスロットが紫色に表示されている場合、そのタイムスロット中にPIRがトリガーされたときのみチャンネルが記録されることを示します。

記録なし。黒く表示されている時間帯は、その時間帯に録画が予定されていないことを意味します。

5.2.3 キャプチャ

画像取り込み機能を設定するメニューです。

5.2.3.1 キャプチャ



キャプチャを有効にする。 チャンネルでの自動キャプチャを有効または無効にします。**ストリームタイプ。** メインストリームまたはサブストリームによる画像解像度を選択します。**Normal Interval (通常間隔)**。通常の録画で画像をキャプチャする時間間隔。

アラームインターバル。 モーション、IOアラームまたはPIRがトリガーされたときに画像をキャプチャするための時間間隔

マニュアルキャプチャ。 チャンネルの手動キャプチャを有効または無効にする

5.2.3.2 キャプチャー予定



チャンネルです。チャンネルを選択して、そのキャプチャパラメータを設定する。

通常です。タイムスロットが緑色に表示されている場合、そのチャンネルはその^{アル}タイムスロットで通常のキャプチャを行うことを示します。

モーションタイムスロットが黄色にマークされた場合、そのタイムスロット中にモーションが検出された場合にのみ、チャンネルが画像をキャプチャすることを意味します。

IO: タイムスロットが赤でマークされている場合、そのタイムスロット中にセンサーがトリガーされたときのみ、チャンネルが画像をキャプチャすることを示します。

PIR: タイムスロットが紫色の場合、そのタイムスロット中にPIRがトリガーされたときのみ、チャンネルが画像をキャプチャすることを示します。

キャプチャなし。 黒く表示されている時間帯は、その時間帯の画像をキャプチャしないことを意味しますが、チャンネルの手動キャプチャ機能を有効にすると、手動で画像をキャプチャすることができます。

5.3 アラーム

このセクションでは、アラームパラメータを設定することができます。

5.3.1 モーション

動作は[5.1.5モーション](#)と同じです。

5.3.2 入出力

これはオプション機能で、DVRがセンサーI/Oをサポートしている場合に表示され、DVRと連

Alarm In	Alarm Type	Buzzer	Alarm Out	Latch Time	Record	Post Recording	Show Message	Send Email	Full Screen
IO-1	Normally-Open	Disable	<input type="checkbox"/>	10 s	ON	30 s	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
IO-2	Normally-Open	Disable	<input type="checkbox"/>	10 s	ON	30 s	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
IO-3	Normally-Open	Disable	<input type="checkbox"/>	10 s	ON	30 s	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
IO-4	Normally-Open	Disable	<input type="checkbox"/>	10 s	ON	30 s	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
IO-5	Normally-Open	Disable	<input type="checkbox"/>	10 s	ON	30 s	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
IO-6	Normally-Open	Disable	<input type="checkbox"/>	10 s	ON	30 s	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
IO-7	Normally-Open	Disable	<input type="checkbox"/>	10 s	ON	30 s	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
IO-8	Normally-Open	Disable	<input type="checkbox"/>	10 s	ON	30 s	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

携するために外部センサーI/Oアラームデバイスを接続します。

アラームイン。 I/Oチャンネル

アラームタイプ。 あなたの選択のための3つのタイプがある。ノーマリーオープン、ノーマルクローズ、オフ。センサーの種類に合わせて選択するか、OFFを選択するとセンサートリガー機能が解除されます。**ブザーDVR**は、内蔵ブザーを使用してアラーム音を発することができます。センサーがトリガーされたときのブザーの継続時間を秒単位で設定できます。

アラーム出力。 センサーがトリガーされたときに、外部アラームデバイスがアラーム音を発することを有効にするためにチェックを入れます。**ラッチ時間:** 外部センサーがトリガーされたときにブザーを鳴らす時間を設定できます (10秒、20秒、40秒、60秒)。

録画する  アイコンをクリックし、モーションセンサーが作動したときに録画したいチャンネルを選択しま

す。
が検出されます。



ポストレコーディングを行います。アラーム終了時のアラーム記録時間を設定できます（30秒、1分、2分、5分）。

メッセージを表示する。センサーがトリガーされたときに、画面にアラームメッセージを表示します。

メール送信。センサーが作動したときに、指定したメールにメールを送信するように設定します。

フルスクリーンセンサーがトリガーされると、対応するチャンネルはフルスクリーンモードに切り替わります。

FTPアップロード。I/Oアラームが発生したときに、アラーム画像をFTPサーバーにアップロードします。FTPを有効にするには、[5.4.4 FTP](#) を参照してください。

5.3.3 PIR

動作は [5.1.6 PIR](#) と同じです。

5.3.4 PTZ連動

PTZカメラを接続している場合、PTZカメラとモーションアラームや外部I/Oセンサーのアラームを連動させることが可能です。連動機能を使用すると、モーションまたはI/Oアラームが発生したときに、PTZカメラのフォーカスを設定したポイントに向けることができます。

PTZ Linkage							
Channel	Switch	Motion	I/O	PTZ1	PTZ2	PTZ3	PTZ4
CH17	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	ON	ON	ON	ON
CH18	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	ON	ON	ON	ON
CH19	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	ON	ON	ON	ON
CH20	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	ON	ON	ON	ON
CH21	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	ON	ON	ON	ON
CH22	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	ON	ON	ON	ON

スイッチです。PTZ連動機能の有効／無効を設定します。

モーションモーション検出アラームは、PTZリンク機能がチェックされるとトリガーされます。

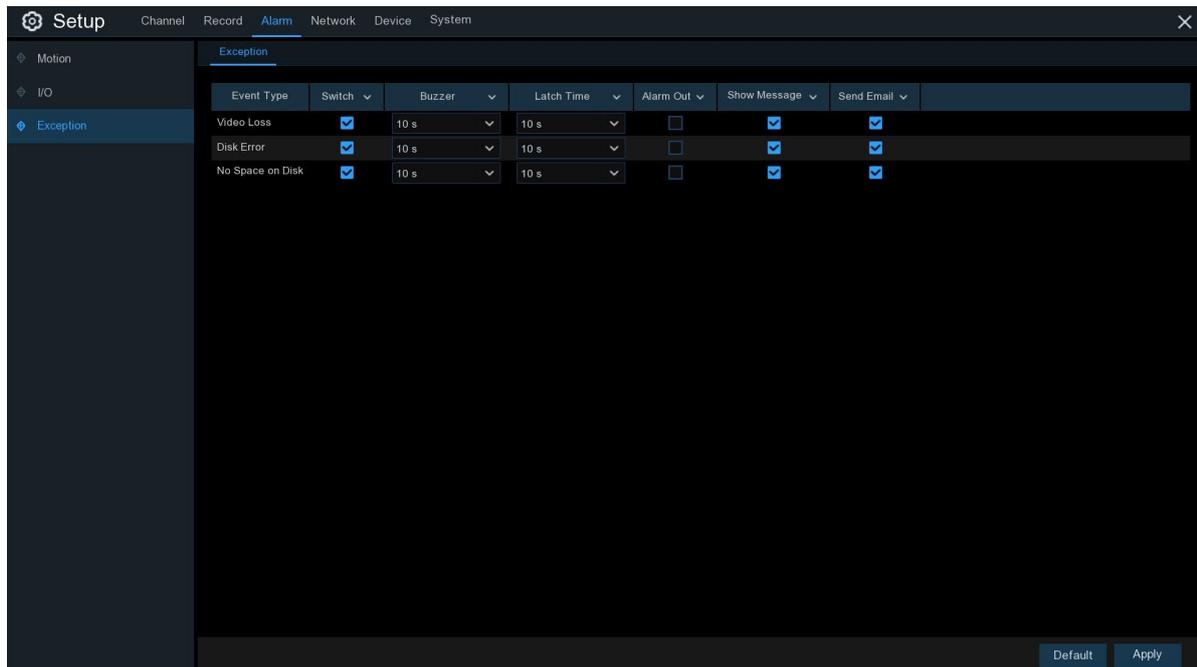
IO : IOアラームが発生すると、PTZ連動機能を確認します。

PTZ : アイコンをクリックして、PTZカメラとプリセットポイントに関連付けます。 [5.1.4.1](#)

[PTZ制御](#)でプリセットポイントを表示します。

5.3.5 例外

このメニューでは、DVR に通知させたいイベントの種類を設定します。



イベントの種類。 イベントの種類を下記からお選びください。

- ディスクに空き容量がない。HDDが一杯になったとき。
- ディスクエラーです。HDDが正しく検出されない場合。
- ビデオロス：カメラが正しく接続されていない場合。

スイッチ イベントの監視を有効にする場合は、チェックボックスをオンにします。

ブザーを鳴らします。 イベント発生時のブザーの鳴動時間を設定します（Off/10s/20s/40s/60s）。ブザーを鳴らさないようにするには、**OFF**を選択します。

ラッチタイム：これはオプション機能です。外部アラームデバイスを接続するためにDVRサポートがある場合、外部アラームデバイスが鳴るまでの時間(10秒、20秒、40秒、60秒)を決定します。

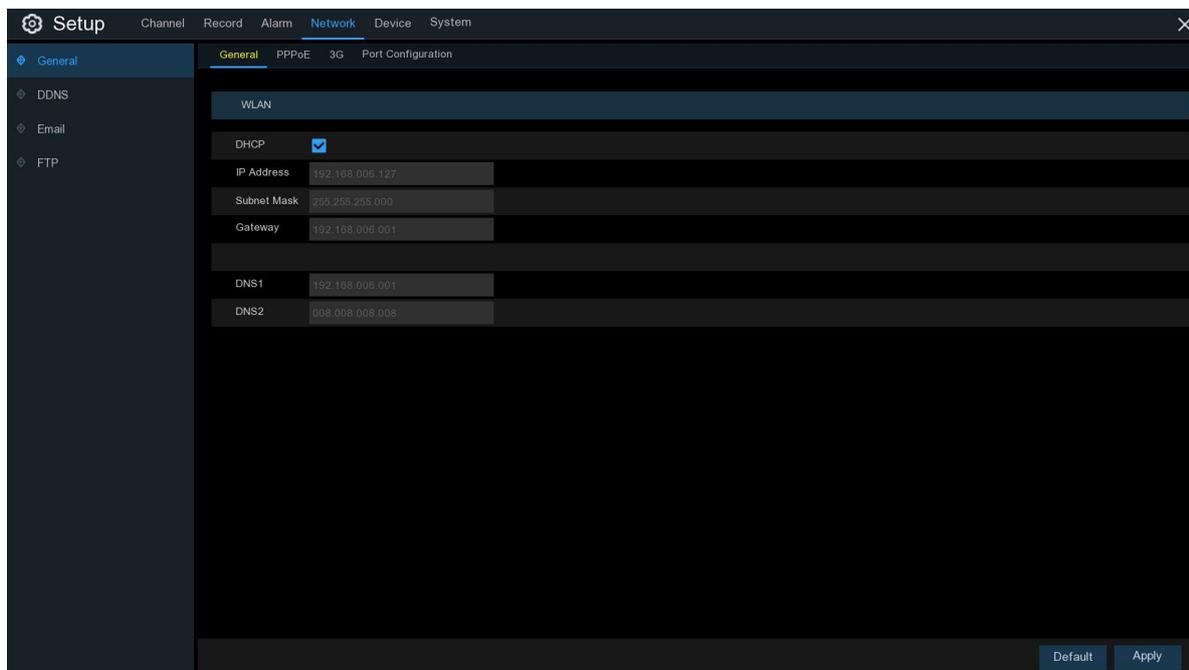
アラーム出力。これはオプション機能です。クリックすると、外部アラーム装置を鳴らすことができます。これはオプション機能です。

メッセージを表示する。 No Space on Disk、Disk Error、Video Lossのイベントが発生したときに、画面にメッセージを表示する場合は、チェックを入れてください。

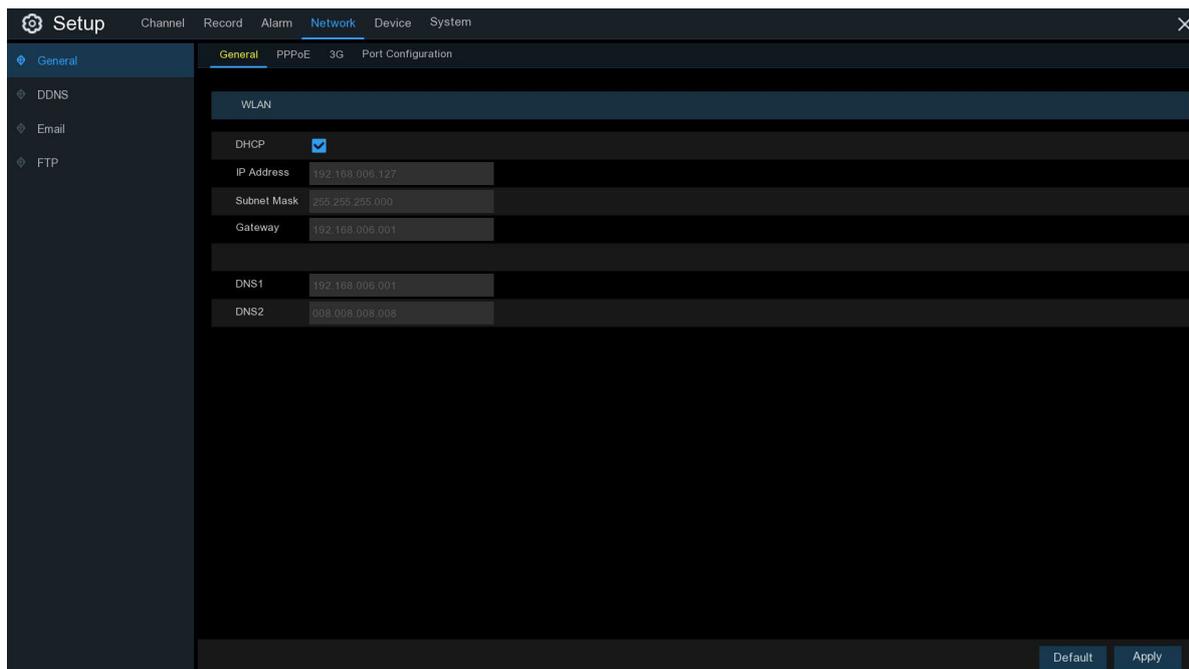
メール送信 イベント発生時にDVRから自動メールを送信するようにします。

5.4 ネットワーク

このメニューでは、PPPoE、DHCP、3Gなどのネットワークパラメータを設定することができます。最も一般的なタイプはDHCPです。ネットワークが手動でアドレス指定されていない限り、ほとんどの場合、ネットワークタイプはDHCPです。インターネットへの認証ユーザー名とパスワードが必要な場合は、PPPoEを選択します。モバイルネットワーク接続を使用する場合は、3Gを選択します。



5.4.1 一般



DHCPを使用できるルーターに接続する場合は、DHCPにチェックを入れてください。ルーターが

は、DVR のすべてのネットワーク・パラメータを自動的に取得します。ネットワークが手動で以下のパラメータに対応していない限り。

IPアドレス。 IPアドレスは、ネットワーク内のDVRを識別します。0から255までの4つの数字のグループとピリオドで区切られています。例えば、「192.168.001.100」です。

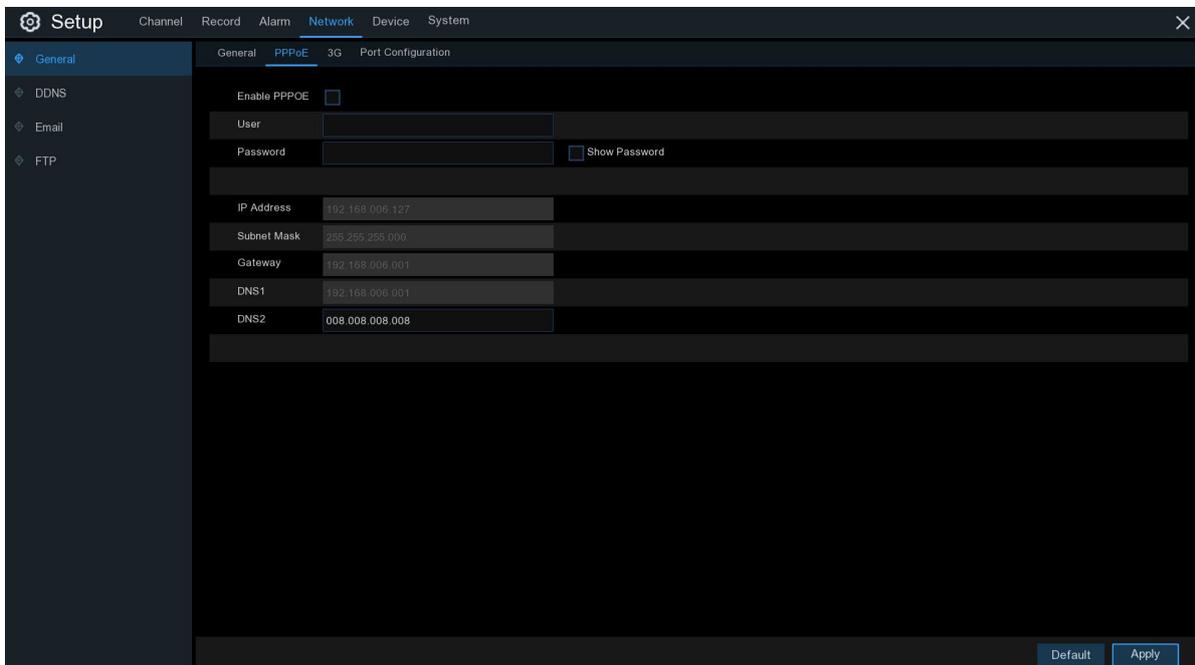
サブネットマスク： サブネットマスクとは、ネットワークで使用可能なIPアドレスの範囲を定義するネットワークパラメータです。IPアドレスが住んでいる通りのようなものなら、サブネットマスクは近所のようなものです。サブネットマスクは、ピリオドで区切られた4つの数字で構成されています。例えば、「255.255.000.000」のようになります。

ゲートウェイ。 このアドレスにより、DVRはインターネットにアクセスすることができます。ゲートウェイの形式は

のアドレスは、**IPアドレス**と同じです。例えば、「192.168.001.001」のように。

DNS1/DNS2： DNS1はプライマリDNSサーバ、DNS2はバックアップDNSサーバです。通常はDNS1サーバーのアドレスを入力するだけで十分です。

5.4.4.1 PPPoE



これは、DVRがDSLモデム経由でより直接的にネットワークに接続できるようにする高度なプロトコルです。

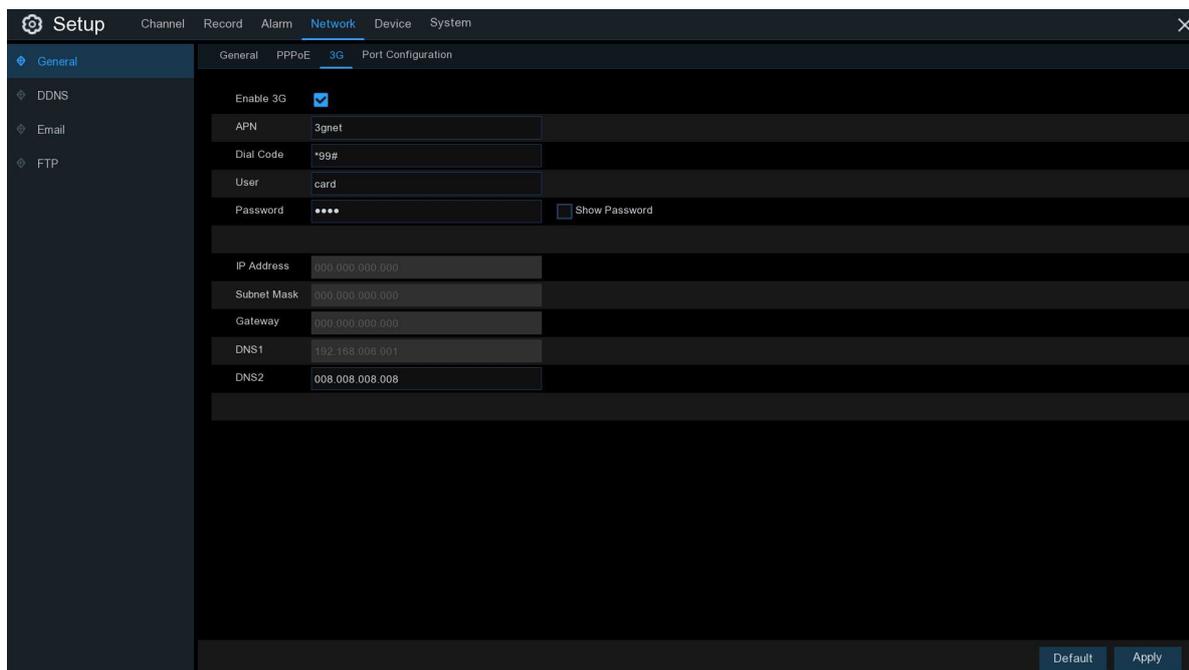
Enable PPPOE "にチェックを入れ、PPPoEのユーザー名とパスワードを入力します。

Apply をクリックして保存すると、システムが再起動し、PPPoE 設定が有効になります

。

5.4.1.2 3G

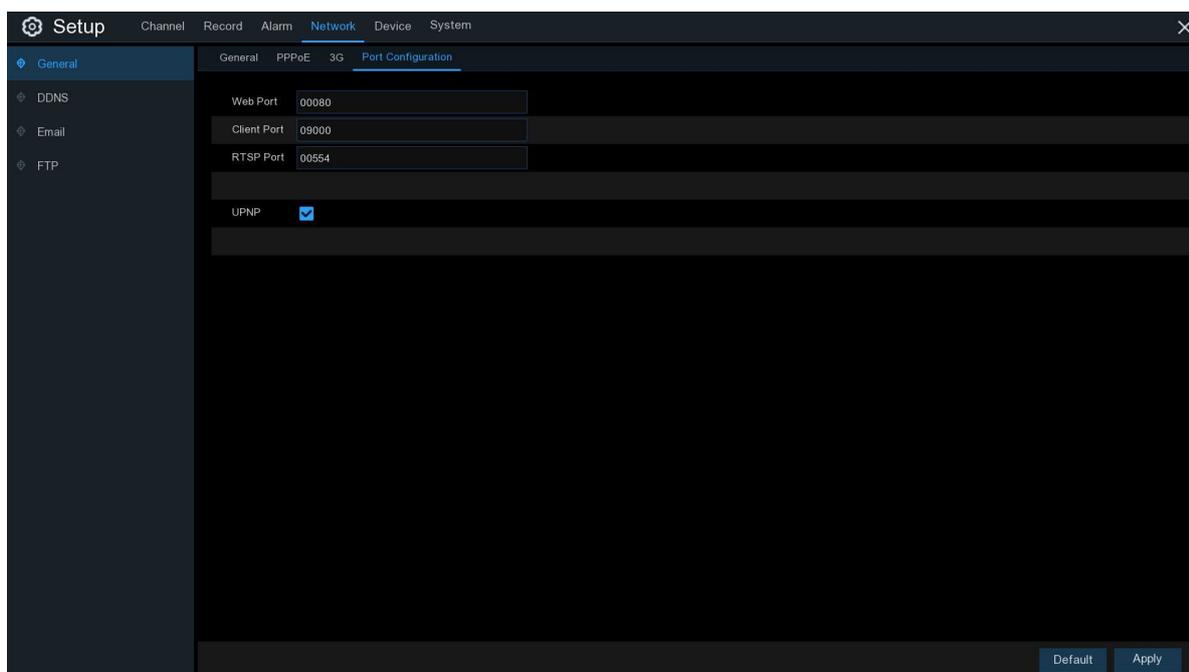
これは、モバイルネットワークを使用して、あなたはDVRに3G Dongleを接続する必要があります、先行です。



3Gオプションを有効にし、3G Dongleデバイスの説明に従って、APN、ダイヤルコード、ユーザー名とパスワードを入力します。

モバイルネットワークを使用する前に、DVRに3G Dongleを接続する必要があります。

5.4.1.3 ポートコンフィギュレーション



Webポート: DVRにリモートでログインする際に使用するポートです(Webクライアントを使用するなど)。デフォルトのポート80がすでに他のアプリケーションによって使用されている

場合は、変更してください。

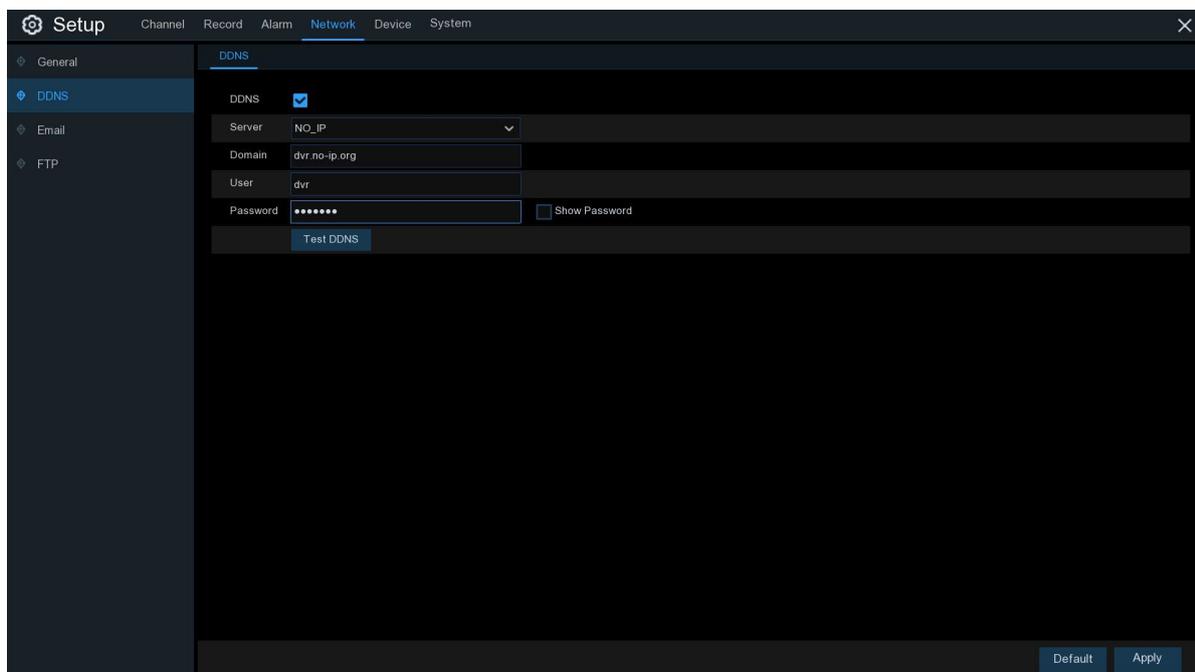
クライアント・ポート: DVRが情報を送信するために使用するポートです。デフォルトのポート9000がすでに他のアプリケーションによって使用されている場合は、変更してください。

RTSPポート。デフォルトは554です。デフォルトのポート554がすでに他のアプリケーションによって取られている場合、それを変更してください。

UPnP: Web Clientを使用してDVRにリモートでログインする場合、ポート転送を完了する必要があります。ルーターがUPnPをサポートしている場合、このオプションを有効にします。DVRとルーターの両方でUPnPを有効にする必要があります。この場合、ルーターでポート転送を手動で設定する必要はありません。ルーターがUPnPをサポートしていない場合、ポート転送が手動で完了することを確認します。

5.4.2 ディーディーエヌエス

このメニューでは、DDNSの設定を行うことができます。DDNSは、DVRへのリモート接続を簡素化するために、静的なアドレスを提供します。DDNSを使用するには、まずDDNSサービスプロバイダのWebページでアカウントを開設する必要があります。



DDNS DDNSを有効にする場合はチェックを入れます。

サーバー 優先するDDNSサーバー（DDNS_3322、DYNDNS、NO_IP、CHANGEIP、DNSEXIT）を選択します。

ドメイン DDNSサービスプロバイダのWebページで作成したドメイン名を入力します。これは、PC経由でDVRにリモート接続する際にURLボックスに入力するアドレスになります。フォックスの例：dvr.no-ip.org.

User/Password: DDNSサービスプロバイダのWebページでアカウントを作成したときに取得したユーザー名とパスワードを入力します。

すべてのパラメータを入力した後、「**DDNSのテスト**」をクリックしてDDNSの設定をテストします。テスト結果が「ネットワークに到達できないか、DNSが正しくありません」の場合、ネット

ワークが正常に動作しているか、DDNSの情報が正しいかどうかを確認してください。

5.4.3 電子メール

このメニューでは、電子メールの設定を行います。アラーム発生時、HDD満杯時、HDDエラー時、Video Loss発生時にシステムからの通知をメールで受け取りたい場合は、この設定を完了してください。

The screenshot shows the 'Setup' window with the 'Network' tab selected. Under 'Network', the 'Email Configuration' sub-tab is active. The 'Email' checkbox is checked. The configuration fields are as follows:

- Encryption: Auto
- SMTP Port: 00025
- SMTP Server: (empty)
- User Name: (empty)
- Password: (empty) with a 'Show Password' checkbox to its right.
- Sender: (empty)
- Receiver 1: (empty)
- Receiver 2: (empty)
- Receiver 3: (empty)
- Interval: 3 Min

A 'Test Email' button is located at the bottom of the configuration area. The 'Default' and 'Apply' buttons are at the bottom right of the window.

5.4.3.1 電子メール設定

This is a close-up view of the 'Email Configuration' form. The 'Email' checkbox is checked. The fields are:

- Encryption: Auto
- SMTP Port: 00025
- SMTP Server: (empty)
- User Name: (empty)
- Password: (empty) with a 'Show Password' checkbox to its right.
- Sender: (empty)
- Receiver 1: (empty)
- Receiver 2: (empty)
- Receiver 3: (empty)
- Interval: 3 Min

A 'Test Email' button is at the bottom left of the form area.

電子メールを送信します。 有効にする場合はチェックを入れてください。

暗号化する。 メールサーバーでSSLまたはTLSによる認証が必要な場合は有効にします。よくわからない場合は、「自動」に設定してください。

SMTPポート： メールサーバーのSMTPポートを入力します。

SMTPサーバーです。 メールのSMTPサーバーのアドレスを入力します。

ユーザー名です。メールアドレスを入力してください。

パスワード：メールのパスワードを入力してください。

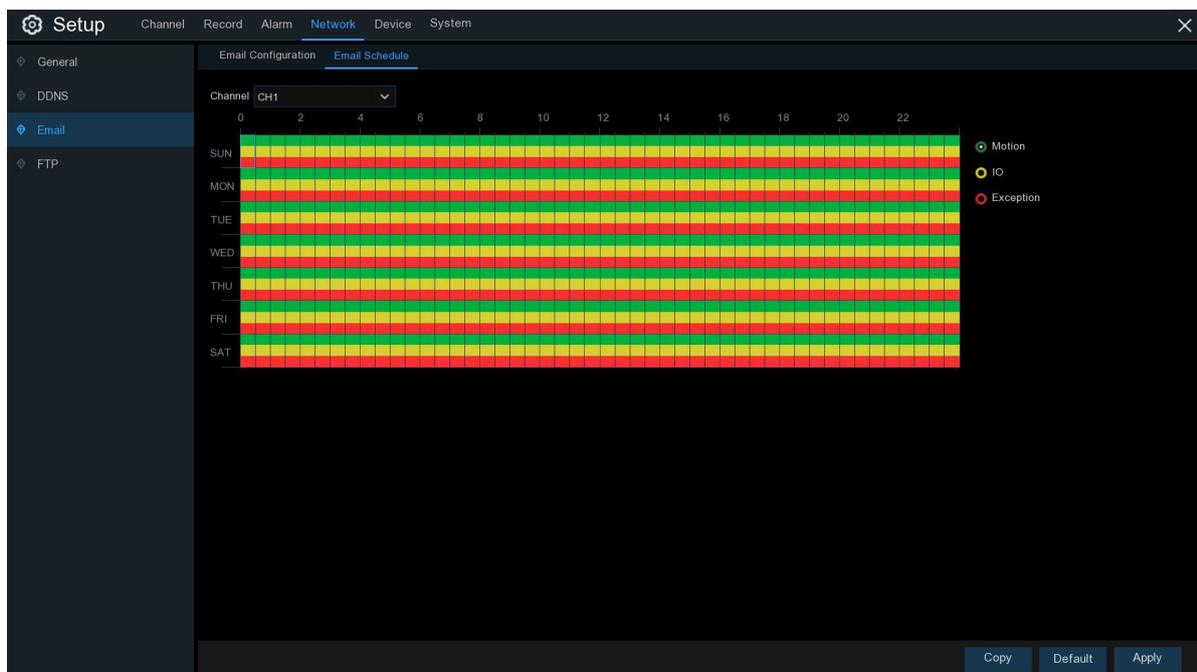
受信機 1~3: DVR からのイベント通知を受信する電子メールアドレスを入力します。

インターバル。DVR からの通知メール間の時間間隔の長さを設定します。

すべての設定が正しいことを確認するために、**[Test Email]** をクリックします。システムがあなたの受信トレイに自動メールメッセージを送信します。テストメールが届いたら、設定パラメータが正しいことを意味します。

5.4.3.2 メールスケジュール

メール通知を完全に実行するには、スケジュールを設定する必要があります。



メールスケジュール上のカラーコードの意味は次のとおりです。

緑色 動体検知用スロット。

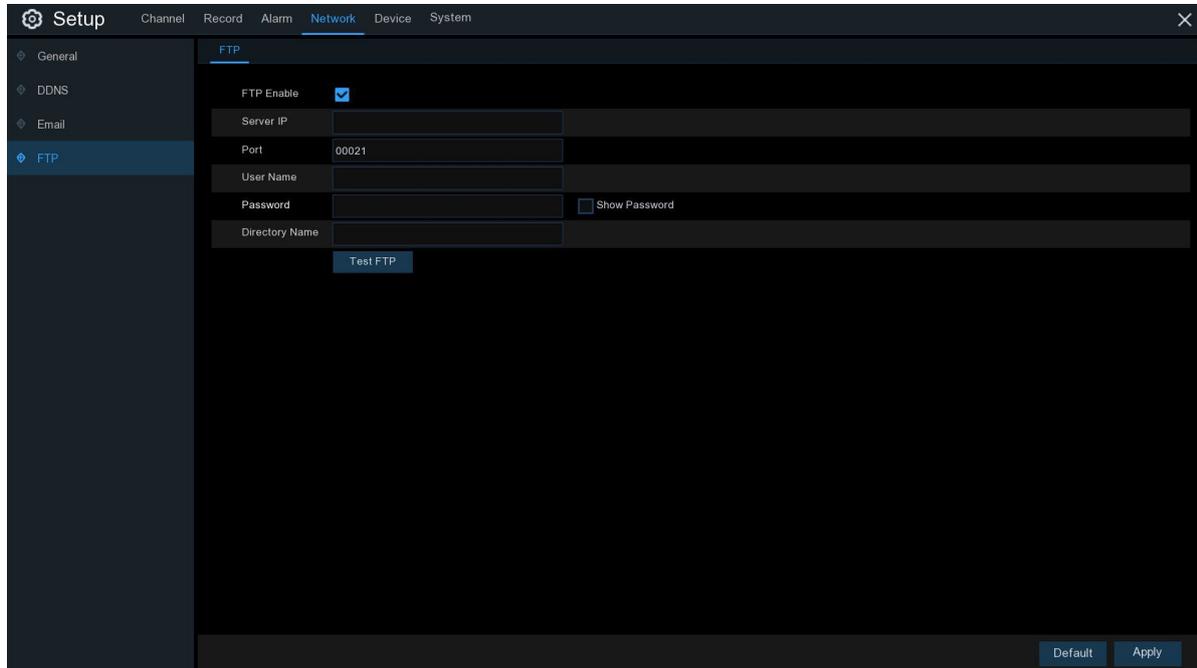
黄色です。I/Oアラーム用スロット（オプション）。

赤：例外用スロット（HDD満杯、HDDエラー、Video Loss）。

紫色。PIR（オプション）用スロット。

5.4.4 ファイル転送プロトコル

このメニューでは、FTP機能を有効にして、DVRからFTP経由でストレージデバイスにキャプチャしたスナップショットを表示およびロードすることができます。



FTP Enable. クリックすると、FTP 機能が有効になります。

サーバーIP : FTPサーバーのIPアドレスまたはドメイン名を入力します。

Port : ファイル交換のためのFTPポートを入力します。

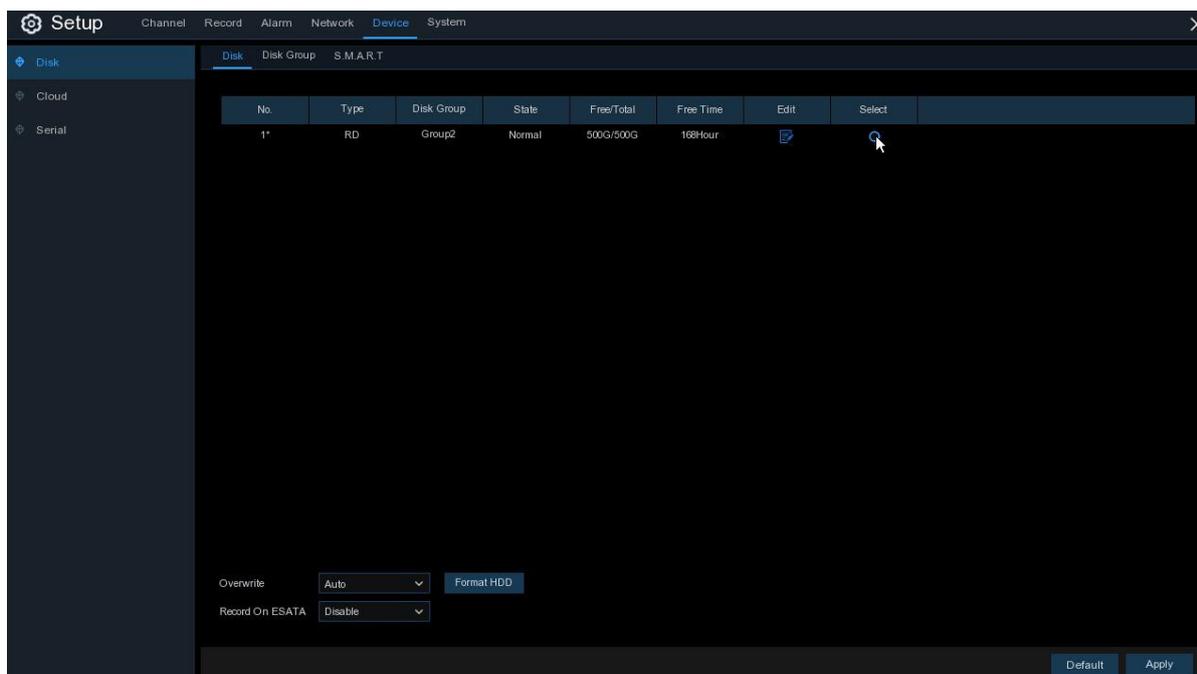
名前/パスワード : FTPサーバーのユーザー名とパスワードを入力します。**ディレクトリ名.** FTP ファイル交換のためのデフォルトのディレクトリ名を入力します。**Test FTP :** クリックすると、FTPの設定をテストします。

5.5 デバイス

ここでは、内蔵HDD&クラウドストレージ機能を設定することができます。

5.5.1 ディスク

内蔵HDDのチェックと設定を行うメニューです。初回起動時と新しいHDDに交換した場合のみ、HDDのフォーマットが必要です。

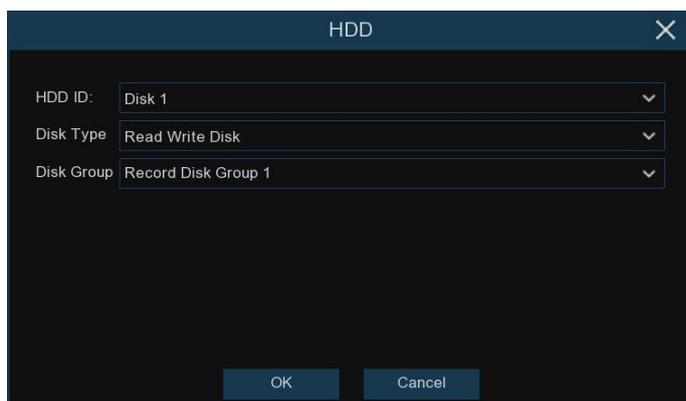


HDDのフォーマット：フォーマットしたいHDDを選択し、「**HDDのフォーマット**」をクリックします。フォーマットを開始するには、ユーザー名とパスワードを入力し、**[OK]**をクリックしてフォーマットを続けることを確認する必要があります。

上書きする このオプションは、HDDが一杯になったときに、HDD上の古い録画に上書きするために使用します。例えば、7日というオプションを選択した場合、過去7日間の録画だけがHDDに保存されます。古い録画を上書きしないようにするには、**OFF**を選択します。この機能を無効にした場合は、定期的にHDDの状態を確認し、HDDが満杯になっていないことを確認してください。HDDが満杯になると録画が停止します。

ESATAで録画: このメニューは、DVRがリアパネルにe-SATAポートを搭載している場合にのみ表示されます。外付けのe-SATA HDDにビデオを録画し、HDDの容量を強化することができます。e-SATA録画機能を有効にすると、e-SATAバックアップ機能は無効になります。

DVRが複数のHDDのインストールをサポートしている場合、編集アイコンがシステムに表示され、それをクリックして以下のようにHDDを編集することができます。



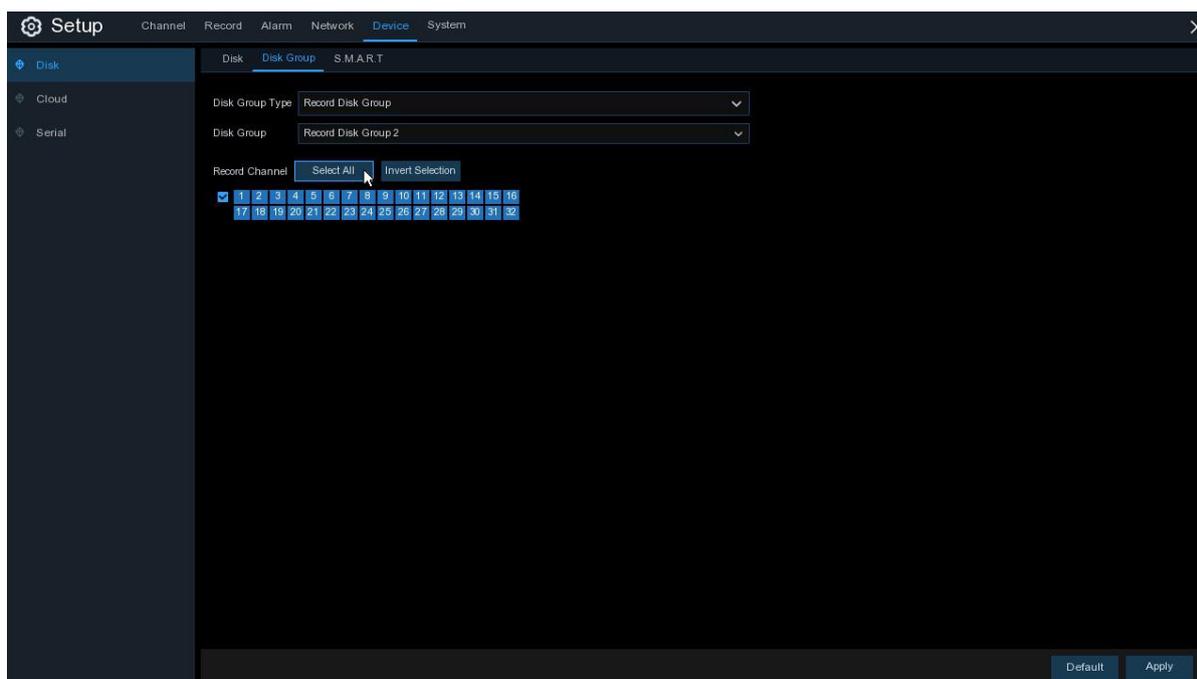
ディスクの種類 リードライト、リードオンリー、リダンダント。

Read-Writeモードは、HDDが録画を保存したり、検索録画を再生したりするための通常の状態です。サイクリック録画時に重要な映像データが上書きされるのを防ぐため、HDDを**リード・オンリー**・モードに設定することができます。この**Read-only**のHDDには、新規録画はできません。この読み出し専用HDDから録画したものを検索して再生することは可能です。

リダンダントHDDを使用することで、録画中の映像を自動的にバックアップすることができる(読み書き可能)なハードディスクです。リダンダントHDDを設定すると、ハードディスク故障時に録画用ハードディスクとリダンダントハードディスクの両方に並行してカメラを録画するように設定することが可能です。

5.5.1.1 ディスクグループ

DVRが複数のHDDのインストールをサポートしている場合、HDDを異なるグループに構成することができます。HDDグループを使用すると、複数のHDDにバランスよく録画することができます。例えば、チャンネル1~4を1台のハードディスクに録画し、5~8を2台目のハードディスク



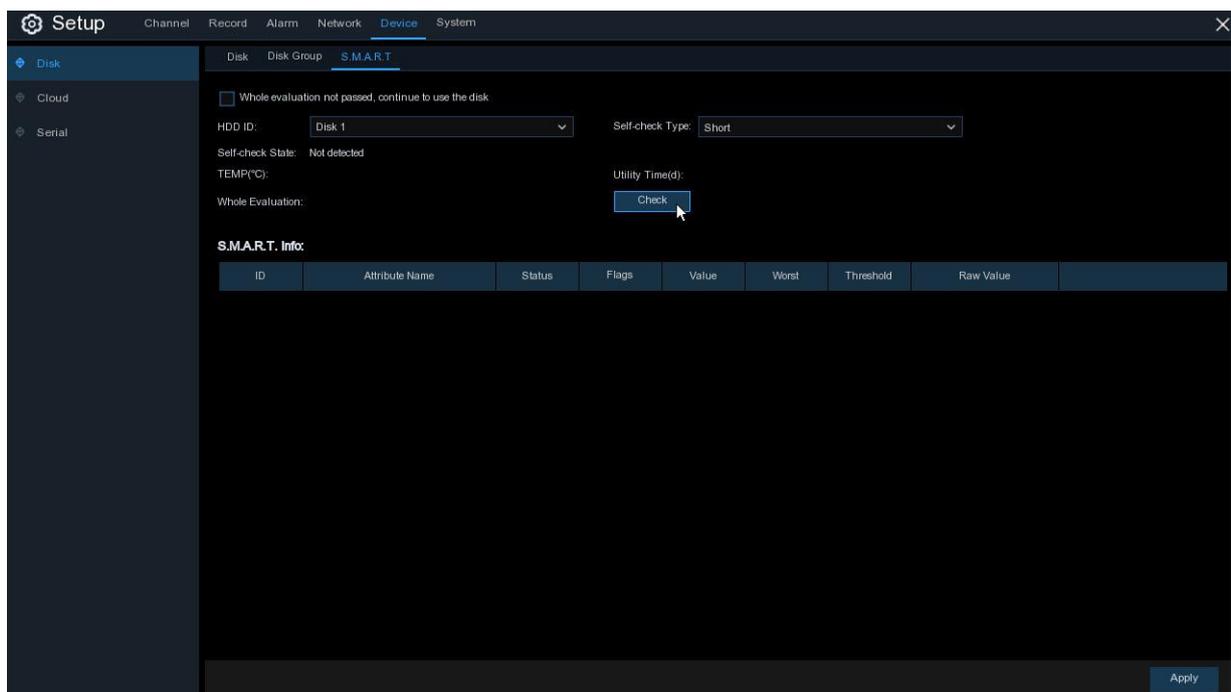
に録画することができます。これにより、ハードディスクの消耗を抑えることができ、ハードディスクの寿命を延ばすことができる可能性があります。

1. **ディスクグループタイプ**] の隣にあるドロップダウンを使用して、構成するグループの種類を選択します。
 - 。

2. **ディスクグループ]**の隣にあるドロップダウンを使用して、選択したグループタイプ内の特定のグループを選択します。
3. チャンネルを表す番号のボックスをクリックすると、選択したグループのHDDにチャンネルを記録することができます。
4. **適用]** をクリックして保存します。

5.5.1.2 S.M.A.R.T

この機能は、DVR内部に搭載されたハードディスクの技術情報を表示するために使用することができます。また、ドライブの潜在的なエラーを評価および検出するためのテスト（3種類あります）を実行することができます。



全体の評価が通らない場合は、ディスクの使用を継続する。 何らかの理由でハードディスクに障害が発生した場合（1つ以上の不良セクタなど）、DVRにドライブへの保存を継続するよう指示することができます。

セルフチェックのタイプ。 3種類のタイプがあります。

短時間： このテストは、読み取り/書き込みヘッド、電子機器、内部メモリなどのハードドライブの主要コンポーネントを検証します。

Long: このテストは、上記を検証し、表面スキャンを実行して問題のある領域を明らかにし、

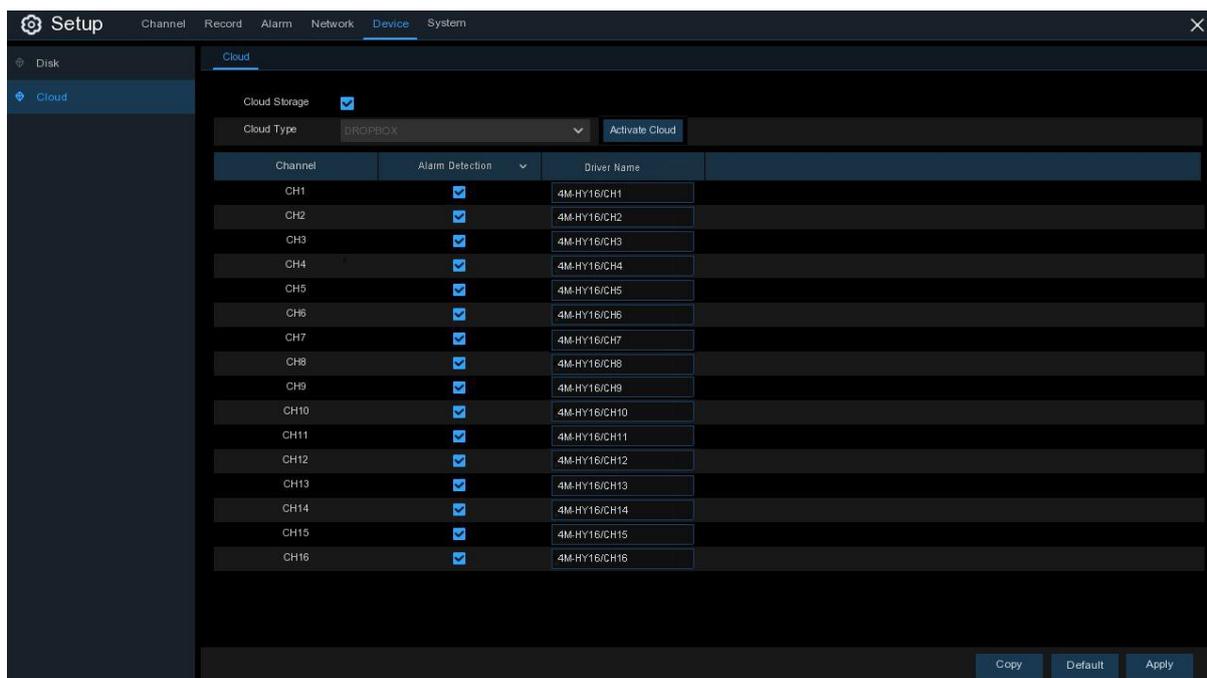
不良セクタを強制的に再配置する、より長いテストです。

伝わります。 ハードディスク・ドライブの機械部品が正常に動作しているかどうかを確認する、非常に簡単なテストです。

注： テストを実行する場合、DVRは通常通り動作します。HDD S.M.A.R.Tエラーが見つかった場合、HDDは継続して使用できますが、録画データが失われる危険性があります。新しいHDDに交換することをお勧めします。

5.5.2 クラウド

DVRには、スナップショットをDropbox経由でクラウドサービスにアップロードする機能があります。これは無料のサービスで、スナップショットを簡単に保存、共有でき、必要なときにいつでも手元に置いておくことができます。



クラウド機能を有効にする前に、DVRで使用しているメールアドレスとパスワードを使用してDropboxのアカウントを作成することをお勧めします。www.dropbox.com にアクセスし、名前、メールアドレス、パスワードを入力し、利用規約に同意の上、サインアップボタンをクリックしてください。

クラウドストレージ機能を有効にする場合はチェックします。

クラウドタイプ。 現在、Dropboxのみ対応しています。

アラーム検出。カメラがモーションを検出したとき、または I/O アラームによるアラームトリガーされたときに、スナップショットを **Dropbox** にアップロードする場合は、有効にします。

ドライブ名。 DVR のクラウドストレージ名を入力します。

クラウドを有効化する。 クリックすると、機能が有効になります。しばらくすると、メッセージが表示され

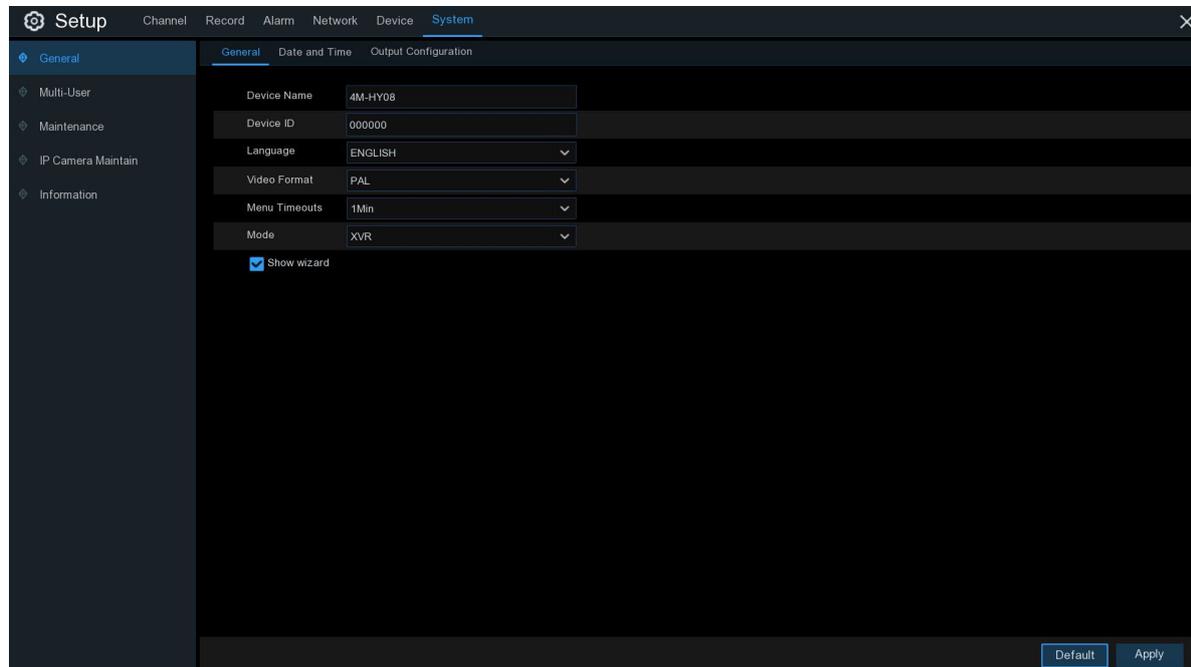
ます。画面上に表示します。電子メール ([5.4.3 電子メールでアラートを受信するように設定した電子メールアドレス](#)) にアクティベーションリンクが送信されます。メールを確認し、リンクをクリックしてアクティベーションを行ってください。Dropbox の Web サイトが表示されます。許可] をクリックして、アクティベーションを完了します。他のカメラのクラウドストレージを有効にする場合は、この手順を繰り返します。

5.6 システム

日付、時間、地域などの一般的なシステム情報の変更、パスワードや権限の編集など

。

5.6.1 一般



デバイス名。 DVR の任意の名前を入力します。名前には文字と数字の両方を含めることができます。

デバイス ID: DVR に必要な ID を入力します。デバイス ID は DVR を識別するために使用され、数字のみで構成することができます。例えば、2 台の DVR を同じ場所に設置した場合、Device ID は一方の DVR が 000000、もう一方の DVR が 111111 となります。リモート・コントローラーで DVR

を操作する場合、両方のDVRがコントローラーからの信号を受信し、同時に動作することができます。ID 111111のDVRのみを操作したい場合は、リモコンのログイン画面でデバイスID 111111を入力し、操作を行うことができます。

言語 システムメニューの表示言語を選択します。複数の言語が使用できます。

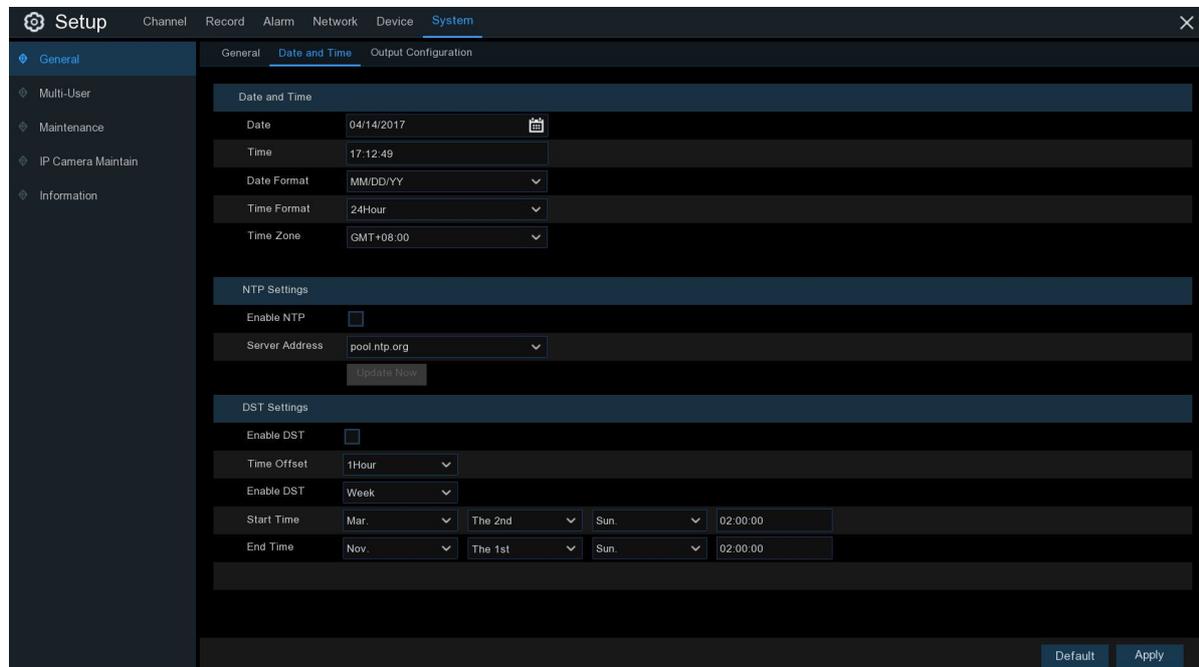
ビデオフォーマット。お住まいの地域の正しいビデオ規格を選択してください。

メニューのタイムアウト。ドロップダウン・メニューをクリックして、アイドル時にDVRがメイン・メニューを終了する時間を選択します。「OFF」を選択して無効にすることもできます(パスワード保護は一時的に無効になります)。

モードです。XVRまたはDVR。XVR モデルでは、DVR に IP カメラを追加することができます。モードを XVR から DVR に変更すると、追加した IP カメラはすべて削除されます。

ウィザードを表示する。DVRの電源を入れたり、再起動するたびにスタートアップウィザードを表示したい場合は、チェックボックスをクリックします。

5.6.1.1 日付と時間



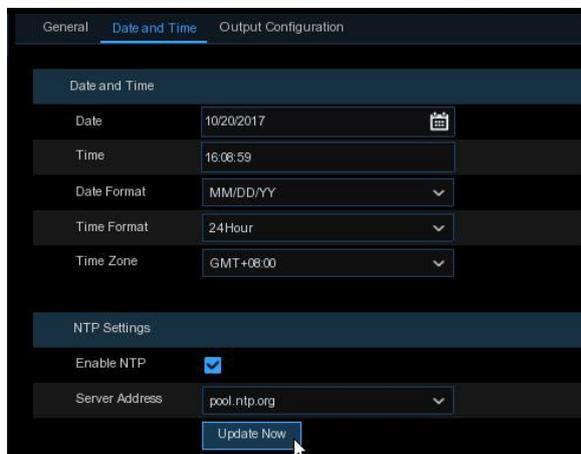
日付と時間

日付 カレンダーのアイコンをクリックすると、日付が変更されます。**時刻**：ダイアログボックスをクリックすると、時刻を変更することができます。**日付の形式**。お好みの日付形式を選択します。**時刻の形式**。希望する時刻の形式を選択します。

タイムゾーン：お住まいの地域や都市に関連するタイムゾーンを選択してください。

5.6.1.2 NTPの設定

NTP（Network Time Protocol）機能により、DVRの時計をタイムサーバーと自動的に同期させることができます。これにより、常に正確な時刻を設定することができます(DVRは定期的に自動同期します)。



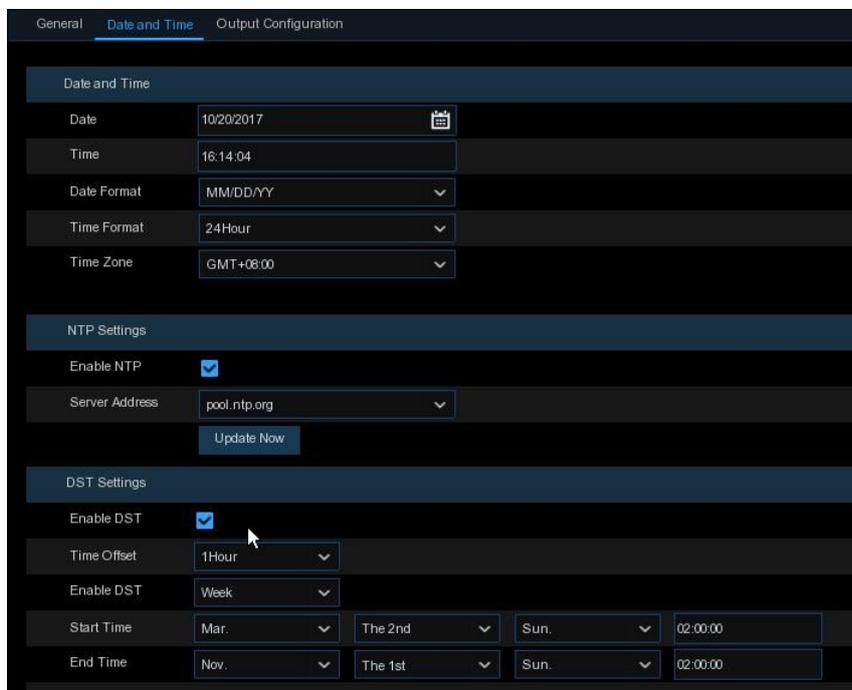
NTPを有効にする場合はチェックを入れ、サーバーアドレスを選択し、「今すぐ更新」をクリックして手動で日付と時刻を同期させます。

適用] をクリックして、設定を保存します。

NTP機能を有効にすると、1日1回、またはシステム起動時に00:07:50にシステム時刻が更新されます。

5.6.1.3 DSTの設定

DST（サマータイム）機能は、特定のタイムゾーンまたは地域でサマータイムが増加した時間



を選択することができます。

夏時間を有効にする：お使いのタイムゾーンまたは地域に夏時間が適用される場合は、このオプションをチェックして有効にします。

タイムオフセット。タイムゾーンでサマータイムが増加した時間数を選択します。これは、協定世界時（UTC）と現地時間との差を分単位で表したものです。

Enable DST : 夏時間の開始と終了の方法を選択できます。

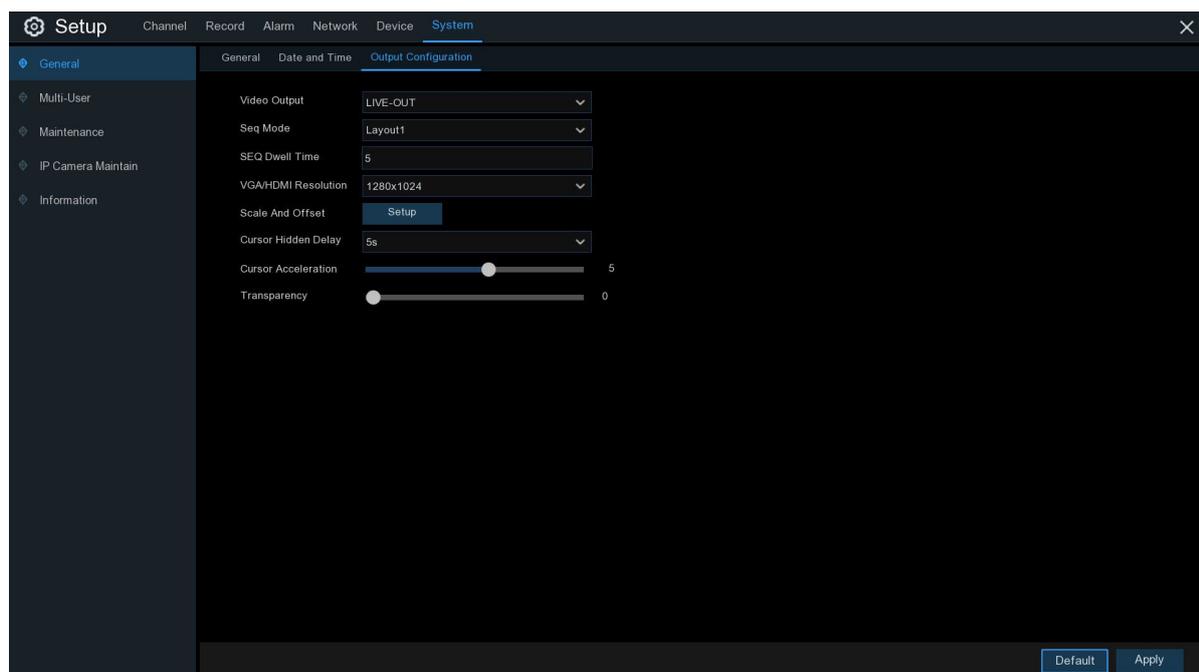
週間サマータイムが開始・終了する月、特定の曜日、時間を選択します。例えば、特定の月の第一日曜日の午前2時。

日付サマータイムの開始日（カレンダーのアイコンをクリック）、終了日、終了時刻を選択します。

開始時刻／終了時刻 : サマータイムの開始時刻と終了時刻を設定します。

5.6.2 出力構成

このメニューでは、ビデオ出力に関するパラメータを設定することができます。

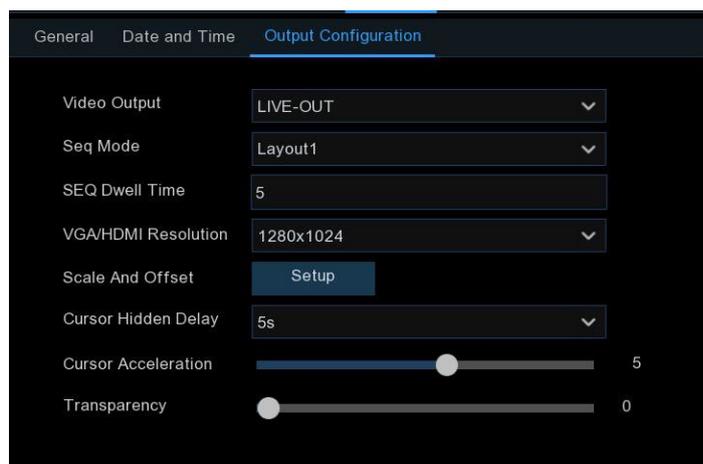


ビデオ出力です。出力オプションを選択する。

LIVE-OUT は、主な出力パラメータを設定するために使用します。

SPOT-OUT は、VGA スポット出力パラメータを設定するためのオプションです。

5.6.2.1 ライブアウト



Video Outputのプルダウンメニューから**LIVE-OUT**を選択します。

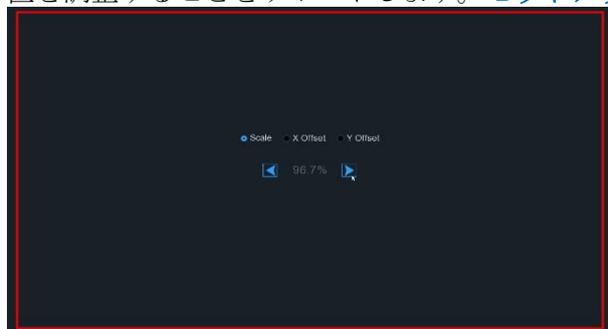
SEQモード。DVRがシーケンスモードの時に表示したいビデオチャンネル数を選択します

。

SEQ Dwell Time：シーケンスモードでビデオチャンネルを表示してから次のビデオチャンネルを表示するまでの最大時間を秒単位で入力します（最大300秒）。

出力解像度。お使いのテレビに適した表示解像度を選択してください。1920×1080はほとんどのテレビに適しています。DVRが4K出力解像度をサポートしている場合、2K (2560 x 1440) または4K (3840 x 2160) を選択して、4Kテレビが提供する高い解像度を利用することができます。

スケールとオフセット。DVRは、お使いのモニターやテレビに合わせて表示画面のサイズと位置を調整することをサポートします。**セットアップ**ボタンをクリックして、調整します。



スケール表示される画面の大きさをスケールで調整する。

X オフセット。表示されている画面を左右に移動させる。

Yオフセット。表示されている画面を上下に移動させる。

矢印の上で1回クリックするか、マウスの左ボタンを長押しして、大きさや位置を調整するか、マウスのホイールをスクロールして調整することができます。マウスの右ボタンをクリックして終了し、**[適用]** をクリックして変更内容を保存します。

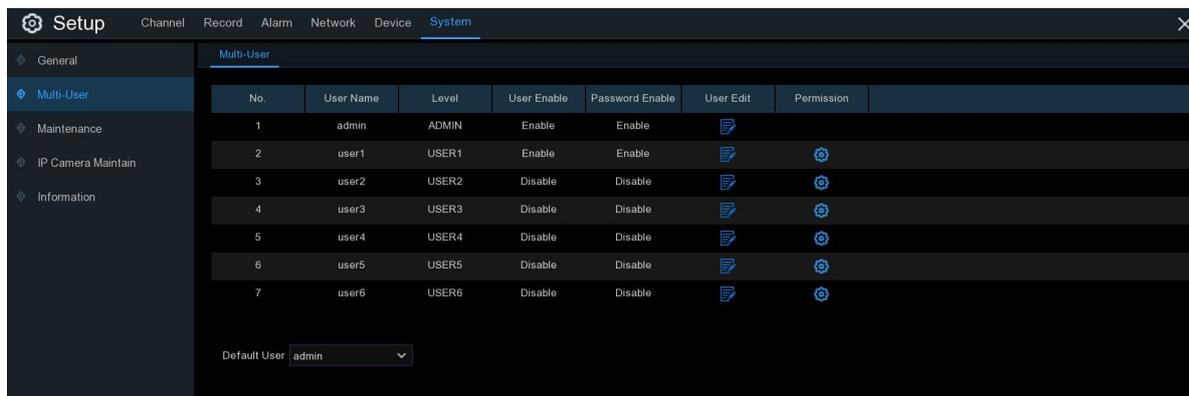
Cursor Hidden Delay (カーソル隠し時間)。ドロップダウン・メニューをクリックして、アイドル時にDVRがマウス・カーソルを隠す時間を選択します。**OFF**」を選択して無効にすることもできます(パスワード保護は一時的に無効になります)。

カーソルの加速度。マウスカーソルの移動速度を調整します。

透明度です。スライダーを左右にクリックすると、メニューバーとメインメニューの画面上での透明度を変更することができます。適宜調整してください。

5.6.3 マルチユーザー

このメニューでは、ユーザー名、パスワード、ユーザー権限を設定することができます。

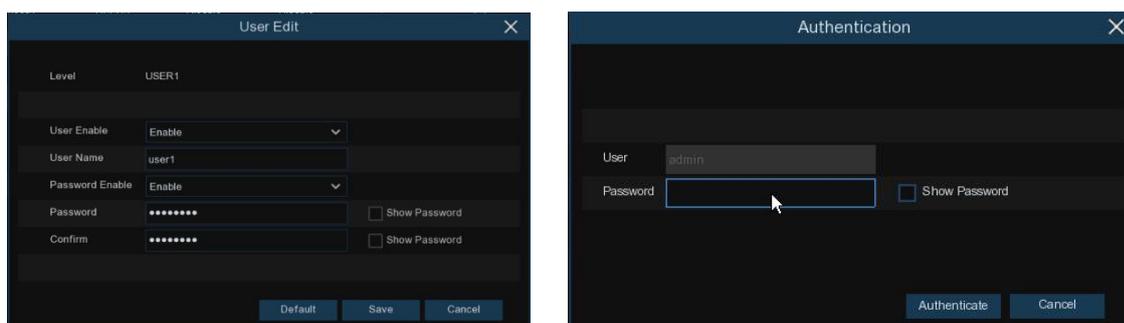


本システムでは、以下のアカウントタイプに対応しています。

- **ADMIN** - システム管理者。管理者はシステムを完全に制御し、管理者とユーザーの両方のパスワードを変更し、パスワード保護の有効化/無効化を行うことができます。
- **USER** - 通常ユーザー：ユーザーはライブビュー、検索、再生、およびその他の機能へのアクセス権のみを有します。システムへのアクセスレベルの異なる複数のユーザーアカウントを設定することができます。

5.6.3.1 パスワードの変更

管理者またはユーザーアカウントのパスワードを変更するには、「ユーザー編集」アイコンをクリックします。パスワードは8文字以上で、数字とアルファベットを混在させることができます。確認のため、新しいパスワードをもう一度入力し、「保存」をクリックして新しいパスワード



を保存します。認証のために、古いパスワードの入力が必要になります。

パスワードの有効化。 プライバシーを保護するために、パスワードを有効にすることを強くお勧めします。パスワード保護を無効にしたい場合は、DVRが安全な場所に置かれていることを確認してください。

5.6.3.2 新規ユーザーの追加

No.	User Name	Level	User Enable	Password Enable	User Edit	Permission
1	admin	ADMIN	Enable	Enable		
2	user1	USER1	Enable	Enable		
3	user2	USER2	Disable	Disable		
4	user3	USER3	Disable	Disable		
5	user4	USER4	Disable	Disable		
6	user5	USER5	Disable	Disable		
7	user6	USER6	Disable	Disable		

Default User: admin

1. 現在無効になっているユーザーアカウントを1つ選択し、「ユーザー編集」アイコンをクリックします

User Edit

Level: USER1

User Enable: Enable

User Name: user1

Password Enable: Enable

Password: ***** Show Password

Confirm: ***** Show Password

2. **User Enable**の隣のドロップダウンから**Enable**を選択します。
3. **ユーザー名**の横のフィールドをクリックして、アカウントのユーザー名を変更します。
4. **パスワードの有効化**の隣にあるドロップダウンから「**有効化**」を選択します。
5. **パスワード**の横のフィールドをクリックし、必要なパスワードを入力します。
6. **確認**の横のフィールドをクリックして、パスワードを再入力します。
7. **保存**をクリックします。認証のため、管理者パスワードの入力が必要です。

5.6.3.3 ユーザー権限の設定

管理者アカウントは、すべてのシステム機能を完全に制御することができる唯一のアカウントです。各ユーザーアカウントは、特定のメニューや機能へのアクセスを有効または無効にすることができます。

No.	User Name	Level	User Enable	Password Enable	User Edit	Permission
1	admin	ADMIN	Enable	Enable		
2	user1	USER1	Enable	Enable		
3	user2	USER2	Disable	Disable		
4	user3	USER3	Disable	Disable		
5	user4	USER4	Disable	Disable		
6	user5	USER5	Disable	Disable		
7	user6	USER6	Disable	Disable		

Default User: admin

1. 編集アイコンを を「権限」タブで選択します。

User Permission

User Name: user1

Log Search Parameter Maintain Manual Record

Disk Remote Login SEQ Control Manual Capture

Backup

Analog Channels: 1 2 3 4 5 6 7 8

IP Camera: 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

Live

Analog Channels: 1 2 3 4 5 6 7 8

IP Camera: 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

Playback

Analog Channels: 1 2 3 4 5 6 7 8

IP Camera: 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

PTZ

Analog Channels: 1 2 3 4 5 6 7 8

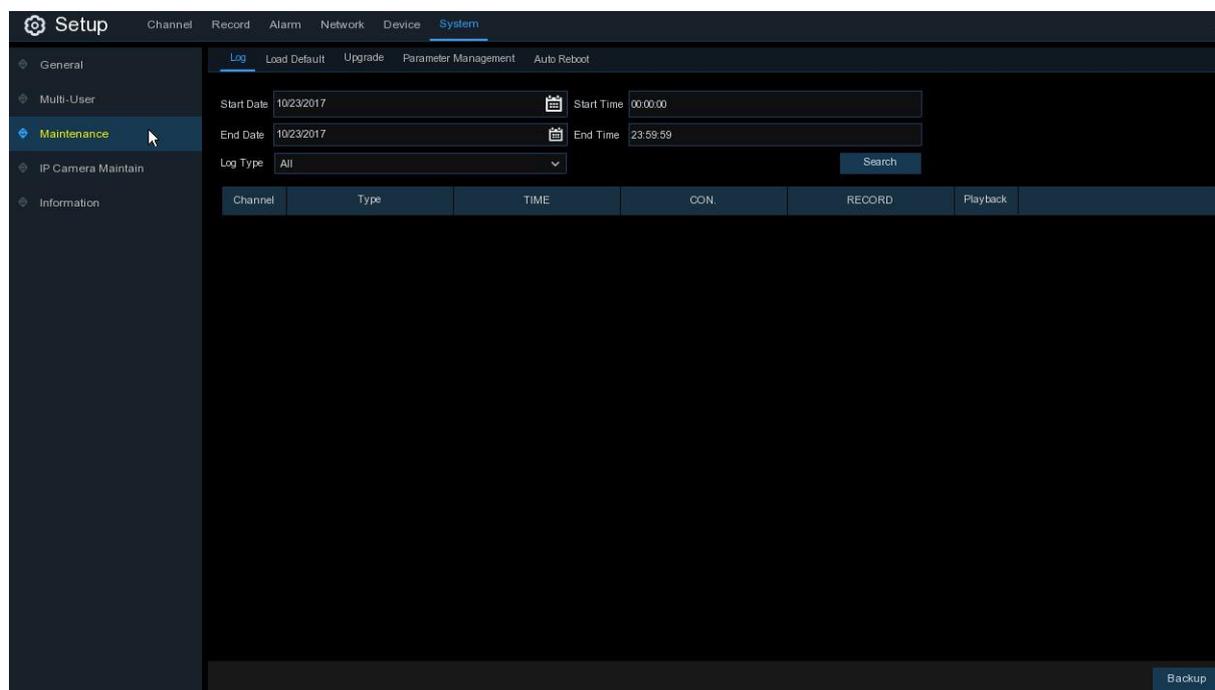
IP Camera: 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

All Clear Save Cancel

2. ユーザーにアクセスさせたいシステムメニューや機能の横にあるボックスにチェックを入れます。すべて] をクリックすると、すべてのボックスにチェックが入ります。どのボックスにもチェックを入れない場合は、[クリア] をクリックします。
3. 保存] をクリックすると、変更内容が保存されます。

5.6.4 メンテナンス

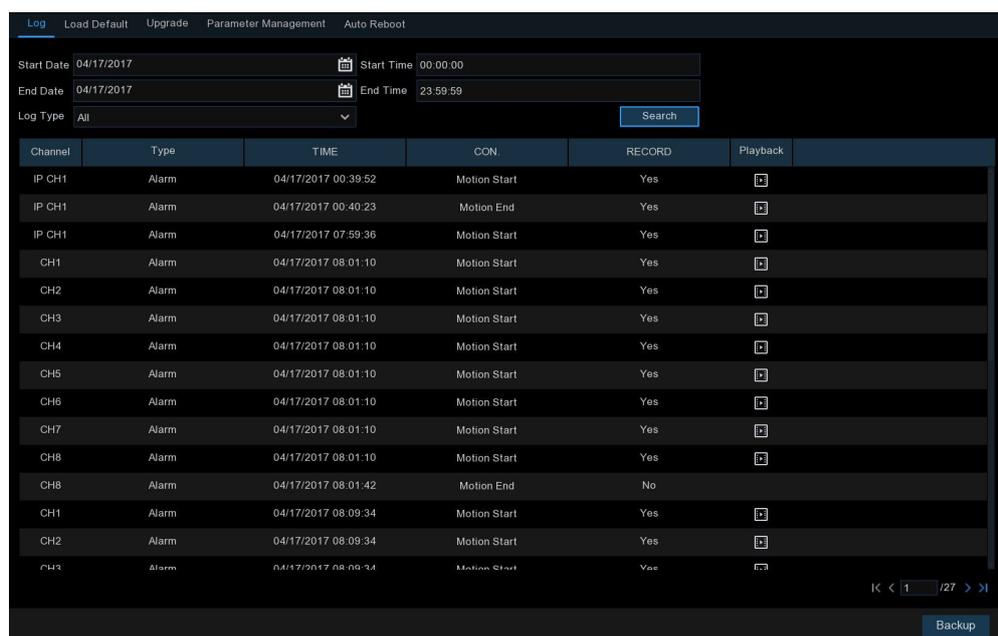
このセクションでは、システムログの検索と表示、デフォルト設定のロード、システムのアップ



グレード、システムパラメータのエクスポートとインポート、およびシステムの自動再起動を管理することができます。

5.6.4.1 ログ

システムログは、モーション・アラームやシステム警告など、重要なシステム・イベントを表示します。設定した期間のシステムログのバックアップファイルをUSBメモリーに簡単に



作成することができます。

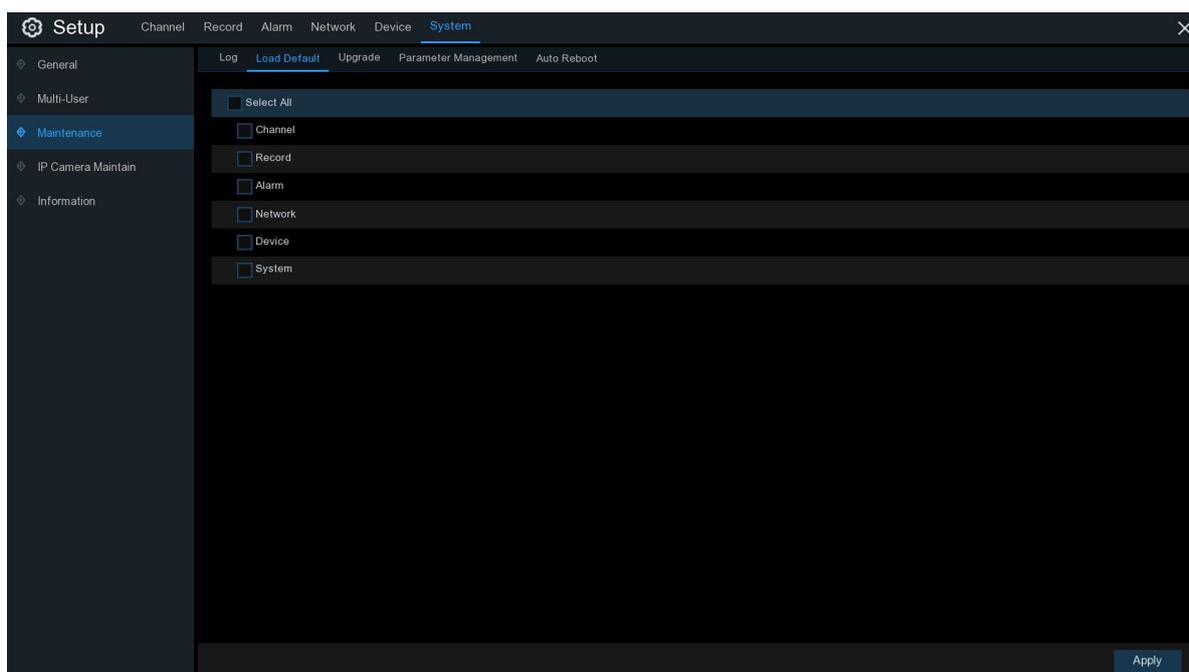
ログの検索とバックアップ。

1. **開始日**と**開始時刻**の横のフィールドをクリックして、画面上のカレンダーから検索の開始日と開始時刻を選択します。
2. **End Date & End Time**の横のフィールドをクリックし、画面上のカレンダーから検索の終了日と時間を選択します。
3. **ログタイプ**」の隣にあるドロップダウンから検索したいイベントの種類を選択するか、「すべて」を選択すると、選択した期間のシステムログ全体が表示されます。
4. **検索**をクリックします。
5. 検索期間中のシステムログイベントを閲覧することができます。
 - **再生**欄をクリックすると、ビデオイベントを即座に再生することができます。右クリックで検索結果に戻ることができます。
 - **左** / **右** ボタンの右 / 左 ボタンでシステムログのイベントの ページを移動
6. **バックアップ** をクリックすると、検索期間中のシステムログのバックアップが作成されます。フラッシュ・ドライブが **DVR** の **USB** ポートに接続されていることを確認してください。
7. バックアップドライブのメニューが表示されます。バックアップファイルを保存するフォルダを指定し、**[OK]** をクリックすると開始されます。

5.6.4.2 ロードデフォルト

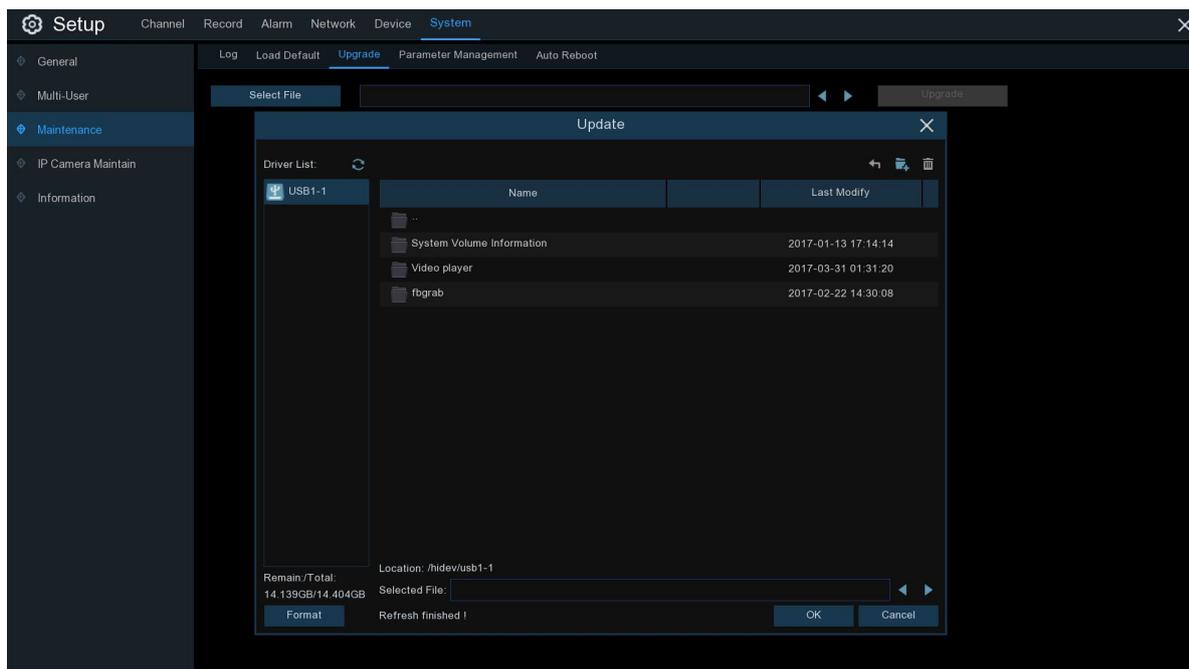
DVRの設定を出荷時の状態にリセットします。すべての設定を一度にリセットするか、特定のメニューの設定のみをリセットするかを選択できます。初期設定に戻しても、ハードディスクに保存された録画やスナップショットは削除されません。

ドライブ



復元したい項目にチェックを入れるか、「すべて選択」にチェックを入れるとすべての項目が選択されます。適用 をクリックすると、選択した項目のデフォルト設定が読み込まれます。

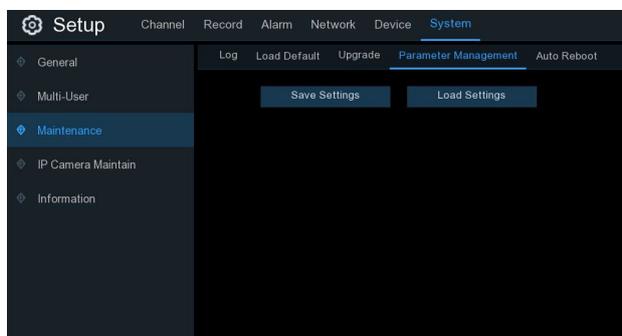
5.6.4.3 アップグレード



1. ファームウェアファイル（.swファイル）をUSBメモリーにコピーし、USBメモリーをDVRのUSBポートに挿入します。
2. ファイルの選択]ボタンをクリックして、USBフラッシュドライブ内のファームウェアファイルを選択し、[OK]をクリックします。
3. アップグレードボタンをクリックすると、システムのアップグレードが開始されます。システムのアップグレードは5-10分ほど続きますが、ファームウェアのアップグレード中にDVRの電源を切ったり、DVRからUSBを取り外したりしないでください。

5.6.4.4 パラメータ管理

設定したメインメニューの設定をUSBメモリーにエクスポートしたり、エクスポートした設定ファイルをUSBメモリーからDVRにインポートしたりすることができます。



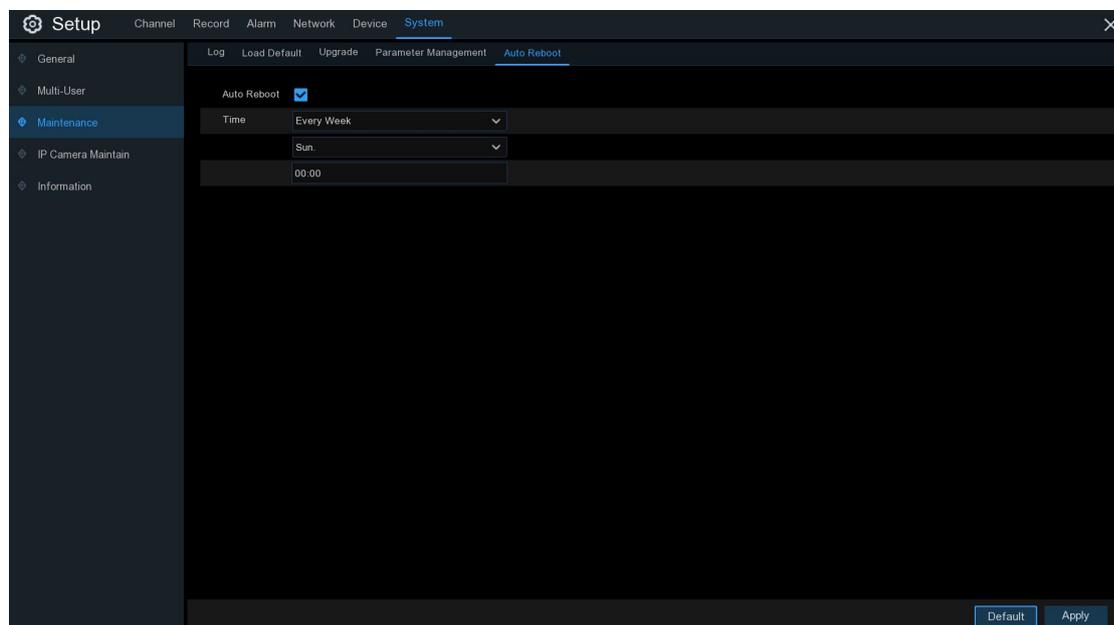
設定を保存します。 DVRの現在のシステム設定をUSBデバイスに保存するには、クリックします。認証のため、Adminパスワードの入力が必要です。

設定を読み込む。 システム設定のエクスポートを作成したら、他のDVRで設定をインポートすることができます。Load Settings ボタンをクリックして、USBフラッシュドライブからイ

ンポートするシステム設定ファイルに移動します。認証のため、Adminパスワードの入力が必要です。

5.6.4.4 自動リブート

このメニューでは、システムが DVR を定期的に自動再起動することができます。DVRの動作の整合性を維持するため、この機能を有効にしておくことをお勧めします。

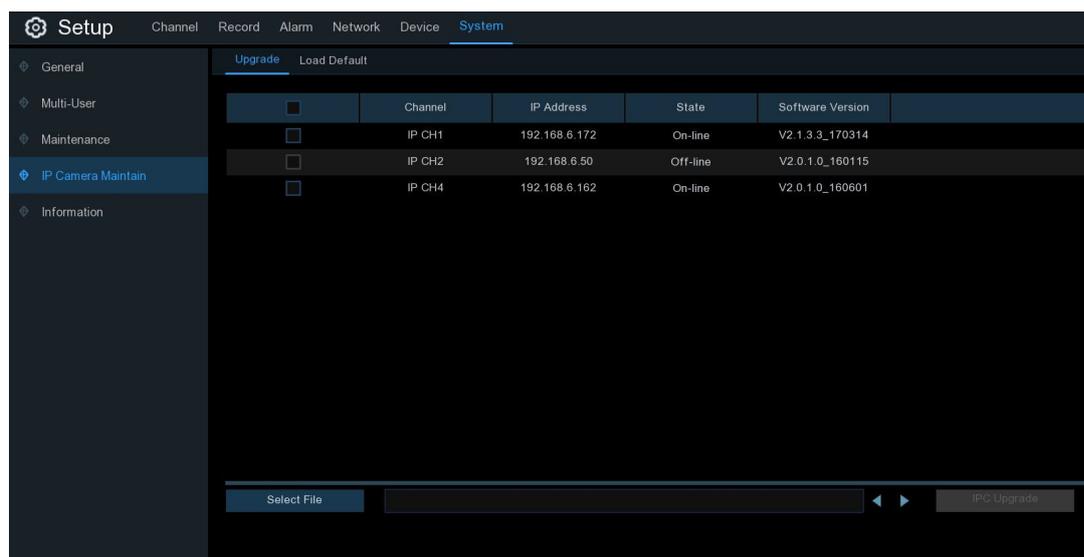


自動リブート有効にする場合はチェックを入れてください。

時間：日、週、月ごとにDVRを再起動するように設定できます。

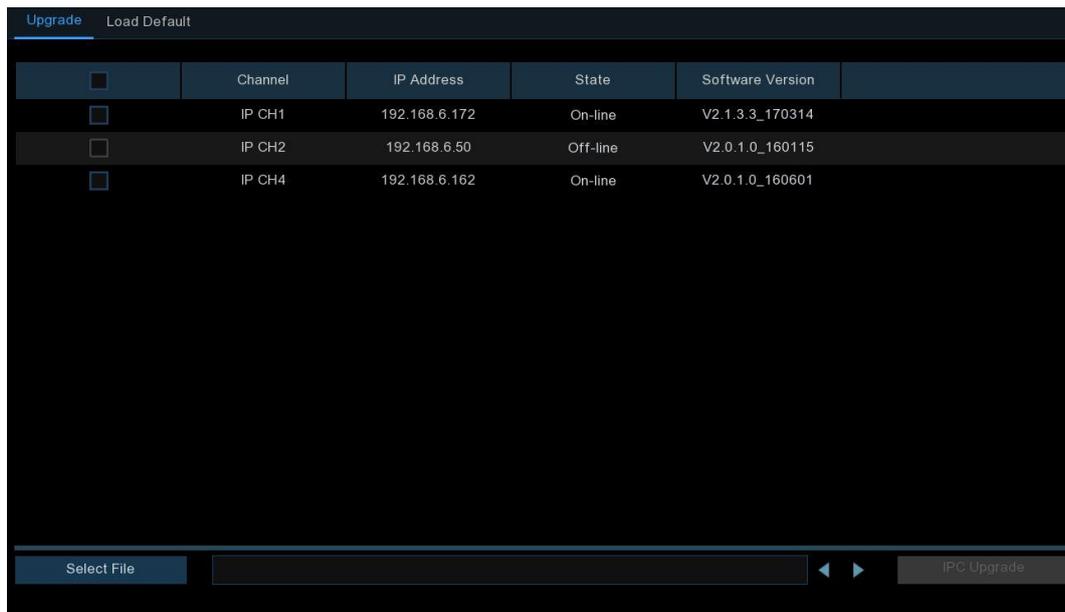
5.6.5 IPカメラ メインテナンス

このメニューでは、IP カメラのファームウェアのバージョンアップと、IP カメラの初期設定



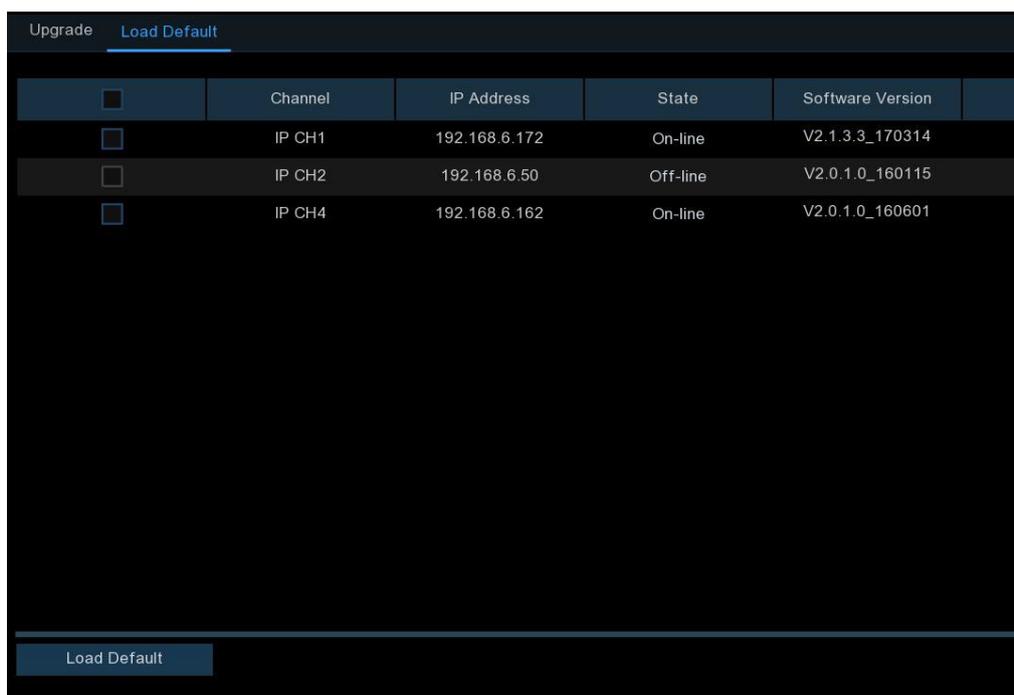
への復帰を行います。

5.6.5.1 IPカメラのアップグレード



1. ファームウェアをアップグレードする IP カメラを 1 台選択します。
2. **ファイルを選択** をクリックして、USBメモリーからアップデートファイルを選択し、**[OK]** をクリックします。
3. IPCアップグレードボタンをクリックするとアップグレードが開始されます。認証のため、Adminパスワードの入力が必要です。アップグレード中は、DVRとIPカメラの電源を切ったり、USBを抜いたりしないでください。

5.6.5.2 IPカメラの初期設定値を読み込む



1. 復元したいIPカメラを選択します。
2. **Load Default** をクリックすると、設定が復元されます。認証のため、Adminパスワード

の入力が必要です。

5.6.6 システム情報

システム情報、チャンネル情報、録画情報、ネットワークの状態を表示するメニューです。

5.6.6.1 インフォメーション

デバイスID、デバイスモデル名、IPアドレス、MACアドレス、ファームウェアのバージョンな

The screenshot shows the 'System' setup page with a sidebar menu on the left containing 'General', 'Multi-User', 'Maintenance', 'IP Camera Maintain', and 'Information'. The 'Information' tab is selected, displaying the following details:

Item	Value
Device ID	000000
Device Name	4M-HY08
Device Type	HY-DVR
Hardware Version	DM-317
Software Version	V8.1.14-20170315
IE Client Version	V1.0.0.56
Video Format	PAL
HDD Volume	1863G
IP Address	192.168.6.127
Web Port	80
Client Port	9000
MAC Address	00-11-22-79-B3-77
Network State	Connect success
P2P ID	RSV1908006338103

A QR code is displayed on the right side of the information page.

ど、システム情報を表示します。

お使いのDVRがP2P機能をサポートしている場合、情報ページにP2P IDとP2P QRコードが記載されています。モバイルアプリでこのQRコードをスキャンして、DVRをリモート表示することができます。

5.6.6.2 チャンネル情報

The screenshot shows the 'Channel Information' page with a table of camera channels. The table has the following columns: Channel, Alias, State, Mainstream, Substream, Motion Detection, and Privacy Zone.

Channel	Alias	State	Mainstream	Substream	Motion Detection	Privacy Zone
CH17	CH17	On-line	704x 480, 30Fps, 32Kbps	704x 480, 0Fps, 8Kbps	Support	Support
CH18	CH18	On-line	704x 480, 30Fps, 32Kbps	704x 480, 0Fps, 8Kbps	Support	Support
CH19	CH19	On-line	704x 480, 30Fps, 32Kbps	704x 480, 0Fps, 8Kbps	Support	Support
CH20	CH20	On-line	704x 480, 30Fps, 32Kbps	704x 480, 0Fps, 8Kbps	Support	Support
CH21	CH21	On-line	704x 480, 30Fps, 32Kbps	704x 480, 0Fps, 8Kbps	Support	Support
CH22	CH22	On-line	704x 480, 30Fps, 32Kbps	704x 480, 0Fps, 8Kbps	Support	Support

接続された各カメラのチャンネル情報（エイリアス、メインストリーム、サブストリーム録画仕様、動体検知ステータス、プライバシーゾーンなど）を表示します。

5.6.6.3 記録情報

Channel	Record State	Record Switch	Stream Type	Resolution	FPS	Bitrate
CH17	OFF	Enable				
CH18	OFF	Enable				
CH19	OFF	Enable				

ビットレート、ストリームタイプ、記録解像度、フレームレート（FPS）など、接続された各カメラの記録情報を表示します。

5.6.6.4 ネットワークの状態

Attribute	Value
WLAN	
IP Address	192.168.1.100
Subnet Mask	255.255.255.0
Gateway	192.168.1.1
MAC Address	88-72-29-86-A3-23
DHCP	Enable
Internal Interface	Connected
IP Address	10.10.25.100
Subnet Mask	255.255.0.0
DNS1	192.168.1.1
DNS2	8.8.8.8
PPPoE	Disable
Port	
Web Port	80
Client Port	9000
RTSP Port	554
UPNP	Disable
Total Band Width:	320Mbps
Used Band Width:	5.013Mbps

ネットワーク情報を表示します。

総帯域幅：DVR の IP カメラの総入力帯域幅が表示されます。

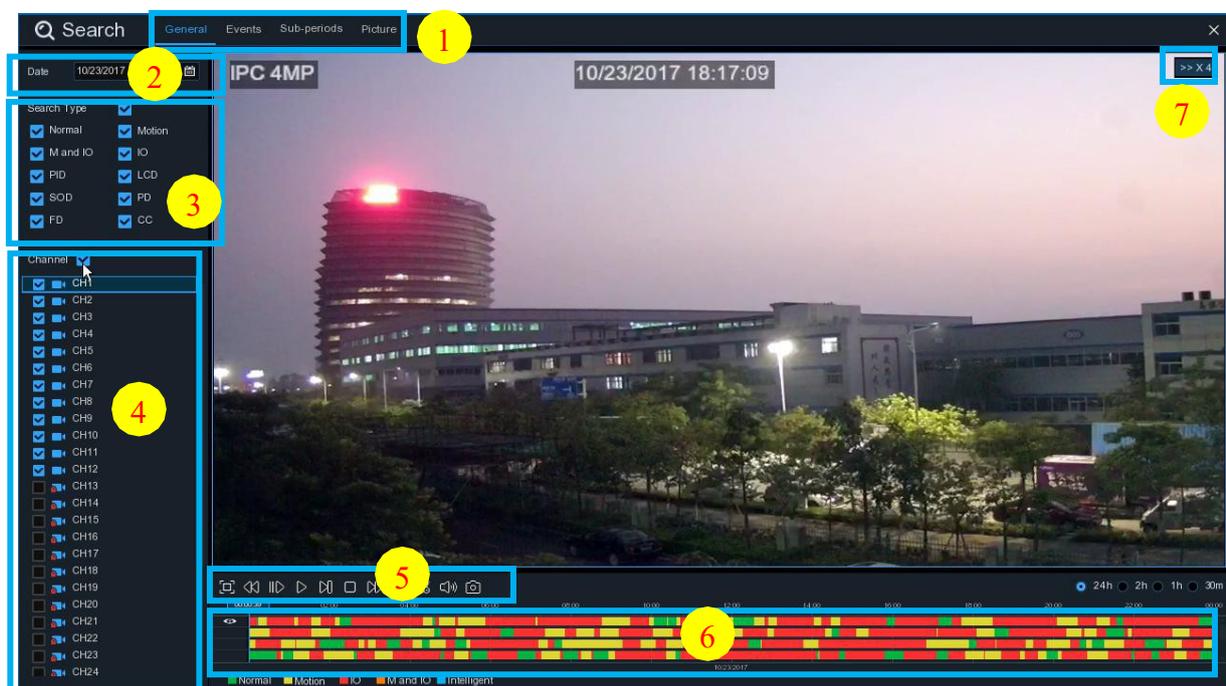
使用帯域幅：IP カメラの使用帯域幅を表示します。

第6章 検索・再生・バックアップ

サーチ機能では、過去に録画したビデオやDVRのハードディスクに保存されているスナップショットを検索し、再生することができます。録画スケジュールと一致するビデオ、手動録画、モーション・イベントのみを再生するかどうかを選択できます。バックアップ機能では、重要なイベント（ビデオとスナップショットの両方）をUSBフラッシュ・ドライブに保存することができます。

6.1 検索機能を使う

スタートメニューの「 検索」ボタンをクリックし、検索セクションに入ります。



- 1. 検索オプション**：システムは様々な検索&再生方法を提供します。一般、イベント、サブ期間、スマート&ピクチャー
- 2. 日付検索**：日付で検索して再生する。
- 3. 検索タイプ**：システムは、検索を絞り込むためのさまざまな検索タイプを提供します。
- 4. チャンネル選択**：検索&再生したいチャンネルを選択します。
- 5. ビデオ再生コントロール**：ビデオ再生のコントロールを行います。



 動画再生をフルスクリーンに拡大する 

巻き戻し、x2、x4、x8、x16

 プレイ

 ポーズ

 フレーム単位で再生します。1回クリックすると動画の1フレームが再生されます  停止

 早送り、x2、x4、x8、x16

 デジタルズーム：クリックするとズームインし、再生中にカメラ画像をクリック&ドラッグすると、選択した部分が拡大されます。右クリックで通常の再生に戻ります。

 ビデオクリップ。動画の一部をUSBメモリに素早く保存。[6.1.1.1ビデオクリップバックアップの詳細を見る](#)

 ビデオクリップを保存します。

 音量調節：スライダーバーをスクロールして音量を増減します。

 スナップショット：スナップショット画像をUSBメモリに取り込むことができます。ビデオ再生が分割画面表示の場合、キャプチャしたいチャンネルにマウスカーソルを移動し、アイコン  をクリックすると、スナップショットが保存されます。

6. **タイムライン**。連続録画は、録画の種類を表す色のついたバーで表示されます（ディスプレイの右下に凡例が表示されます）。タイムフレームオプションを使用する

() をクリックすると、より小さな時間帯や大きな時間帯を表示することができます。

異なる色で表示される録画の種類。



連続録画は**緑色**、モーション録画は

黄色で表示されます。

I/O記録は赤色で表示

モーション&I/O録画 (**オレンジ色**)、

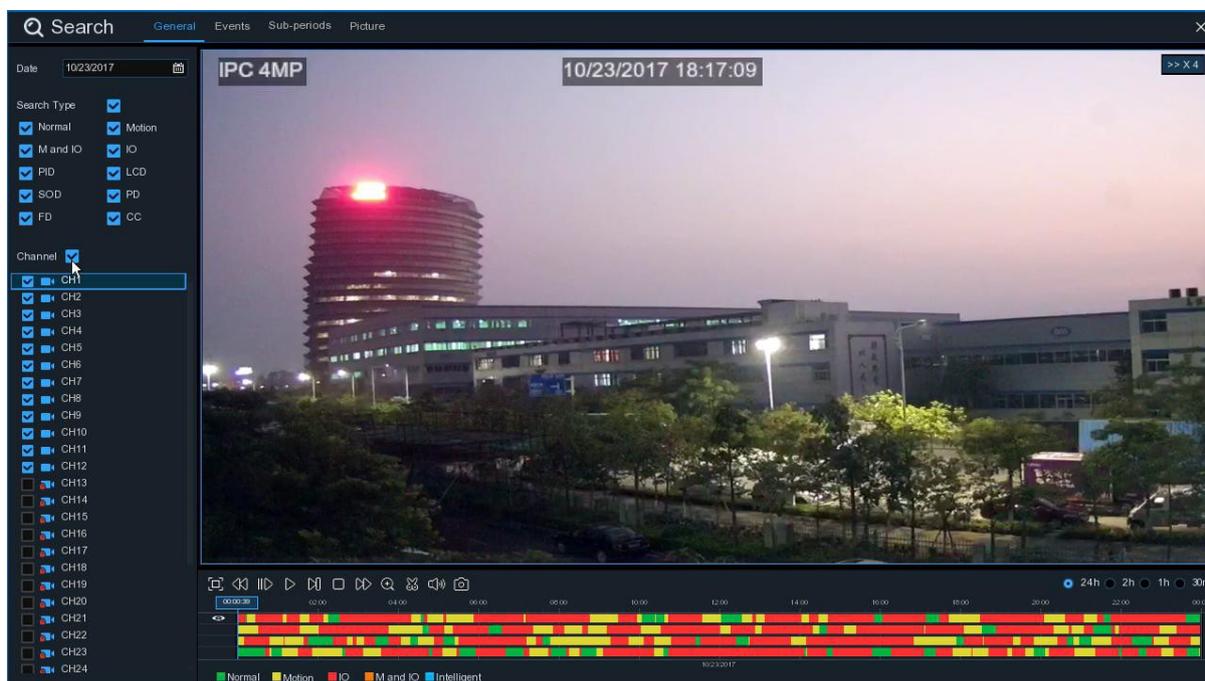
インテリジェント録画 (**ブルー色**)。

PIRレコーディング (パープルカラー)。

7. **再生状態**：ビデオの再生状態を表示します。

6.1.1 ビデオ全般の検索・再生

このメニューでは、選択した日付の録音を検索して再生することができます。



1. カレンダーから録画したビデオを検索する日付を選択します。
2. 検索の種類を選択します。
3. 検索したいチャンネルにチェックを入れるか、**チャンネル**にチェックを入れると接続されているすべてのチャンネルが検索されます。
4. 検索結果は、00:00から24:00までのタイムライン上に表示されます。
5. ▶ ボタンをクリックすると、再生が開始されます。
6. **ビデオ再生コントロール**のボタンで再生をコントロールする。
7. タイムフレームオプション(24h 2h 1h 30m)を使用して、より小さいまたはより大きい期間を表示します。
8. 再生中の映像の一部を素早くUSBメモリーに保存したい場合は

 **ビデオクリップ**のバックアップ機能。

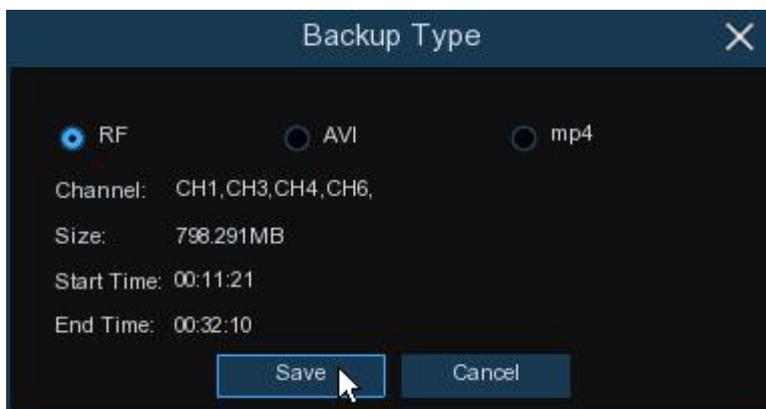
6.1.1.1 ビデオクリップバックアップ



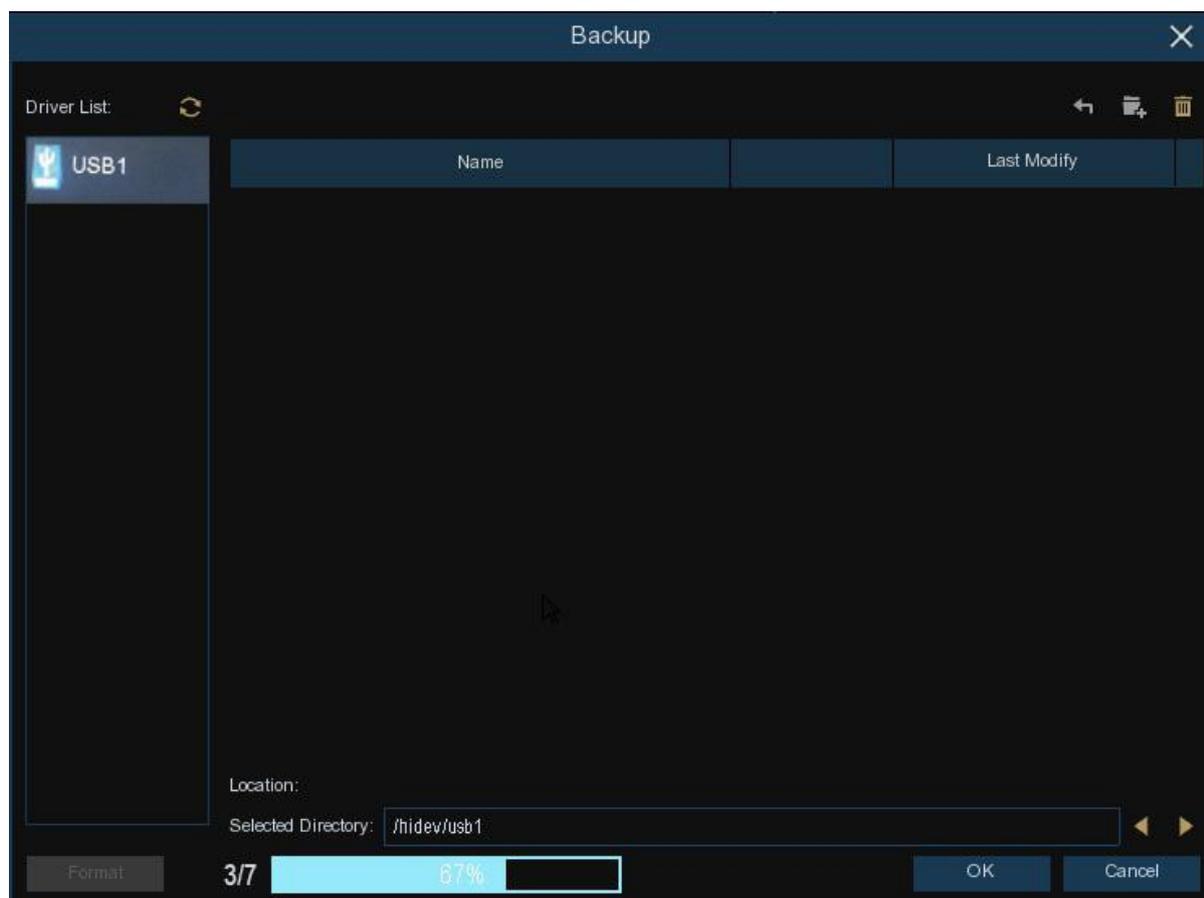
1. DVR に **USB** フラッシュドライブを挿入します。
2. 録画した動画の再生を開始する。
3.  アイコンをクリックします。

4. ビデオクリップのバックアップを取りたいチャンネルにチェックを入れます。
5. マウスカーソルをビデオクリップを開始したいタイムラインに移動させます。

6. マウスの左ボタンを押しながら、カーソルをタイムラインの動画クリップを終了させたい位置までドラッグします。
7. ✂のアイコンが📁のアイコンに変わりました。📁をクリックすると、ビデオクリップが保存されます。
8. バックアップファイルのファイル形式を選択し、「保存」ボタンをクリックして動画クリップを保存します。USBドライブに動画保存のための十分な空き容量があることを確認してください。

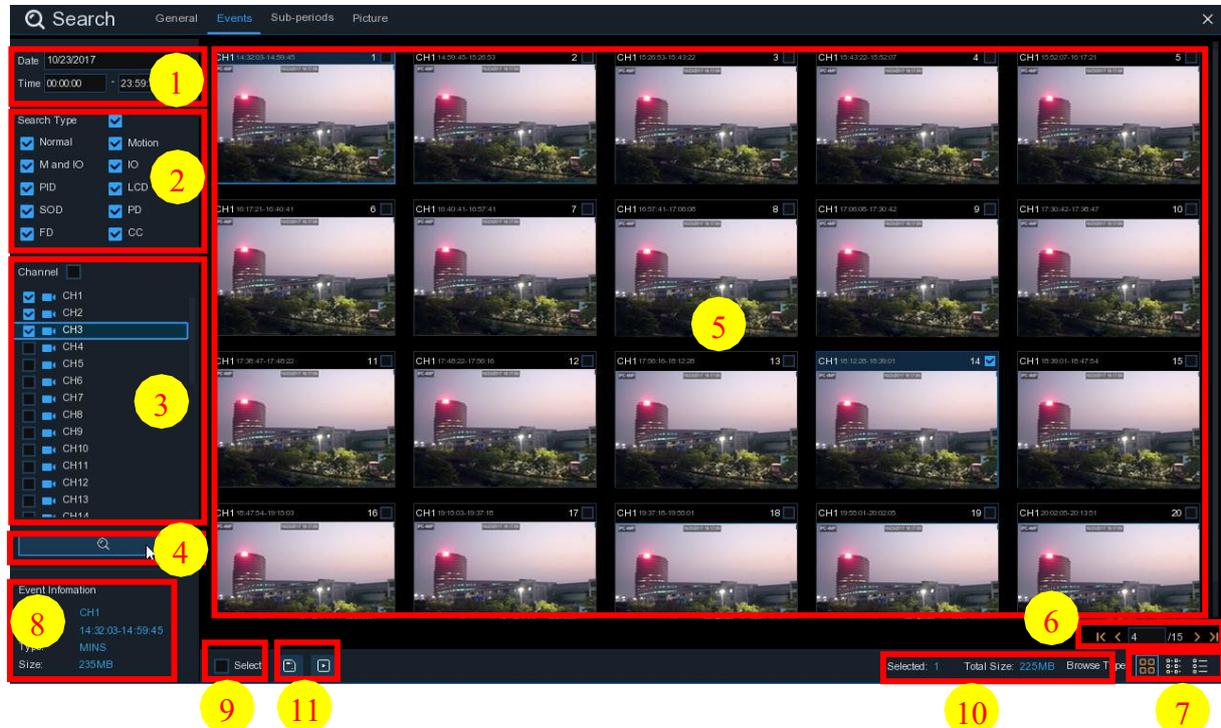


9. バックアップドライブのメニューが表示されます。バックアップファイルを保存するフォルダに移動します。
10. OKをクリックして開始します。ウィンドウの下部にあるプログレスバーに、バックアップの進行状況が表示されます。



6.1.2 イベント検索・再生・バックアップ

イベント検索では、チャンネル、開始・終了時刻、録画の種類をまとめた便利な録画一覧を表示することができます。また、イベントをUSBメモリーに素早くバックアップすることも可能です。



イベントの検索、再生、バックアップに。

1. 検索したい日付と時間を選択します。
2. 検索したい録画タイプにチェックを入れるか、**検索タイプ**にチェックを入れてすべてを選択します。
3. 検索したいチャンネルを選ぶか、**チャンネル**にチェックを入れるとすべてのチャンネルが選択されます。
4. アイコンをクリックすると検索が開始されます。
5. 検索条件に合うイベントがリスト形式で表示されます。イベント上でマウスの左ボタンをダブルクリックすると、すぐにビデオを再生することができます。
6. メニューの右下にある のアイコンをクリックすると、ページ間のブラウジングができます。をクリックするか、閲覧したいページを入力してください。
7. 画面右下に表示されているアイコンをクリックすると、リストフォームの表示を切り替えることができます。

サムネイル表示。 イベントのスナップショットを表示することができます。

リスト表示。 イベントが一覧で表示されます。

1	CH1	00:00:00	2	CH1	00:00:45	3	CH1	00:18:30	4	CH1	00:44:03	5	CH1	01:10:48	6	CH1	01:19:22	7	CH1	01:35:37	8	CH1	01:43:32
9	CH1	02:01:12	10	CH1	02:25:38	11	CH1	02:43:17	12	CH1	03:02:08	13	CH1	03:08:37	14	CH1	03:10:01	15	CH1	03:14:54	16	CH1	03:42:12
17	CH1	04:07:23	18	CH1	04:19:35	19	CH1	04:36:40	20	CH1	05:00:20	21	CH1	05:24:12	22	CH1	05:45:55	23	CH1	06:04:07	24	CH1	06:14:27
25	CH1	06:41:12	26	CH1	06:44:25	27	CH1	07:01:42	28	CH1	07:20:43	29	CH1	07:31:23	30	CH1	07:48:04	31	CH1	08:17:33	32	CH1	08:40:16
33	CH1	08:50:34	34	CH1	09:07:05	35	CH1	09:25:12	36	CH1	09:44:07	37	CH1	09:46:08	38	CH1	10:00:52	39	CH1	10:14:18	40	CH1	10:34:42
41	CH1	10:45:57	42	CH1	11:12:48	43	CH1	11:20:27	44	CH1	11:48:18	45	CH1	12:07:25	46	CH1	12:30:12	47	CH1	12:44:43	48	CH1	12:55:49
49	CH1	13:06:48	50	CH1	13:30:46	51	CH1	13:37:51	52	CH1	13:57:01	53	CH1	14:10:24	54	CH1	14:11:16	55	CH1	14:18:12	56	CH1	14:35:26
57	CH1	14:40:31	58	CH1	14:44:42	59	CH1	14:48:38	60	CH1	15:15:44	61	CH1	15:39:06	62	CH1	16:01:07	63	CH1	16:16:00	64	CH1	16:24:41
65	CH1	16:27:29	66	CH1	16:43:47	67	CH1	16:45:43	68	CH1	17:01:14	69	CH1	17:05:03	70	CH1	17:28:30	71	CH1	17:54:23	72	CH1	18:08:49
73	CH1	18:30:07	74	CH1	18:44:14	75	CH1	18:57:14	76	CH1	19:07:37	77	CH1	19:12:12	78	CH1	19:36:50	79	CH1	19:50:34	80	CH1	20:01:42
81	CH1	20:25:40	82	CH1	20:34:32	83	CH1	20:49:48	84	CH1	21:04:51	85	CH1	21:21:09	86	CH1	21:42:12	87	CH1	21:47:36	88	CH1	22:02:49
89	CH1	22:29:59	90	CH1	22:30:14	91	CH1	22:54:42	92	CH1	22:57:45	93	CH1	23:08:03	94	CH1	23:22:59	95	CH1	23:35:50			

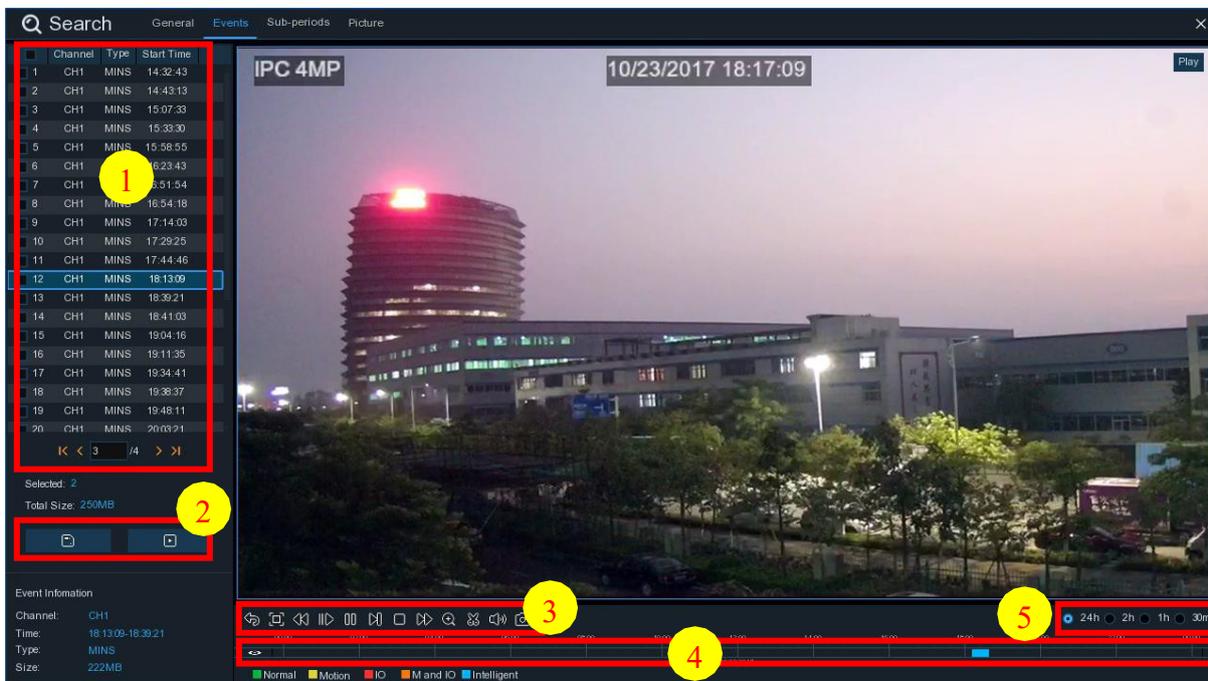
 **詳細表示です。** イベントの詳細を表示することができます。

	Channel	Type	Date	Start Time	End Time	Size	Playback	Lock	
<input type="checkbox"/>	1	CH1	MINS	10/23/2017	00:00:00	00:00:45	6MB		
<input type="checkbox"/>	2	CH1	MINS	10/23/2017	00:00:45	00:18:30	150MB		
<input type="checkbox"/>	3	CH1	MINS	10/23/2017	00:18:30	00:44:03	217MB		
<input type="checkbox"/>	4	CH1	MINS	10/23/2017	00:44:03	01:10:48	227MB		
<input type="checkbox"/>	5	CH1	MINS	10/23/2017	01:10:48	01:19:22	72MB		
<input type="checkbox"/>	6	CH1	MINS	10/23/2017	01:19:22	01:35:37	138MB		
<input type="checkbox"/>	7	CH1	MINS	10/23/2017	01:35:37	01:43:32	67MB		
<input type="checkbox"/>	8	CH1	MINS	10/23/2017	01:43:32	02:01:12	150MB		
<input type="checkbox"/>	9	CH1	MINS	10/23/2017	02:01:12	02:25:38	207MB		
<input type="checkbox"/>	10	CH1	MINS	10/23/2017	02:25:38	02:43:17	150MB		
<input type="checkbox"/>	11	CH1	MINS	10/23/2017	02:43:17	03:02:08	160MB		
<input type="checkbox"/>	12	CH1	MINS	10/23/2017	03:02:08	03:08:37	55MB		

詳細表示モードでは、ビデオイベントをロックして、ハードディスクにイベントが書き込まれないようにすることができます。 アイコンをクリックするとロックされ、 をクリックするとロックが解除されます。

8. イベント上でマウスの左ボタンをクリックすると、画面左下にイベント情報が表示されます。
9. イベント番号の横のボックスにチェックを入れるとファイルが選択され、「**選択**」の横のボックスにチェックを入れるとページ内のすべてのイベントが選択されます。
10. 選択されたファイルの数、合計サイズの情報画面右下に表示されます。
11. ファイルを選択した後、 アイコンをクリックして、USB フラッシュドライブにビデオを保存することができます。または  アイコンをイベント再生コントロールウィンドウに表示すると、ビデオが再生されます。

6.1.2.1 イベント再生コントロール



The screenshot displays the event playback control interface. On the left, there is a table of events with columns for Channel, Type, and Start Time. A red box highlights this table, with a yellow circle labeled '1' pointing to it. Below the table, there are buttons for saving and playing, with a red box around them and a yellow circle labeled '2' pointing to the save icon. The main area shows a video player with a red box around the play icon and a yellow circle labeled '3' pointing to it. At the bottom, there is a playback progress bar and speed controls, with a red box around them and a yellow circle labeled '4' pointing to the progress bar, and another yellow circle labeled '5' pointing to the speed controls.

1. イベントリスト、ここでイベントを選択することができます。
2.  アイコンをクリックすると、選択したイベントビデオが USB フラッシュドライブに保存されます。 アイコンをクリックすると、動画が再生されます。

3. **ビデオ再生コントロール**のボタンで再生をコントロールします。 アイコンをクリックするか、マウスの右ボタンをクリックすると、再生を終了してイベント検索ウィンドウに戻ることができます。

- 今再生しているイベントがタイムライン上に表示されます。
- タイムフレームオプション(24h 2h 1h 30m)を使用して、より小さいまたはより大きい期間を表示します。

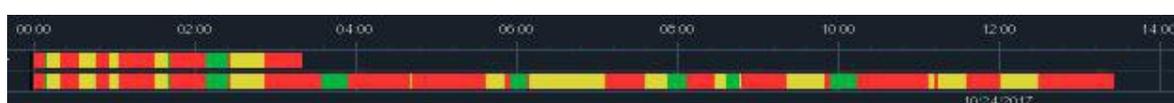
6.1.3 サブピリオド再生

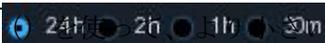
サブ期間再生は、1つのチャンネルから複数の通常録画とモーションイベントを同時に再生することができます。通常録画とイベント録画では、選択されている分割画面モードに応じて、映像が均等に分割されます。例えば、映像が1時間で、分割画面×4を選択した場合、各分割画面は15分ずつ再生されます。



サブ期間での動画検索&再生に。

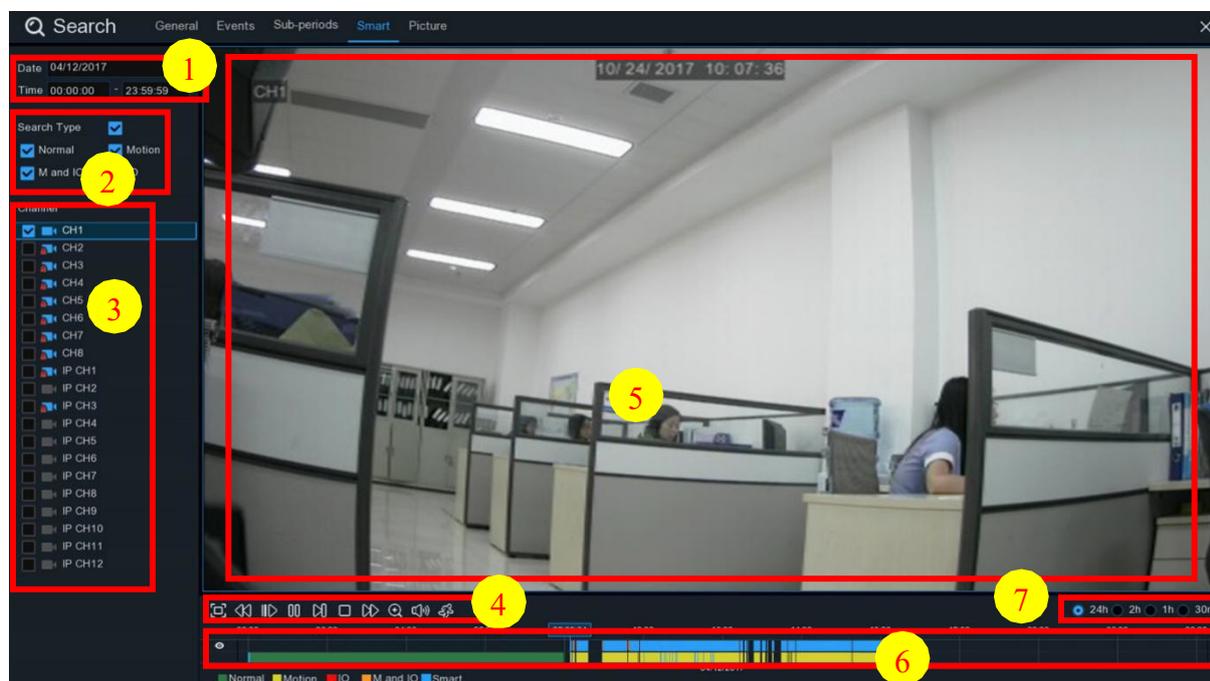
- 検索したい日付と時間を選択します。
- 動画を再生する分割画面を選択します。
- 検索したい録画タイプにチェックを入れるか、**検索タイプ**にチェックを入れてすべてを選択します。
- 検索したいチャンネルを選びます。この機能は、一度に1つのチャンネルしか検索・再生できませんのでご注意ください。
- 再生ボタン▶をクリックすると、再生が始まります。**ビデオ再生コントロール**のボタンで再生をコントロールします。
- 動画は画面分割で再生しています。
- 特定の分割画面上でマウスの左ボタンをクリックすると、その分割画面の時間帯がタイムライン上に表示されます。タイムライン上部のカラーバーは、クリックしたビデオ分割画面の時間帯を表します。タイムライン下部のカラーバーは、検索したビデオ全体の時間帯を表します。



8. タイムフレームオプション  またはより大きい期間を表示することができます。

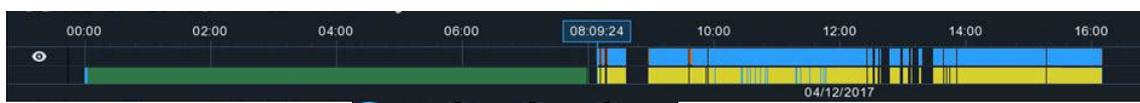
6.1.4 スマートサーチ&プレイバック

スマートモードでは、チャンネル内の1つまたは複数の特定領域のモーションイベントを簡単に検索&再生することができます。



スマートサーチ&プレイバックを開始するには

1. 検索したい日付と時間を選択します。
2. 検索したい録画タイプにチェックを入れるか、**検索タイプ**にチェックを入れてすべてを選択します。
3. 検索したいチャンネルを選択すると、選択したチャンネルのモーションレコーダが自動的に検索されます。この機能は、一度に1つのチャンネルを検索して再生するためののみサポートしていることに注意してください。
4. の再生ボタン▶をクリックすると、再生が始まります。**ビデオ再生コントロール**のボタンで再生をコントロールします。
5. 画面内に動画が再生されています。
6. タイムライン上部のカラーバーは、検索した動きのある録画の時間帯を表します。タイムライン下部のカラーバーは、指定した録画全体の時間幅を表しています。



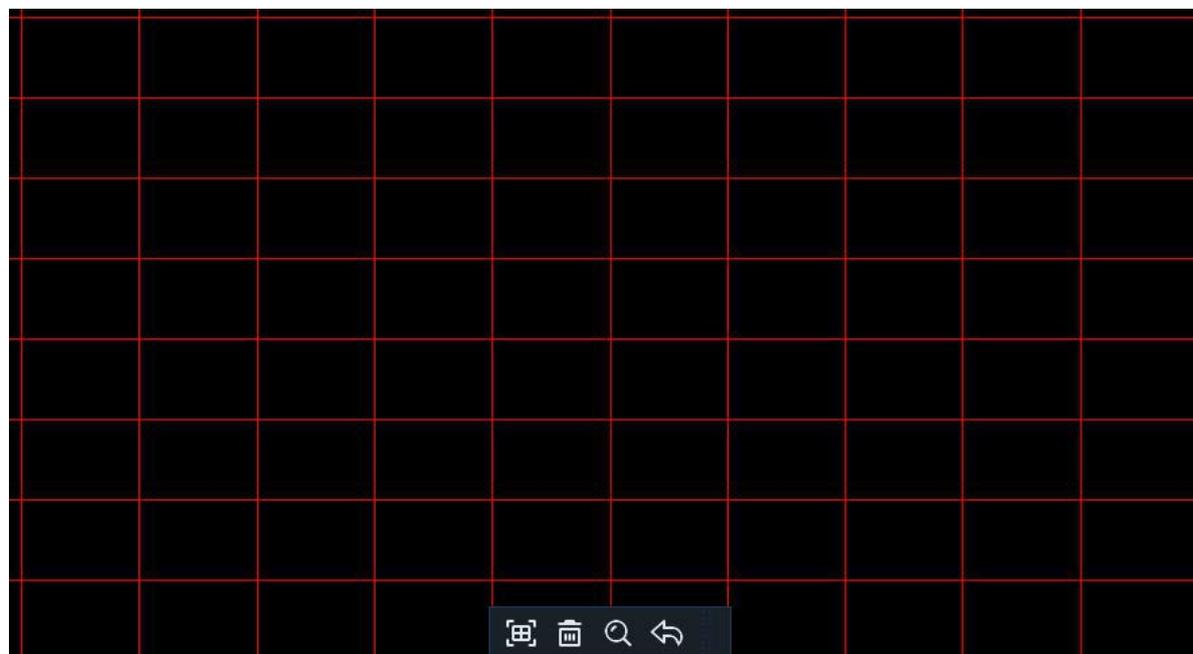
7. タイムフレームオプション () を使って、より小さいまたはより大きい期間を表示することができます。



6.1.4.1 スマートサーチエリア

スマートサーチ機能は、デフォルトでチャンネルの全領域のモーションレコーダを検索します。1つまたは複数の特定のエリアを指定して、検索を絞り込むことができます。

このアイコンをビデオ再生コントロールでクリックすると、カメラがフルスクリーンで表示され、スマートコントロールバーが表示されます。



コントロールバーの端をクリックしたまま、位置を変更することができます。

スマートコントロールバー



 これをクリックすると、全画面検出領域を定

義します。 これをクリックすると、作成したすべての領域を削除します。

 定義された領域に基づいてビデオを検索し、再生する場合にクリ

ックします。 再生インターフェースに戻るには、これをクリックします。

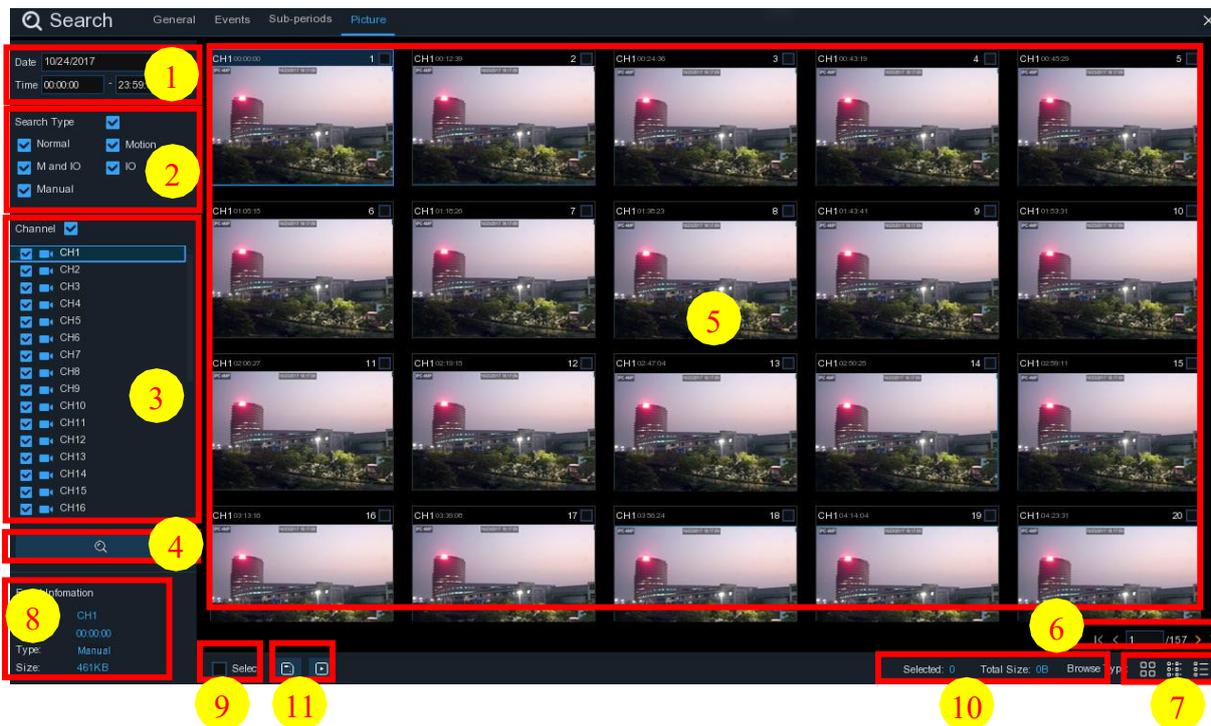
1つまたは複数の特定の領域を定義する場合は、以下を実行してください。

1. クリック&ドラッグで、定義したい領域を選択します。複数の領域を定義することができます。また、同じ操作で、定義した領域の一部を削除したり、完全に削除することもできます。定義が完了したら、検索ボタンをクリックすると、定義した領域に基づいてビデオが再生されます。

-
- 再生インターフェイスに戻ります。検索条件に一致するセグメントは、タイトルライン上に青色で表示されます。

6.1.5 画像検索・表示

スナップショットの検索、再生、USBメモリーへのコピーが可能です。



写真の検索、再生、バックアップに。

1. 検索したい日付と時間を選択します。
2. 検索したいピクチャーキャプチャーの種類にチェックを入れるか、**検索タイプ**にチェックを入れてすべてを選択します。
3. 検索したいチャンネルを選ぶか、**チャンネル**にチェックを入れるとすべてのチャンネルが選択されます。
4. 🔍 ボタンをクリックすると、検索が開始されます。
5. 検索条件に合う写真が一覧で表示されます。写真をダブルクリックすると、拡大表示されます。
6. メニューの右下にある **◀ 4 ▶ /157 ▶▶** のアイコンをクリックすると、ページ間のブラウジングができます。をクリックするか、閲覧したいページを入力してください。
7. 画面右下に表示されているアイコンをクリックすると、リストフォームの表示を切り替えることができます。



サムネイル表示。イベントのスナップショットを表示するこ

とができます。☰ リスト表示です。イベントが一覧で表示され

1	CH1	00:00:00	2	CH1	00:00:45	3	CH1	00:18:30	4	CH1	00:44:03	5	CH1	01:10:48	6	CH1	01:19:22	7	CH1	01:35:37
9	CH1	02:01:12	10	CH1	02:25:38	11	CH1	02:43:17	12	CH1	03:02:08	13	CH1	03:08:37	14	CH1	03:10:01	15	CH1	03:14:54
17	CH1	04:07:23	18	CH1	04:19:35	19	CH1	04:36:40	20	CH1	05:00:20	21	CH1	05:24:12	22	CH1	05:45:55	23	CH1	06:04:07
25	CH1	06:41:12	26	CH1	06:44:25	27	CH1	07:01:42	28	CH1	07:20:43	29	CH1	07:31:23	30	CH1	07:48:04	31	CH1	08:17:33
33	CH1	08:59:34	34	CH1	09:07:05	35	CH1	09:25:12	36	CH1	09:44:07	37	CH1	09:46:08	38	CH1	10:00:52	39	CH1	10:14:18
41	CH1	10:45:57	42	CH1	11:12:48	43	CH1	11:20:27	44	CH1	11:48:18	45	CH1	12:07:25	46	CH1	12:30:12	47	CH1	12:44:43
49	CH1	13:06:48	50	CH1	13:30:46	51	CH1	13:37:51	52	CH1	13:57:01	53	CH1	14:10:24	54	CH1	14:11:16	55	CH1	14:18:12
57	CH1	14:40:31	58	CH1	14:44:42	59	CH1	14:48:38	60	CH1	15:15:44	61	CH1	15:39:06	62	CH1	16:01:07	63	CH1	16:16:00

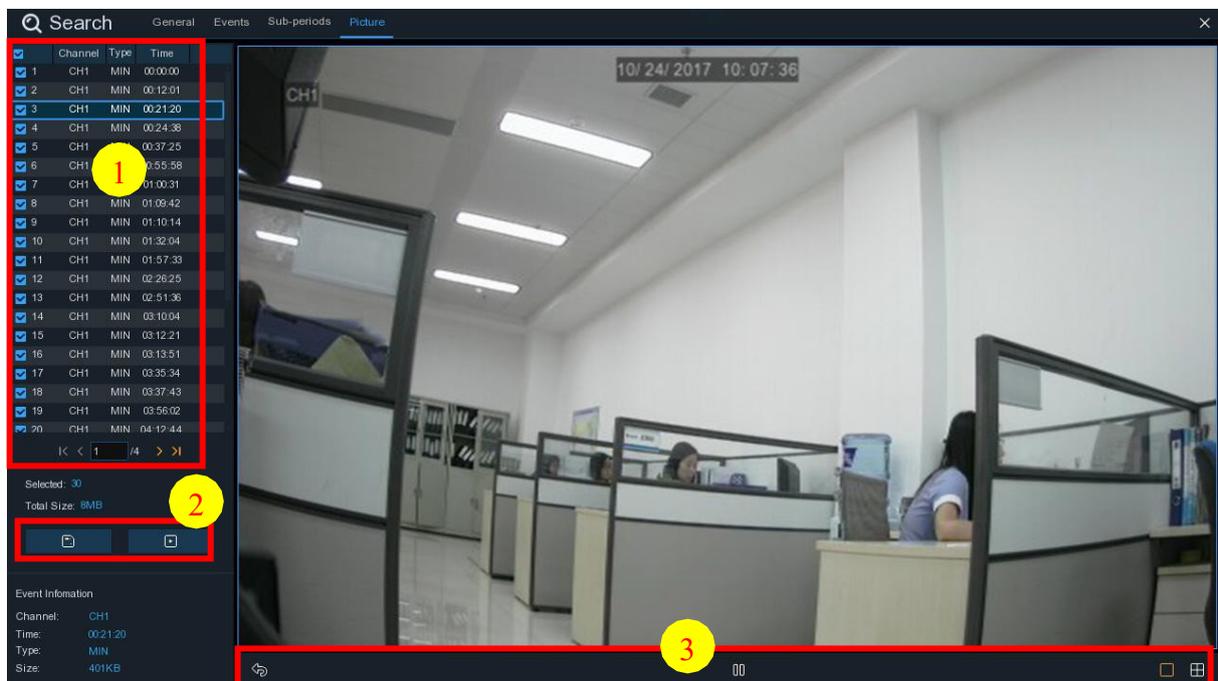


詳細表示です。イベントの詳細を表示することができます。

	Channel	Type	Date	Time	Size	Playback	
<input type="checkbox"/>	1	CH1	MIN	10/24/2017	00:00:00	160KB	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	2	CH1	MIN	10/24/2017	00:12:01	201KB	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	3	CH1	MIN	10/24/2017	00:21:20	401KB	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	4	CH1	MIN	10/24/2017	00:24:38	111KB	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	5	CH1	MIN	10/24/2017	00:37:25	167KB	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	6	CH1	MIN	10/24/2017	00:55:58	210KB	<input type="checkbox"/>

8. 写真の上でマウスの左ボタンをクリックすると、画面の左下に写真情報が表示されます。
9. イベント番号の横のボックスにチェックを入れるとファイルが選択され、「選択」の横のボックスにチェックを入れるとページ内のすべての画像が選択されます。
10. 選択されたファイルの数、合計サイズの情報が画面右下に表示されます。
11. ファイルを選択した後、 ボタンをクリックすると、USB フラッシュドライブに写真が保存されます。または  ボタンをクリックすると、ピクチャープレビューコントロールウィンドウが表示されます。

6.1.5.1 ピクチャープレビューコントロール



1. ピクチャーリスト、ここで写真を選択することができます。
2.  ボタンをクリックすると、選択した画像がUSBメモリーに保存されます。 ボタンをクリックすると、写真がスライドショーで表示されます。
3.  ボタンを押すと、プレビュー制御ウィンドウを終了し、画像検索ウィンドウに戻ります。 ボタンを押すと一時停止し、 を押すとスライドショーが再開します。
 ボタンを押すと、前のスナップショットまたはスナップショットのグループが表示され、 を押すと、次のスナップショットまたはスナップショットのグループが表示されます。
 ボタンをクリックすると1枚のスナップショットが、 ボタンをクリックすると4枚のスナップショットが、 ボタンを押すと9枚のスナップショットが一度に表示されます。

第7章 Webクライアントによるリモートアクセス

Web Client を使用して、PC からいつでも DVR にリモートでアクセスできます。Web Clientにアクセスする前に、DVRのインターネット設定が正しく構成されていることを確認する必要があります。

7.1 基本システム環境要件

Web Clientを動作させるために必要なハードウェアとOSの最小要件は、以下のとおりです。

項目	最小	おすすめ
CPU	インテル® Core™ i5 CPU	インテル® Core™ i5以上のCPU
ラム	4G以上	8G以上
ハードディスク	500G以上	1000G以上
ディスプレイRAM	2G以上	4G以上
ディスプレイの解像度	1280*1024	1920*1080
OS	Windows 7 以上 Mac OS X® 10.9以上	
DirectX	DirectX 11	
Direct3D	アクセラレーション機能	
イーサネットアダプター	10/100/1000Mイーサネットアダプター	
アイイー	Microsoft Internet Explorer (Ver.11,10,9,8) 。Edgeには対応していません。	
Mozilla Firefox	V51以下です。V52以上のバージョンには対応していません。	
グーグルクローム	V44以下です。V45以上のバージョンには対応していません。	
Mac Safari	5.1以上	

7.2 Webプラグインのダウンロードとインストール

Web Clientにアクセスするには、次のようにします。

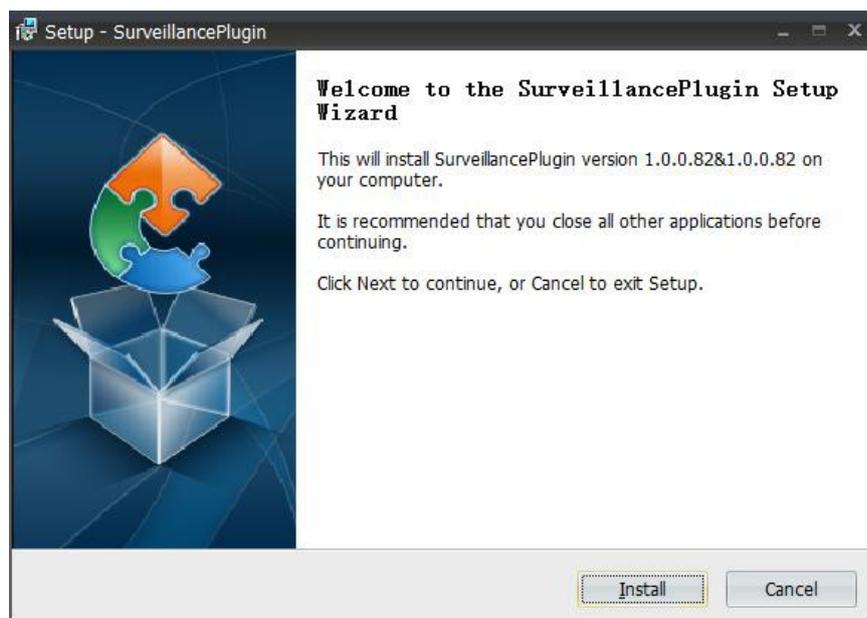
IE/Chrome/Firefoxの場合。

1. PCでエクスペローラを起動し、URL欄にDVRのIPアドレスまたはDVRに設定したDDNSドメイン名 (Host Name) を入力してください。
2. 初めてWebクライアントを起動する場合は、Webクライアントプラグインのインストールが必要です。クリックをクリックして、プラグインをダウンロードし、コンピュータにインストールしてください。

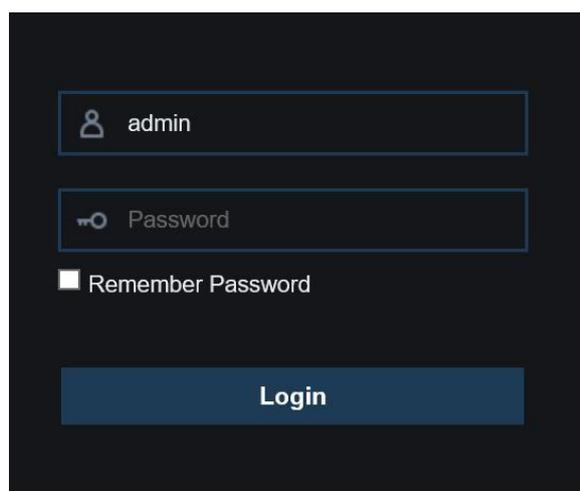
You haven't installed the plugin or it is not the latest version.

Please click [download](#) to download the latest plugin.

Please close browser before plugin installation!!!



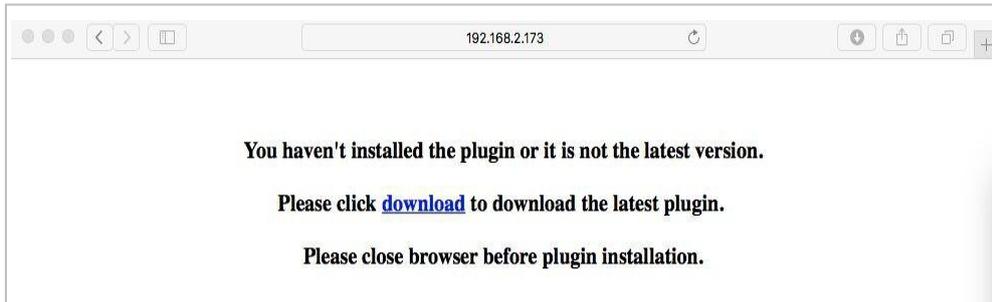
3. プラグインをインストールした後、ブラウザを終了して再度起動し、手順1を繰り返してログインページを開いてください。ユーザー名とパスワードを入力して、ウェブクライアントにログインしてください。



注 Google Chromeをご利用の場合は、Version V41以下をご利用ください。V42～V44をご使用の場合は、NPAPIプラグインを有効にする必要があります。URLバーに<chrome://flags/#enable-npapi>と入力し、NPAPIを検索して有効化してください。V45以上には今のところ対応していません。

Mac Safariの場合。

1. MacのSafariを起動し、URL欄にDVRのIPアドレスまたはDVRに設定したDDNSドメイン名（Host Name）を入力します。

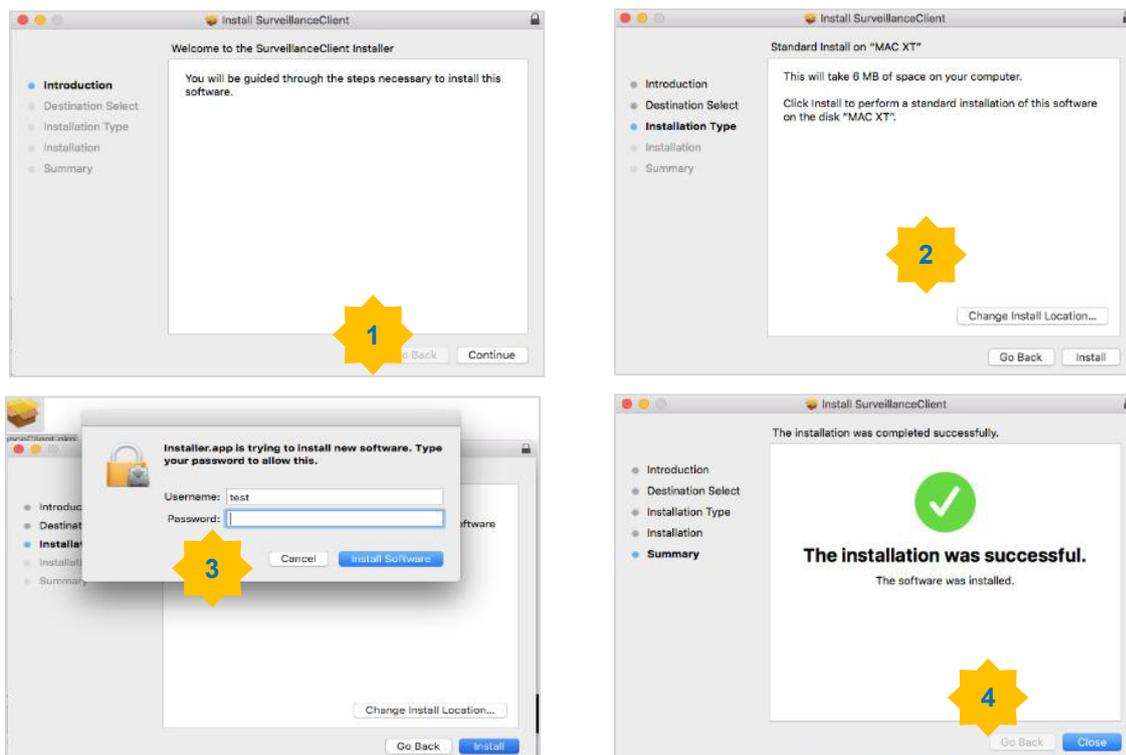


2. プラグイン「SurveillanceClient.dmg」をダウンロードし、ダウンロードしたファイルを探して、ダブルク



リックします。

3. 続行」→「インストール」をクリックします。Macのユーザー名とパスワードを入力し、「ソフトウェアのインストール」→「閉じる」をクリックすると、インストールが完了します。



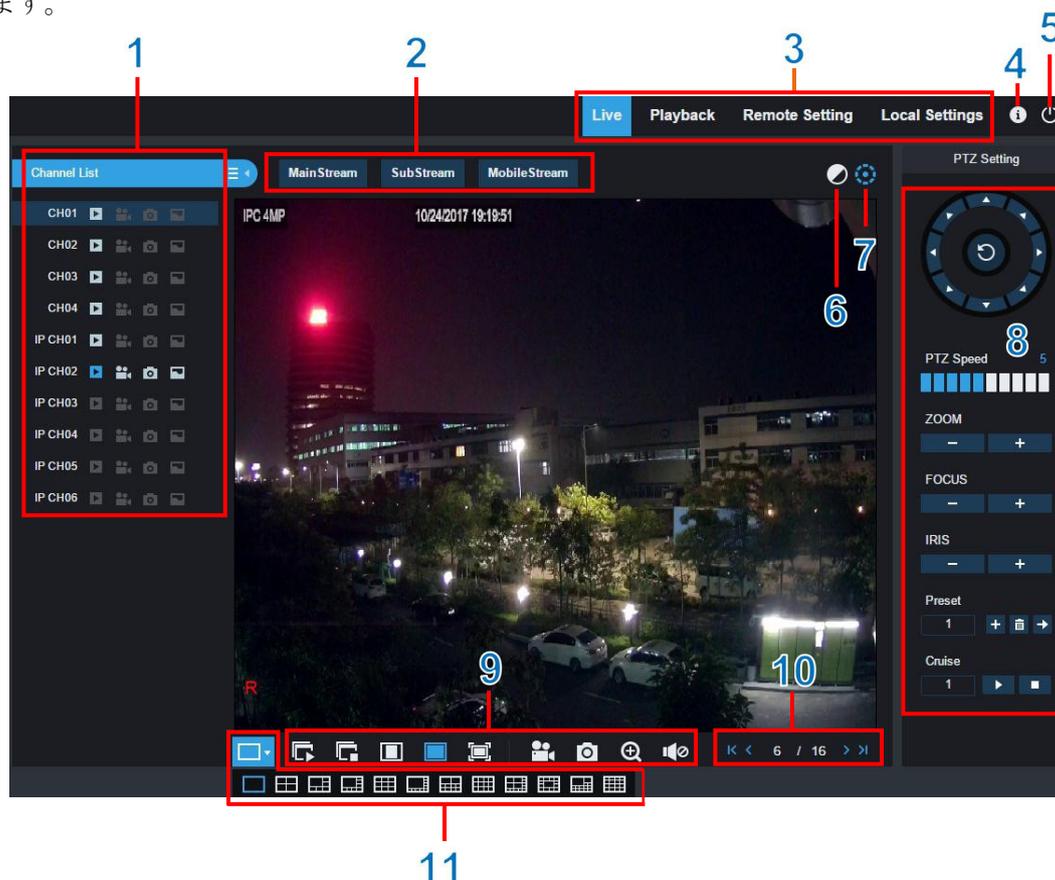
4. Safariを閉じてもう一度開くと、手順1を繰り返してWeb Clientのログイン画面が表示されます。

7.3 ウェブクライアントマネージャー

ウェブクライアントは、管理者アカウントでDVRを完全に制御することをサポートします。不正なログインを防ぐために、ユーザー名とパスワードは必ず保護してください。

7.3.1 ライブインターフェース

Web Clientにログインした後、最初に開く画面です。ここでは、ライブプレビューの開閉、ローカルコンピュータへの映像の手動録画、画面のスナップショット撮影、PTZ制御、色調整などができます。



1- チャンネルリスト。クイックカメラ機能のためのチャンネルリストを開く

 ボタンをクリックすると、チャンネルリストが表示され、ボタンを  と  ボタンをクリックすると、チャンネルリストが非表示になります。

  ライブビデオストリームのオン/オフを切り替えます。ライブビデオストリームがオンの場合、ボタンは青色で表示されます。

  手動録画のボタンです。クリックすると、ライブストリーム映像の手動録画が開始されます。もう一度クリックすると、録画が停止します。手動録画は、パソコンに保存されます。録画中は、ボタンが青く表示されます。

 手動スナップショットボタンをクリックすると、現在のライブディスプレイのスナ

ップショットをパソコンに保存します。



ビットレートボタン。メインストリーム、サブストリーム、モバイルストリームの映像設定を使用するようカメラを設定します。モバイルストリームはIPチャンネルのみ使用可能です。

2- ライブビデオストリームのオプション。

メインストリームすべてのライブ映像を高画質のメインストリーム映像設定で表示します。サブストリームすべてのライブ映像を中画質のサブストリーム映像で表示します。モバイルストリーム。帯域を節約するために、低画質のモバイルストリームのビデオ設定ですべてのライブビデオを表示します。IP チャンネルのみで利用可能です。

3- 主なメニューです。

ライブカメラからのライブ映像を見ることができます。

再生する。DVRのHDDに保存されている録画映像を見ることができます。

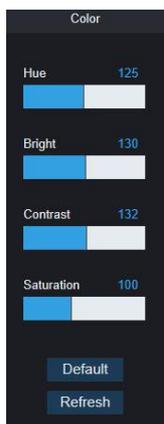
リモート設定。DVR 設定メニューの機能にアクセスします。

ローカル設定。Web Clientで撮影した録画やスナップショットのダウンロード先を設定したり、動画ファイルのファイル形式を選択したりすることができます。

4- インフォメーションです。カーソルを合わせると、システムの詳細が表示されます。

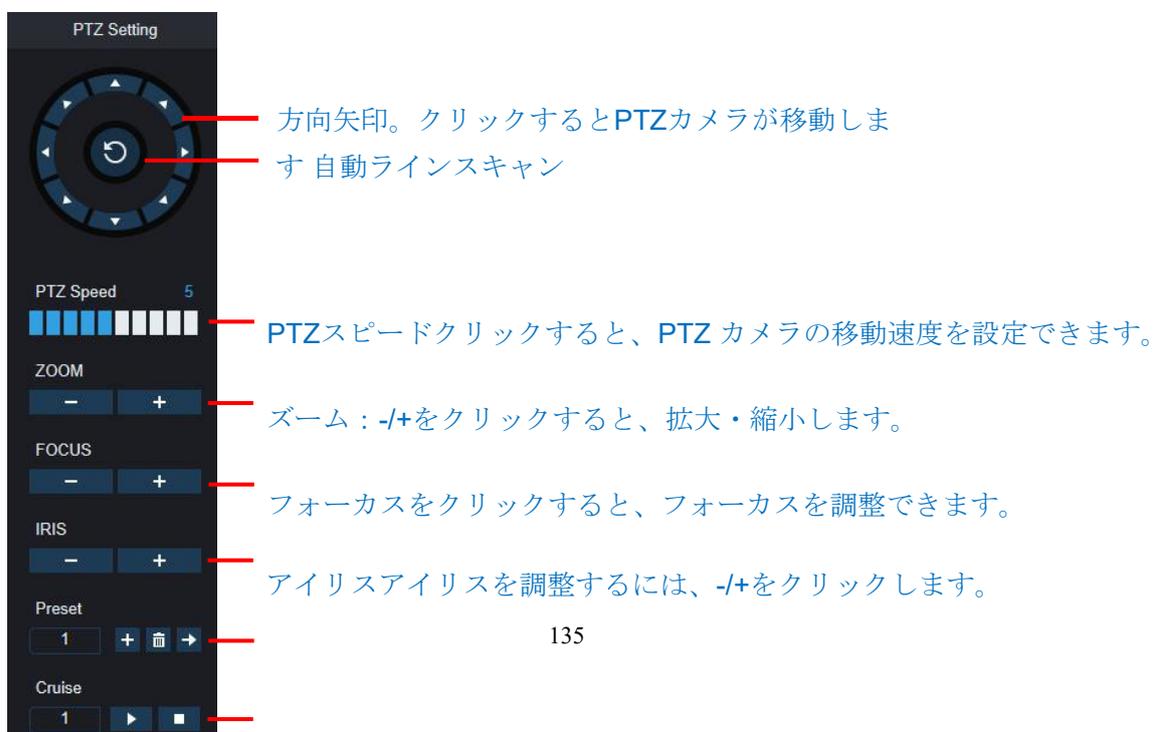
5- 退出する。

6- カラーコントロール。クリックすると、カラーコントロールの表示/非表示が切り替わります。



7- PTZコントロール。PTZ カメラを使用するための PTZ コントロールをクリックで表示または非表示にします。

8- PTZコントロール



プリセットポイントプリセットポイントの追加、削除、またはプリセットポイントへの移動。

クルーズPTZクルーズの開始/停止

9- ライブビューコントロールボタン。



 ライブウィンドウで画像を開く。

 すべてのLiveチャンネルを閉じる

 オリジナル・プロポーションライブ映像をオリジナルのプロポーションで表示

 ストレッチを行います。画面上の各チャンネルの全領域に収まるようにライブ映像を引き伸ばします。  ウェブクライアントをフルスクリーンに拡大する場合。

 手動録画。クリックすると、表示されているすべてのチャンネルの手動録画が開始されます。もう一度クリックすると録画が停止します。手動録画は、パソコンに保存されます。

 スナップショット現在表示されているすべてのチャンネルのスナップショットをパソコンに保存します。  デジタルズーム：ライブ画像上でクリックし、ライブ画像の領域上でクリック&ドラッグすると拡大表示されます。右クリックで通常の見え方に戻ります。

 音量調整。  音量はミュートです。

10- ナビゲーションです。画面に表示されているチャンネルの現在のページ番号が表示されます。矢印キーでページを切り替えます。

11- ページビュー。クリックすると、一度に画面に表示されるチャンネル数を選択できます。

7.3.2 プレイバック

DVR内部のHDDに保存されている録画映像を検索&再生したり、パソコンにダウンロードしたりすることができます。

Live **Playback** Remote Setting Local Settings ⓘ ⏻

< 2017 10 >

S	M	T	W	T	F	S
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

Type All ▾
Stream MainStream ▾

Synchronous playback

CH01 IP CH01
 CH02 IP CH02
 CH03 IP CH03
 CH04 IP CH04
 IP CH05
 IP CH06



⏪ ⏩ ⏹ 📷 ⬇️ 🔍 x1 🔄 📄 🔊

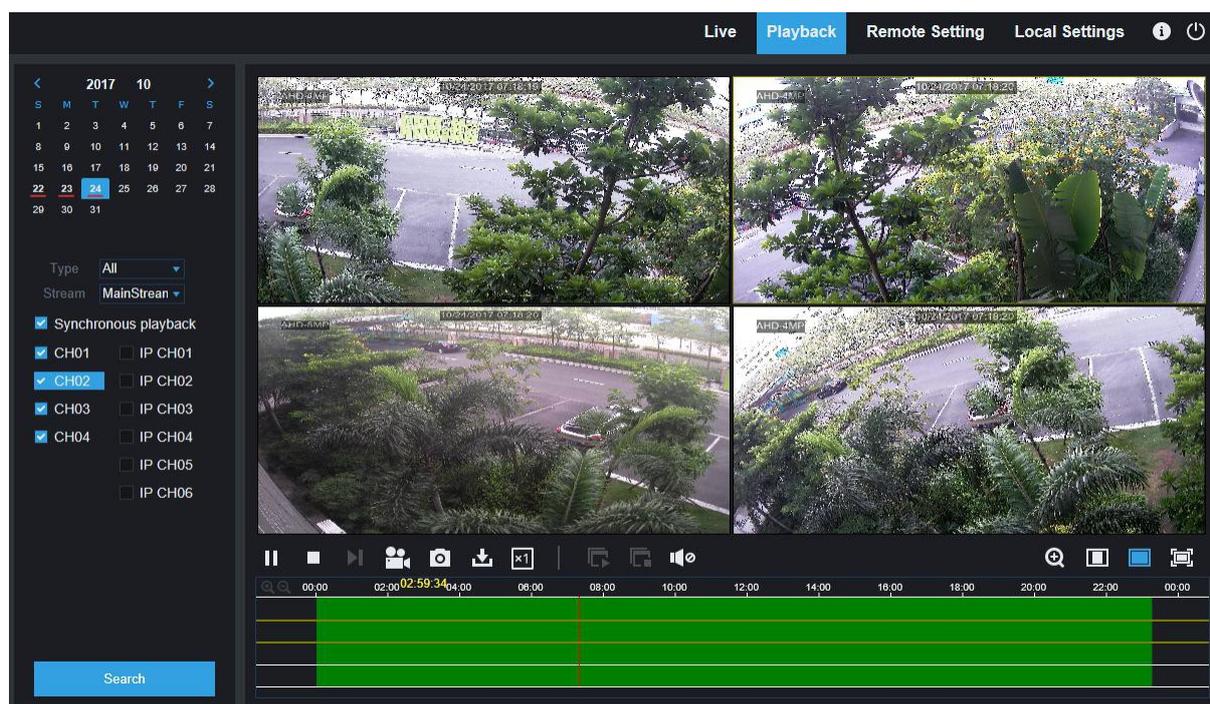
00:00 02:00 02:59:34 04:00 06:00 08:00 10:00 12:00 14:00 16:00 18:00 20:00 22:00 00:00

Search

録音を検索するには

1. ウィンドウの右上にある **[再生]** をクリックします。
2. カレンダーから録画検索したい日を選択します。録画がある日は赤いアンダーラインで表示されます。
3. **[タイプ]** の隣にあるドロップダウンから検索する録画タイプを選択するか、**[すべて]** を選択してすべての録画を検索します。
4. 検索・再生したいビデオストリームを選択します。サブストリーム録画を再生する場合は、[5.2.2.1 録画でDVRをデュアルストリームで録画するように設定したことを確認](#)してください。
5. 録画検索したいチャンネルにチェックを入れます。**同期再生**にチェックを入れると、全チャンネルを一度に再生することができます。
6. **検索** をクリックします。
7. 検索条件に合う録画がタイムライン上に表示されます。再生を開始したいビデオの部分をクリックし、▶再生ボタンをクリックします。

7.3.2.1 プレイバックコントロールボタン



▶ 録画の再生 | 一時

停止

■ 停止

▶ 1フレーム進む。再生中のフレームを1フレームずつ移動します。が表示されているときのみ有効です。

同期再生オプションがチェックされていない。

 再生中のチャンネルをクリックし、録画ボタンをクリックすると、現在の映像がコンピュータに録画されます。もう一度クリックすると録画が停止します。

 再生中のチャンネルをクリックし、キャプチャボタンをクリックすると、スナップショットが撮影され、コンピュータに保存されます。

 ダウンロードメニューを開き、複数の録画ビデオを一括してダウンロードすることができます。

	<input type="checkbox"/>	Start Time	End Time	Status	File Size
1	<input checked="" type="checkbox"/>	2017-10-25 00:00:00	2017-10-25 00:01:04	Completed	47.00M
2	<input checked="" type="checkbox"/>	2017-10-25 00:01:04	2017-10-25 00:06:56	2%	253.76M
3	<input type="checkbox"/>	2017-10-25 00:06:56	2017-10-25 00:12:48	Not Downloaded	253.71M
4	<input type="checkbox"/>	2017-10-25 00:12:48	2017-10-25 00:18:41	Not Downloaded	253.91M
5	<input type="checkbox"/>	2017-10-25 00:18:41	2017-10-25 00:24:34	Not Downloaded	253.64M
6	<input type="checkbox"/>	2017-10-25 00:24:34	2017-10-25 00:30:27	Not Downloaded	253.68M
7	<input type="checkbox"/>	2017-10-25 00:30:27	2017-10-25 00:36:18	Not Downloaded	253.75M
8	<input type="checkbox"/>	2017-10-25 00:36:18	2017-10-25 00:42:10	Not Downloaded	253.90M
9	<input type="checkbox"/>	2017-10-25 00:42:10	2017-10-25 00:48:03	Not Downloaded	253.74M
10	<input type="checkbox"/>	2017-10-25 00:48:03	2017-10-25 00:53:56	Not Downloaded	253.63M

10 / 10 Show from 1 to 10, total 95. Per page : 10

Start Download Stop Download

ダウンロードしたいファイルを選び、「**ダウンロード開始**」ボタンを押すと、ダウンロードの状況が表示されます。停止するには、**ダウンロードを停止する**ボタンを押してください。

 **再生速度**。クリックすると、再生速度が選べます。

 **すべてのチャンネルを再生する**。クリックすると、検索したすべてのチャンネルを再生します。**同期**再生にチェックが入っていない場合のみ使用可能です。

 **全チャンネルを停止する**。クリックすると全チャンネルの再生が停止します。**同期**

playbackオプションがチェックされていない。

 **デジタルズーム**：再生中の動画をクリックし、動画上の任意の場所をクリック&ドラッグすると拡大表示されます。右クリックで通常の見え方に戻ります。

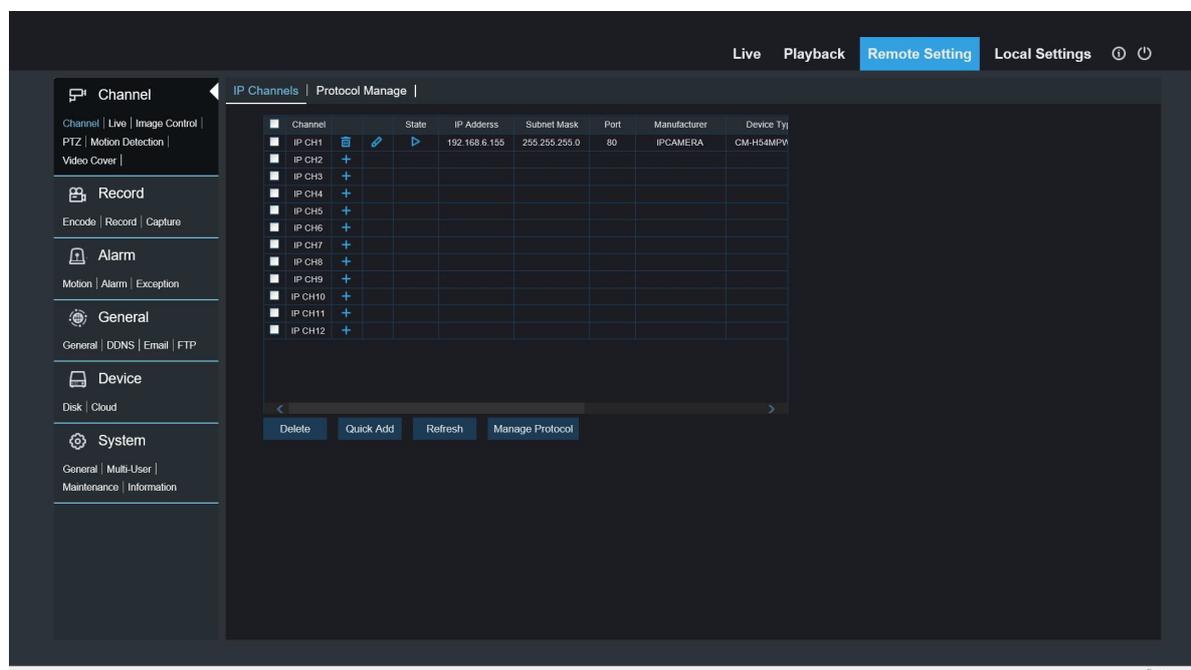
オリジナルのプロポーション再生している動画を元の比率で表示します

ストレッチを行います。再生中のビデオを、画面上の各チャンネルの全領域に合わせるように引き伸ばします。

 **Webクライアントをフルスクリーンに拡大するには**

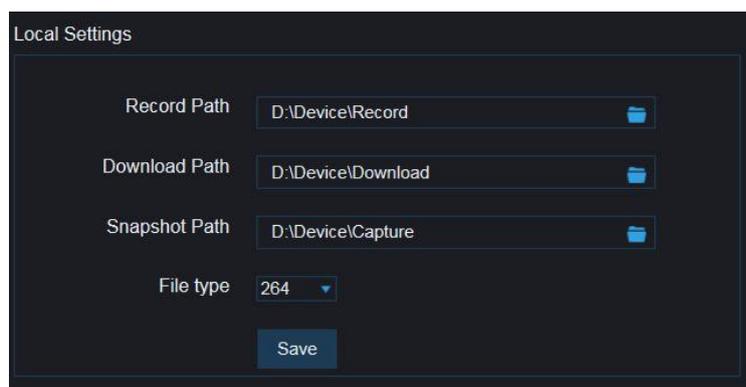
7.3.3 リモート設定

ここでは、DVR の設定をリモートで行うことができます。DVR の設定の詳細については、「[第 5 章 DVR システム設定](#)」を参照してください。



7.3.4 ローカル設定

Web Clientで撮影した録画やスナップショットのダウンロード先を設定したり、動画ファイルのファイル形式を選択したりすることができます。



記録パス。  をクリックして、手動で録画したビデオをコンピュータに保存するフォルダを参照し、選択します。

ダウンロードのパスです。  をクリックして、ダウンロードした録画ビデオをコンピュータに保存するフォルダを参照し、選択します。

スナップショットのパス  をクリックして、手動キャプチャーのスナップショットをコンピュータに保存するフォルダを参照し、選択します。

ファイルタイプ。 手動録画に適したファイル形式を選択します。

保存します。クリックすると、変更内容が保存されます。

第8章 バックアップした映像をPC/Macで見る

ここでは、CDに付属の強力なビデオプレーヤーで、バックアップファイルを再生する方法を紹介します。

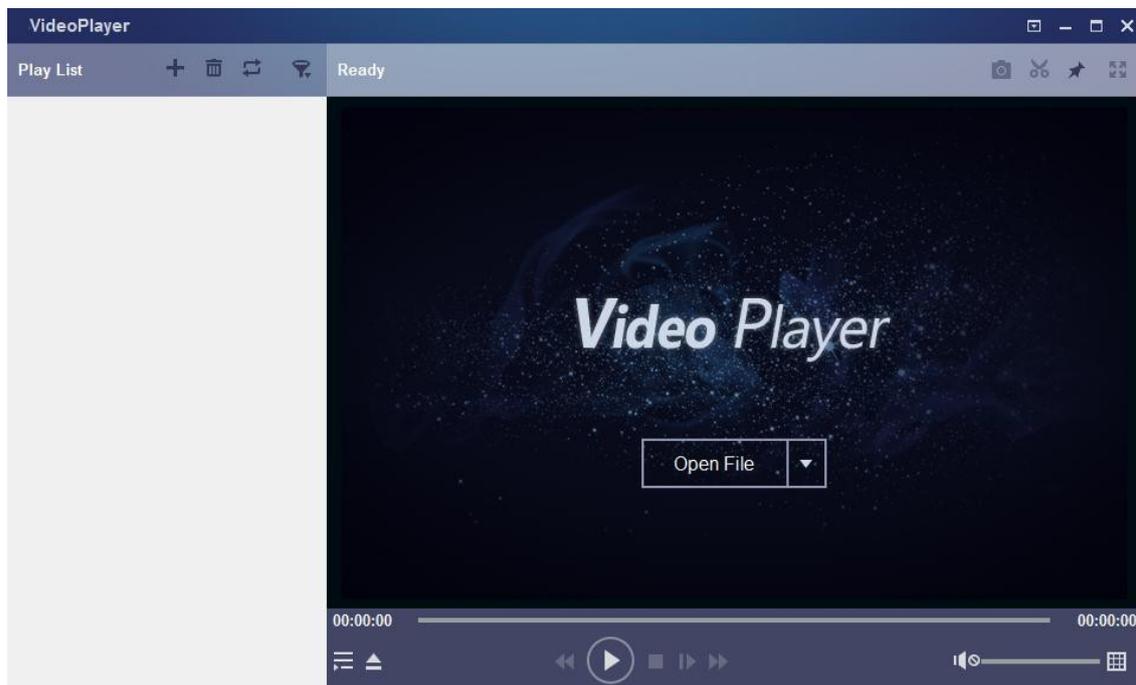
Macの方は、例えば「VideoPlayer_x.x.xx_xxx_x.dmg」のように、アプリをインストールしてください。
VideoPlayer_1.0.15_2017_01_6.dmg.

PCをご利用の方は、例えば「VideoPlayer_x.x.xx_xxx_xx.exe」というソフトをインストールしてください。
VideoPlayer_1.0.15_2017_01_06.exe.

最小システム要件

- Intel Pentium 4 以上
- Microsoft Windows XP / Vista / 7 / 8 / 10
- 256MB RAM
- 16MB ビデオメモリ

1. CD内のVideo Playerソフトをインストールし、実行する。



2. バックアップファイルをパソコンにコピーする。
3. **ファイルを開く** ボタンをクリックするか、再生リスト上の「+」ボタンをクリックして、単一または複数のビデオファイルを読み込みます。それは

は、".rf", ".avi", ".mp4", ".264", ".265"ファイルの追加と再生に対応しています。▼ ボタンをクリックすると、バックアップされた動画があるフォルダをロードします。

ビデオプレーヤー制御



1. 再生リスト

-  ファイルを
-  追加するフ
-  ァイルを削
- 除する

再生モードの選択：1つのファイルを再生して停止する、リストされたすべてのファイルを順番に再生する、1つのファイルを繰り返す、すべてのファイルを繰り返す。

-  ファイル名で絞り込む

2. プレイリストの表示/非表示

-  クリックすると、ファイルを開いたり、フォルダーを読み込んだりすることができます。

3. プレイコントロール

-  Play
-  Pause
-  Stop
-  フレーム単位で再生します。1回クリックすると動画の1フレームが再生されます
-  スロー再生、1/2、1/4、1/8、1/16の速度
-  早送り、x2、x4、x8、x16

4. 音量調整

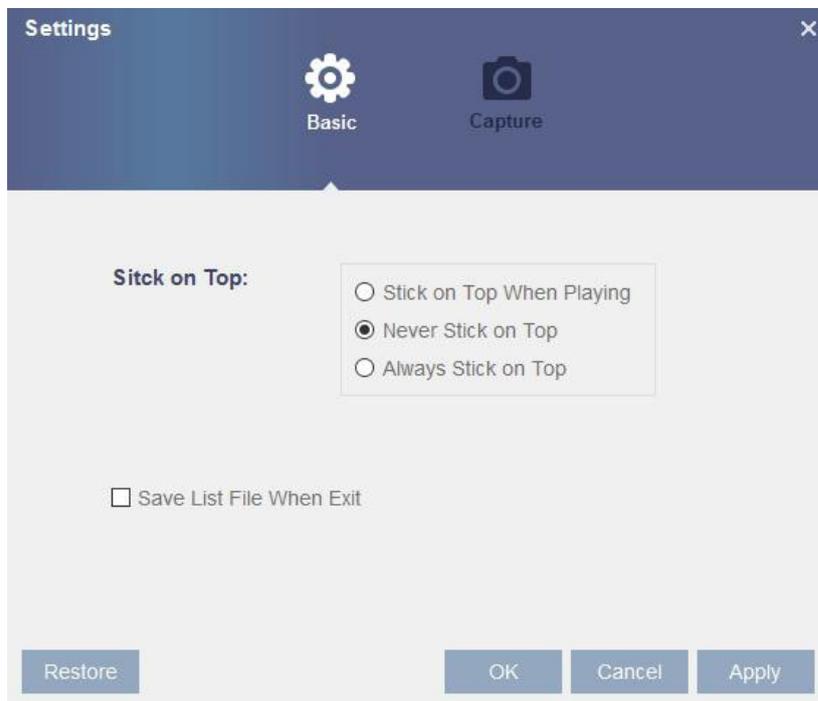
-  マルチスクリーン再生。一度に複数の動画を再生することができます。マルチスクリーンを選択すると、プレイリストのビデオを再生画面にドラッグすることができます。

5.  スナップショットを撮る

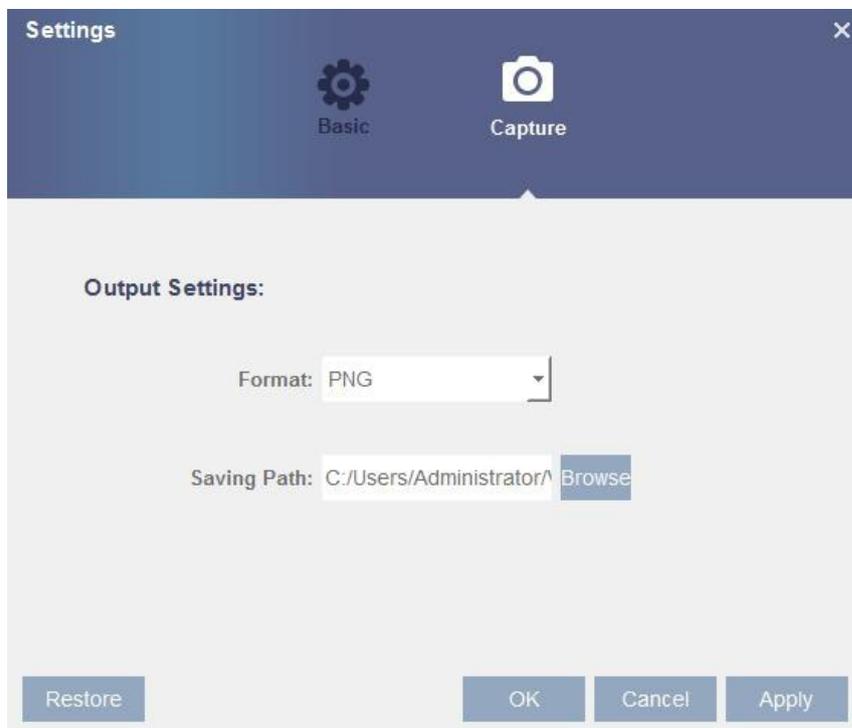
 ビデオクリップをパソコンに保存するにはを1回押すとビデオクリップが始まり、もう一度押すと終わります。  ビデオプレーヤーを上にしておく

 ビデオの再生画面をフルスクリーンに拡大する

6.  アドバンスドセットアップメニューはビデオプレーヤーのOSD言語を選択し、ビデオプレーヤーの設定を構成することができます。



基本的な設定です。オントップモードの設定



キャプチャーの設定です。スナップショットの保存形式と保存パスを設定します。

第9章 モバイル端末を使ったリモートアクセス

DVRは、AndroidおよびiOSオペレーティングシステムに基づいたモバイルデバイスからのリモートアクセスをサポートしています。

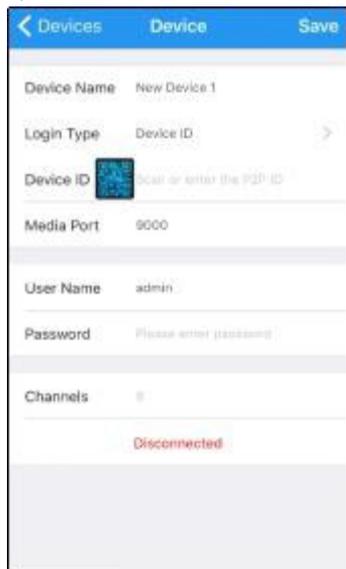
- 1) アンドロイド端末ではGoogle Play Store、iOS端末ではApp StoreからRXCamViewを検索し、インストールします。
- 2) アプリを実行すると、ライブビュー画面が表示されます。



- 3)  アイコンを タッチして デバイス一覧画面を開き、+をタッチしてデバイスを追加します。

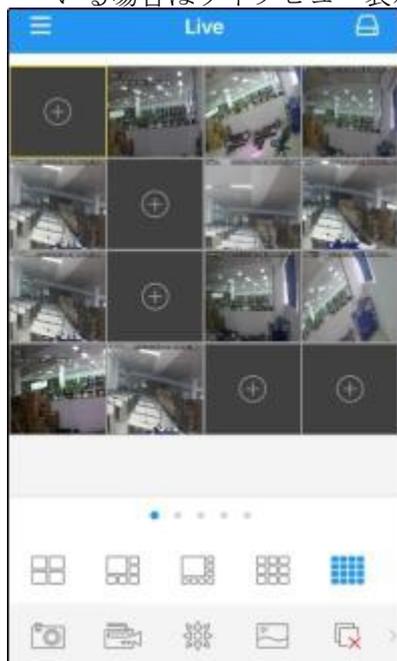


4) 「手動」を選択し、DVRの情報を入力します。



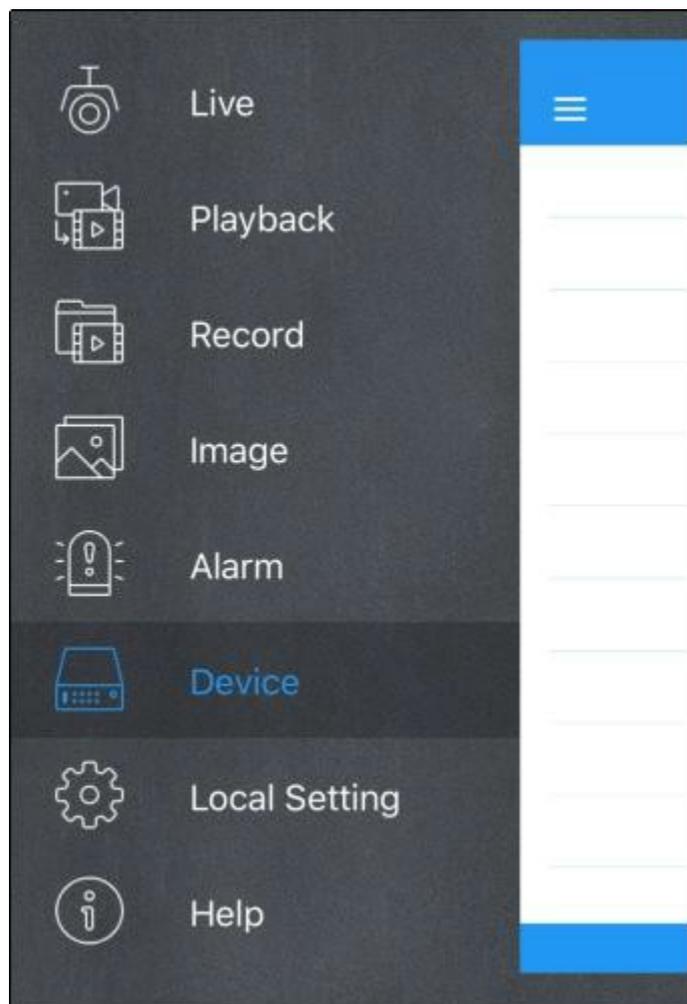
- Device Name:** Input the name you want to display
- Login Type:** Device ID and IP/DOMAIN
 - Device ID: For P2P connection.
 - IP/DOMAIN: IP address or Domain name of the DVR
- Device ID/IP Address:** Input the P2P ID or IP address/Domain name. You can touch the  icon to scan the P2P QR code to add device.
- Media Port:** Input the media port in DVR network setting
- User Name / Password:** Input the user name & password of the DVR.
- Channels:** System will display the number of channels of the DVR after connected.

5) すべての設定が完了したら、「保存」をタッチして保存すると、端末が正常に接続されている場合はライブビュー表示になります。



-  4 pictures display
-  6 pictures display
-  8 pictures display
-  9 pictures display
-  16 pictures display
- Note:** The app will display max. 16 pictures in one screen. You can slip the screen to move to next screen to view other 16 pictures. Total 80 pictures can be displayed.
-  Snap shoot the pictures
-  Record the live view video to your mobile device
-  PTZ control
-  Picture quality
-  Close all live view pictures
-  Turn Off/On Audio
-  Adjust the video scale
-  Dual-way speaker (If your DVR support)

- 6)  アイコンをタッチしてメニューリストを開き、ライブビュー、再生、^{アル}ローカル録画ビデオ、キャプチャ画像、プッシュアラーム通知、デバイスマネージャー、ローカル設定、ヘルプドキュメントを確認および設定することができます。



第10章 付録

10.1 トラブルシューティング

1. Q: システムがHDDを検出しない場合はどうすればよいですか？
A: 電源システムが正しく接続されているか、データコードと電源ケーブルがしっかりと接続されているか、HDDのインターフェースに異常がないか、確認してください。または、仕様書や説明書などを参考にして、お使いのHDDが対応しているかどうかを確認してください。
2. Q: パスワードを変更したのですが、新しいパスワードを忘れてしまったので、どうしたらいいですか？
A: システムのパスワードを忘れてしまった場合は、弊社技術担当者にご相談ください。パスワードは覚えやすく、比較的安全なものを設定することを強くお勧めします。安全性の要求がある場合は、000000のような単純なパスワードは設定しないでください。
3. Q: DVRとカメラを一緒に接続すると、映像信号に異常が見られる、あるいは映像信号がない。両方のデバイスの電源はOKです。何が問題なのでしょう？
A: DVR側のネットワークケーブルがしっかりと接続されているか、ケーブルが摩耗して交換が必要か、またはNTSCまたはPALが安定して選択されているかどうかを確認してください。
4. Q: DVRが熱の影響を受けないようにするにはどうしたらよいですか？
A: DVRは、動作中に熱を放散する必要があります。DVRの安定性と寿命を確保するために、DVRを熱源から離して、空気の循環が良い場所に設置してください。
5. Q: モニター画面は正常で、パネルキーも機能しているのに、DVRのリモコンが動作しない。なぜですか？
A: リモコンをフロントパネルのIRレシーバーに向けて、再度操作してください。それでも動作しない場合は、リモコンの電池が消耗していないか確認してください。そうでない場合は、リモコンが壊れていないか確認してください。
6. Q: PCからHDDを取り出して、DVRに取り付けたいのですが、どうすればいいですか？動作しますか？
A: 対応しているすべてのHDDが使用可能です。ただし、DVRが実行されると、HDDのデータは失われることを覚えておいてください。
7. Q: 録音中に再生することはできますか？
A: はい。録音しながら再生する機能に対応しています。
8. Q: DVRのHDDにある一部の記録を消去することはできますか？
A: ファイルの安全性を考慮し、一部の記録を消去しないことがあります。すべての記録を消去したい場合は、HDDをフォーマットしてください。
9. Q: なぜDVRクライアントにログインできないのですか？
A: ネットワークの接続設定が正しいか、RJ-45ポートが正常に接触しているかを確認してください。また、アカウントとパスワードが正しく入力されていることを確認してください。
10. Q: 再生中にレコードが見つからないのですが？

A: HDDのデータライン接続に問題がないか、システム時刻が正しく調整されているかを確認してください。何度か試してみて、再起動してください。それでもうまくいかない場合は、HDDが壊れていないかどうか確認してください。

11. Q: なぜDVRはPTZを制御できないのですか?A: 確認してください

。

- a) フロント側のPTZが故障している。
- b) PTZデコーダーの設定、接続、設置が正しくない。
- c) DVR の PTZ 設定が正しくありません。

- d) PTZデコーダーのプロトコルがDVRのそれと一致していない。
- e) PTZデコーダーのアドレスがDVRのアドレスと一致しない。
- f) 多数のデコーダを接続する場合、PTZデコーダのABラインの一番遠い側に120Ωの抵抗を追加して、反射抑制とインピーダンスマッチングを実現する必要があります。そうしないと、PTZの制御が不安定になります。
12. Q : なぜ動的検出がうまくいかないのでしょうか？
A: 動体検知時間と動体検知地域の設定が正しいか、また、感度が低く設定されていないか確認してください。
13. Q : アラームが効かないのはなぜですか？
A : アラーム設定、アラーム接続、アラーム入力信号が正しいかどうか確認してください。
14. Q : ブザーが鳴り続けるのはなぜですか？
A: アラームの設定を確認してください。モーション検出機能が有効で、オブジェクトの動きが常に検出されているかどうか、I/Oアラームが**Always Off**に設定されているかどうかを確認してください。また、対応するHDDのアラーム設定も参照してください。
15. Q : 「STOP」ボタンを押したり、コンテキストメニューの「録画の停止」をクリックしても録画が停止しないのはなぜですか？
A : 停止または録画停止を押すと、手動録画のみ停止することができます。もし、特定の時間帯にスケジュール録画を停止したい場合は、設定を「録画なし」に変更してください。スタートアップ録画を停止するには、録画モードをスケジュール録画または手動録画に変更してください。その後、所定の方法で記録を停止することができます。また、録画を停止する別の方法として、録画の設定でチャンネルをオフの状態に設定することができます。

10.2 使用環境整備

1. DVRをシャットダウンするには、まずシステムをシャットダウンし、その後電源を切ってください。直接電源を切らないでください。HDDのデータが失われたり、破損したりする可能性があります。
2. DVRは熱源や場所に近づけないでください。
3. 定期的に内部の埃を掃除してください。DVRの換気を良くして、良好な放熱を確保するようにしてください。
4. オーディオケーブルやビデオケーブル、RS-232やRS-485などのポートに接続されたケーブルはホットプラグで接続しないでください。ポートが破損する恐れがあります。
5. HDDケーブルやデータケーブルが経年劣化していないか、定期的にご確認ください。
6. DVRの音声・映像信号が他の電子機器に介入されないようにし、静電気や誘導電圧でHDDが損傷しないようにしてください。ネットワークケーブルが頻繁に差し込まれる場合、接続線を定期的に交換することをお勧めします、さもなければ、入力信号が不安定になることがあります。
7. 本製品はクラスA製品です。それは多分生命に無線妨害をもたらす。このような場合、ユ

ユーザーが対策を講じる必要があります。

10.3 付属品（参考出品）



USBマウス



電源アダプター



クイックガイド

注意

電池の種類を間違えると爆発する危険がある 使用済みの電池は、説明書に従って廃棄する

